

2. 昭和56年豪雪による新潟県・富山県・ 長野県・岐阜県・滋賀県の災害状況

栗山 * 弘・野原 ** 以左武・片桐 *** 一美

2.1 新潟県

2.1.1 気象概況

昭和55年12月26日に、日本海と大太平洋を二つの低気圧が発達しながら通過したあと、冬型の気圧配置が強まり、上空に大陸の強い寒気が上陸付近を中心に持続的に流れこみ、停滞して、記録的な大雪となった。

強い降雪の期間は、概ね12月末から1月末までであり、12月26日から1月29日までに、2日程度の小康状態が4回あったが、5波の寒波で大雪となった。1月10日から12日までの3日は降雪量が多く、上越（県の南西域）中越（県の中央域）の山沿地方では日降雪深が100センチメートルをこえている。

積雪は下越（県の北東域）地方の一部を除いて平年より多く、上越・中越の山沿地方で特に多かった。最深積雪を過去の冬と比較すると、小出（北漁沼郡）、入広瀬（北魚沼郡）では昭和20年に次ぐ大雪、十日町では明治23年観測開始以来の大雪となった。県内の主な地点の降雪の深さ、積雪の深さを表2.1.1～2.1.5および図2.1.1～2.1.5に示す。参考として、長岡と高田（上越）の38年豪雪時の降雪の深さ、積雪の深さを図2.2.6, 7に示す。

次に降雪群毎の日降雪深の顕著な例を示す。

12月26日～31日、山沿地方で連日40～80cmの降雪があった。27日は平野部でも多かった。27日、津川79cm、高田（上越市、以下同じ）70、長岡69、29日、入広瀬79、十日町76。

1月3日～7日、上中越地方に多量の降雪があった。5日、関山95、津南85、松代73。

1月10日～14日、県下全域で今冬最大の降雪があった。10日、十日町116、松代108、安塚95、関山95、津南80、高田61、長岡44。

* 雪害実験研究所（担当：新潟県・富山県・滋賀県）

** 同（担当：岐阜県）

*** 管理部企画課（担当：長野県）

11日, 松代89, 十日町75, 高田56, 柏崎42.

12日, 津南 141, 松代 119, 湯沢95, 安塚88, 小出75, 高田56, 長岡42.

1月16日～22日, 上中越中心に降雪が続いた.

20日, 津南83, 湯沢 65, 小出 60,

21日, 津南 69, 高田 45, 長岡 36.

1月25日～29日, 山沿地方に 30 ～ 70 cmの降雪があった.

27日, 関山 62,

29日, 津南 70.

2月25日～26日, 25日は山沿, 26日は下越の海岸平野部が降雪があった.

25日, 松代 68, 十日町 60,

26日, 村上 34, 新潟 28,

図 2.1.8 に新潟県内18市町村の積雪の深さの平均値を示す。これによると56年豪雪で県下は全般に, 多量の降積雪におそわれたことがよくわかる。図 2.1.9 は県内の最深積雪の平年値の等値線図であり, 図 2.1.10は56年豪雪の最深積雪の等値線図である。最深積雪が平年値であったのは, 三条市から新潟市に至る中越地方の平野部の一部で, あとは平年値の30～90%増となっている。

表 2.1.6 に新潟地方気象台が発表した, 注意報・警報等の気象情報を示す。

2.1.2 豪雪対策本部の設置

新潟県豪雪対策本部の設置は, 昭和56年1月9日であり, 同本部の解散は同年5月25日であった。

県内の市町村豪雪対策本部の設置状況は, 表 2.1.7 のとおりである。豪雪対策本部を設置した市町村数は59であり, 県内市町村総数 112 の53%になっている。

56年豪雪の最深積雪と市町村豪雪対策本部設置地地域を図 2.1.11に示す。

2.1.3 政府の視察団

1月11日, 原国土庁長官を団長, 大塚国土政務次官を副団長とする14名の政府視察団が, 長岡市濁沢の地すべり災害現場と, 北魚沼郡守門村の雪崩災害現場を視察調査した。団員は国土庁のほか, 警察庁, 文部省, 農林水産省, 通商産業省, 運輸省, 郵政省, 建設省, 自治省の担当官で構成された。

2.1.4 災害救助法及び新潟県災害救助条例の適用市町村

豪雪災害及び地滑り災害に関して, 上記の法及び新潟県の条例が適用された市町村は表 2.1.8 のとおりである。

2.1.5 人的被害

56年豪雪の人的災害は、死者42人、行方不明1人、重傷者88人、軽傷者91人の多きに達している。(昭和56年5月31日現在)。市町村別人的被害を表2.1.9および図2.2.12、死亡の原因別内訳を表2.1.10に示す。

今豪雪の人的被害で顕著なのは、なだれによる死亡者が14人と多くでたことである。すなわち、1月7日午前0時10分頃、北魚沼郡守門村大倉地区で発生した表層なだれにより、同地区住民8人が死亡し、3人が重傷を負った。つづいて1月18日午前0時30分頃、同郡湯之谷村下折立地区で発生した全層なだれにより、養護老人ホーム「南山荘」(収容人員49人)の居住者5人が死亡し、1人が重傷、3人が軽傷を負ったほか、同じ地区の住民1人が死亡し、2人が重傷、1人が軽傷を負った。さらに4月5日には北魚沼郡川口町で斜面から3m落下した約30㎡の雪塊の下敷で死亡し、4月22日には上越市正善寺川ダム工事現場で作業中に、30m程すべり落ちた雪塊で1人死亡、1人軽傷を負った。さらに5月に入って同じような原因で2人が死亡した。雪塊落下を含めてなだれによる死亡は18人に達している。表2.1.10には過去8冬の死亡の原因別内訳も示してあるが、新潟県内では屋根雪除雪での死亡は増加していないが、側溝等への転落事故死が多くなっている。今豪雪が県内の多雪地帯で発生したため、屋根雪除雪については、経験があり十分注意して除雪作業がなされたためと推測される。一方側溝等への転落事故は、流雪溝等の雪処理効果が再評価され、大形側溝、流雪溝、用水路等に人が接近する機会が多くなったことと、作業中、作業後の安全管理の手落によるものと推測される。

表2.1.11は昭和48～49年冬期から55～56年冬期の除雪作業等による死亡者の男女別内訳を示したものである。この表によると、女性の死亡が増加しているのはいずれも大雪の年である。このことは除雪等のために男性だけでは手不足で、女性の活動や労働が強化されるためと考えられる。

2.1.6 建築物の被害

建築物関係の被害は表2.1.12に示すとおりであり、38年豪雪のときの建物の被害と比較したものが表2.1.12である。38年豪雪時の県内の建築物の被害は、全壊415棟、半壊528棟(38.1 豪雪害の状況と対策、38.3.10、新潟県豪雪対策本部による)であるから、56年豪雪の建築物の被害は少なかったといえる。両豪雪では種々の条件が異なっているので単純には比較できないが、38年豪雪は県中央部の人口密集地に発生していること、図2.1.6(たとえば長岡)に示すように積雪深の経時増加率が大きいこと、建築物の耐雪性が小さかったことなどで被害が大きかったと考えられる。56年豪雪は図2.1.2(長岡)に示されるように、比較的長期にわたって降雪が続いたため、除雪等の対応に余裕がとれたこと、発生地域が県内の多雪地であったため、建築物の耐雪強度がもともと大きかったこと、建築物の耐雪性が除々ではあるが改善されつつあること、スライダーやスノーダンプなどの省力化機器が使用できたことなどで、建築物の被害は38年豪雪に比して少なかったと考えられる。

表2.1.13に学校の建物の被害を示す。

2.1.7 なだれ災害

なだれ災害については、別途詳細に記述されているので、ここでは概況を記す。

2.1.5で述べたように、今冬期には多数の死亡者が出た大きななだれが2件発生した。このほかにも4月以降斜面雪の萌落で4名が死亡している。表2.1.14に人や建物に被害のあったなだれの概要を示す。

また自治体では、なだれ災害防止のため種々の手段を構じたが、なだれ災害発生の危険性のあるところでは、市町村長名で避難勧告が出された。それらの状況を表2.1.15に示す。

2.1.8 道路交通の確保

38年豪雪以来冬期の道路交通の確保は、民生の安定、産業・経済活動の維持に不可欠であるという認識の上に立って、道路除雪がすすめられた。道路の除雪防雪体制は、幹線道路では相当整備されているが、市町村が管理する道路では体制が不十分で、除雪防雪に難渋するところが多かった。このため幹線道路の交通は一応確保されたが、集落間連絡道路、都市内道路、生活道路の除雪防雪は不十分で大きな問題となった。また2月に入って積雪が平年値を大きくオーバーした山沿道路、山間道路ではなだれの危険性、なだれ防止構造物の損壊が増加して、道路交通に大きな支障を来した。

(1) 北陸自動車道

県内の高速自動車国道は、北陸自動車道が新潟～西山インター（刈羽郡西山町）間66.3km開通しており、除雪トラック（薬剤散布、サイドウイング、グレーダ各装置のうち一種を補助的に架装したもの）11台、ロータリー除雪車4台、スノーローダ1台、薬液（凍結防止用薬剤の水溶液）散水車2台計18台と、民間保有機械を動員しての除雪で、降積雪の激しい時期でも交通止することはなかった。ただし降積雪の最盛期を過ぎた2月26日に強い地吹雪のため視界不良となり、約半日間全面交通止めされた。

(2) 国道（建設省管理）

県内の建設省管理の一般国道は7路線で延長は624kmである（表2.1.16）。このうち本州の脊梁山脈を横断する、国道17号、18号、49号、113号はいずれも降積雪が多く、除雪作業は困難をきわめた。1月下旬から例年より早くなだれ発生の時期を迎えたこと、例年発生の危険性のないところで、なだれ発生の徴候が現われたこと、なだれ防止柵には、設計値以上の積雪が出現したことなどで、人工なだれ処理の回数がふえ、一時的交通止の回数も多かったが、全体的にみて、道路の交通確保は順調であり、新潟県と関東、関西、東北方面との交流、流通機能は維持され、物価の安定、産業経済活動の維持に大きく寄与した。除雪機械の配置計画を表2.1.16に、国道の通行規制状況を表2.1.17に示す。

なだれによる災害を未然に防止するため、ヘリコプターによる上空からのなだれ発生の点検を

実施し、国道7号、8号、17号、113号ではなだれ発生の危険地点で、人工なだれによるなだれ防災対策を実施した。

(3) 県管理道路

県管理の国道および県道等（主要地方道、一般県道）の除雪は、当初計画で4,320 kmと定められ、336台の県保有除雪機械と243台の民間保有の除雪機械、市町村の協力除雪機械166台を動員して除雪を行う計画がたてられた。除雪路線延長の内訳を表2.1.18、除雪機械の内訳を表2.1.19に示す。

平年雪を大幅に超えた降積雪のために、連日連夜の除雪作業が続き、除雪機械の稼働も1月17日には1日だけで1029台に達し、当初計画台数の38%増となった。積雪が深くなるにつれて、除雪された道路の両側の雪堤は5 mを超え、ロータリ除雪車以外では除雪作業ができないところが随所に出現した。ロータリ除雪車は特殊機械で、必要に応じて直ちに外から導入できるというものでないために、除雪機械の不足が大きな障害となった。県内の道路は山沿い、山間を通過するのが多いため、なだれ危険箇所が多く、第3種道路を中心に、3月末までに297箇所で交通止が行われた。その概況を表2.1.20、表2.1.21に示す。

新潟県は暖地積雪地域に属し、地下水を利用した散水消雪は当県内で最初に使用されている。今豪雪においても散水消雪、流雪溝、路面流水式除融雪が、道路除雪に大きな役割をはたした。消雪パイプ等の延長を表2.1.22に示す。

(4) 市町村道

県の山間地方は38年豪雪をはるかに超えた豪雪のため、ここを通る市町村道の除雪は、なだれの危険、道路の高い雪堤に有効な除雪機械の不足などのために、連日連夜の連続作業にもかかわらず、十分な除雪ができなかったところが多かった。

都市、集落内を通過する市町村道や、都市内、集落内の生活道路といわれる市町村道には、連担する建物や住家の屋根雪が道路上に投棄され、機能を失った道路が各所で発生し、いわゆる生活道路の交通確保に大きな問題を提起した。

十日町市では昭和20年来の大雪で、1月中旬には市の除雪能力を大幅に超す積雪量となったために、1月22日に県知事に除雪応援隊の緊急派遣要請が出され、1月24日に除雪機械25台の第1陣、1月26日に6台の第2陣が到着し、1月31日まで道路の除雪の応援を行った。

2.1.9 国鉄の被害

新潟県内の国鉄各線は、55年12月下旬および56年1月上中旬に、大雪による列車の運休が続いたが、1月下旬には大勢は復旧した。その概況は次のとおりである。

① 12月13日から冬型の気圧配置となり寒波が襲来し、東北地方が大雪となったため、14日には東北方面と連絡する米坂線、磐越西線に運休列車が続出した。15日には磐越西線、只見線に運休列車が続出した。

② 12月26日からの冬型の気圧配置により、県内は上信越線沿線で大雪となり、27日夜半から信越線新潟－直江津、上越線長岡－水上間に第2次運転規制が出され、28日にはさらに第3次規制の措置がとられた。上越線では特急「とき」が3往復運休となった。29日は降雪は小康状態となって列車の混乱は回復に向ったが、東北方面および、金沢・福井方面の混乱のため、この方面と連絡する各線の混乱が続いた。

③ 1月3日から強まった冬型の気圧配置と寒波により、県内山沿地方で大雪となり、4日から8日にかけて、上越線、信越線、只見線、飯山線、北陸線などで運休列車が出て、ダイヤが相当混乱した。

④ 1月10日からの冬型の気圧配置と強い寒波のため、上信越線の山沿方面は強い降雪に見舞われ、11日には信越線直江津－長野県境間で架線故障などでダイヤが大幅に混乱した。12日から14日にかけては、多量の積雪のため、長岡－直江津、宮内－水上間で第4次・第5次の運転規制の措置がとられた。また北陸線でも富山・金沢・福井方面の大雪のために運休列車が続出した。13日から只見線、飯山線の全面運休が始まった。只見線の全面運休は21日まで、飯山線の全面運休は19日まで続いた。

⑤ 1月下旬に至って、強い降雪は出現しなかったがそれまで積った大量の雪の影響で、しばらく列車の混乱が続いた。

⑥ 列車規制で最も強い第5次規制がとられた線と期間は次のとおりである。

- ① 上越線、宮内－水上、1月14日
- ② 只見線、小出－只見、1月14日－1月23日
- ③ 飯山線、越後川口－十日町、1月11日－2月1日、2月13日

2.1.10 私鉄・バス関係の被害

私鉄・バス関係の被害を表2.1.23に示す。

2.1.11 通信関係被害

電気通信関係の被害を表2.1.24に示す。

電柱の折損、倒壊、傾斜は電柱や支線が雪中に深く埋没したための雪の沈降力、側圧、あるいは冠雪の荷重が原因であった。加入者引込線の損傷は、着雪、屋根雪が落下するときの衝撃などが原因であった。

2.1.12 電力関係被害

県内の商用電力は東北電力（株）が所管し、電力施設は耐雪設計が施されている。また1月10日から2月上旬までに延1万人を超える除雪要員を動員して、鉄塔、変電所構内施設、電柱等の除雪防雪作業を実施した結果、大きな停電事故は防止された。ただし民家への引込線が屋根雪除

雪で断線したケースはあったが、この種の事故は例年と大差なかった。

積雪の沈降力による、鉄塔の雪中埋没部材の変形、電柱の下部の変形、折損、支線の変形、変電所のフェンス等の損傷は、多雪のため例年より多く現われた。

2.1.13 水道施設の被害

今豪雪による水道の被害は、県内の上中越地方の1市6町7村におよび、約4500世帯に影響を及ぼした。被害総額は約13,300千円（3月31日現在）となっている。被害は雪荷重や雪の沈降力による送配水管の破損、消火栓の破損および、ポンプ類の破損が主となっている。被害の概況を表2.1.25に示す。

2.1.14 民生関係の施策

(1) 生活保護法適用世帯の除雪費

生活保護法に基づき、厚生大臣の特別基準を設定し、除雪費の全額が保護世帯に支給された。その内訳は次のとおりである。市町村数82、実世帯数878、件数3062、支給金額21,920千円。

(2) 要援護世帯の除雪費

特別豪雪地帯に所在する市町村社会福祉協議会が行う要援護世帯除雪援助事業に対して、県社会福祉協議会を通して、補助金（補助率2分の1）を県が支給した。その内訳は、市町村数36、世帯数483、補助金額7,200千円であった。

2.1.15 学校教育への影響・学校施設の被害

通学路の交通混乱、列車、バス等の遅延運休、山間道路のなだれ災害防止などで、始業時間の繰下げ、授業のカット、臨時休業などが相当の時間に及んだ。それらの概況を表2.1.26に示す。

学校施設等の被害も多く発生した。支柱間隔の大きい建物が倒壊したり、体育館の屋根の一部が陥没したり、建物の周辺に堆雪した雪の側圧で、窓ガラスやサッシが多く破損した。建物、施設の被害の概況を表2.1.27に示す。

2.1.16 農業関係被害

今豪雪により県内の上中越の山間部を中心に、野菜園芸ハウス、農作業舎、畜舎、蚕舎、有線放送施設等の倒壊、破損の被害が続出した。また果樹、桑樹の被害が発生した。農業関係の被害の状況を表2.1.28～2.1.31に示す。

今豪雪で降積雪の多かった上中越地方は、他に比して果樹が少ないが、十日町市安養寺地区では、10ヘクタールの栗園で、樹令約15年の栗の主幹の折損（40％）結果枝の折損（60％）で全滅し、生産組合（組合員26名）は解散に追いこまれた。当刻地区は標高約350m、積雪深は4.5～5mであった。

2.1.17 林業関係の被害

県内の多雪地域では例年林木の倒伏等の被害があったが、今豪雪では上中越の山沿い、山間地の林木の被害は多かった。被害の特徴は、例年倒伏のなかった高樹高のものも倒伏被害を受けたなどで被害面積が大きかった。ただし福井県、富山県、福島県で発生したように、杉林の杉の主幹部の折損が集団的に発生するような被害はなかった。林産施設の被害を表2.1.32に、林木の被害を表2.1.33に示す。

2.1.18 水産関係の被害

県内は錦鯉はじめにじますなどの養殖が、上中越の山沿、山間地域で相当活発に行われている。こういった内水面の水産被害は、養殖施設が雪荷重で損傷するものと、養殖池上に多量の雪が積り、魚類が圧死したり、酸素の欠乏による死、あるいは水温低下による死などであった。被害の概要を表2.1.34に示す。

2.1.19 商工業の被害

(1) 直接的被害

- ① 積雪による工場、店舗等の倒壊、機械の破損 21件
- ② 床上浸水等による商品の損傷 3件

上記に関連して3月31日現在で判明している損害額は2億4,850万円である。

(2) 間接的被害

交通の混乱、住家の除雪などで労働力の確保ができなかった、原料製品の輸送ができなかったなどで、生産販売が停滞したり、雪道で輸送費が増加するなど、間接的被害も多かった。しかし被害額を正確に見積ることは非常に困難である。被害の大きかった業種としては、中上越の多雪地に多く集まっている、繊維関係の製造業や、交通混乱のために宿泊予約キャンセルの多かった、スキー場周辺の旅館、民宿業などである。以下に豪雪により影響のあった事項を列記する。

- ① 原材料の調達難、商品の仕入難
- ② 製品、商品の出荷難
- ③ 従業員の出勤率の低下
- ④ 工場、店舗の稼働率、営業率の低下
- ⑤ 商談のおくれ、不能による成約の落ち込み
- ⑥ 以上による生産額、売上額の減少
- ⑦ 県内スキー場（67スキー場）のスキー客の宿泊予約のキャンセルは、豪雪の影響の大きかった1月中の、予約数1,108千人に対して、キャンセル数は121千人（比率10.9）であった。
- ⑧ 上記のキャンセルによる売上減少額は6億2,100万円と見積られている。

2.1.20 地すべり災害

県内は地すべりの多いところで、例年融雪期に多発する傾向にあるが、今冬は、積雪初期および、積雪最盛期に、人家に被害が及んだ地すべり災害が2件発生し、ほかに、人家には被害がなかったが、融雪期には2件の地すべりが発生している。それらの概況を表2.1.35に示す。

2.1.21 被害額の概要

新潟県が集計した各部門の豪雪被害額を表2.1.36に示す。雪による直接的被害額を細部にわたって調査集計するのは困難であるが、間接的被害額まで含めて調査するのは、さらに困難である。上表の被害額は県の各部局が所管事項について、56年3月31日現在（一部4月25日現在を含む）で集計したもので、雪消えなどでこの時点以降に明らかになる被害額もかなりあると考えられる。また各部門の除雪経費を併せて、表2.1.37に示す。

2.1.22 56年豪雪災害と過去の豪雪災害の比較

新潟県はこれまで何回か豪雪に襲われ、その都度大きな災害を受けている。災害の様相や内容は、降積雪の様相や被災側の条件によって種々に変化するので、単純には比較できないが、表2.1.38に56年豪雪と過去の豪雪の被害状況を比較して示してある。これによると種々の点から、56年豪雪災害はこれまでにない雪による大きな災害であったといえよう。

謝 辞

この報文をまとめるに当って、次の機関およびそれに関係する方々から、資料を提供いただいたり、豪雪災害の実情を詳細に伺ったことを記して、謝意を表します。農林水産省林業試験場十日町試験地、気象庁新潟地方気象台、建設省北陸地方建設局道路計画課、同道路管理課、同機械課、同長岡国道工事事務所、日本国有鉄道新潟鉄道管理局列車課、同長岡機関区、日本電信電話公社新潟電気通信部保全課、同長岡電報電話局、日本道路公団新潟建設局長岡工事事務所、新潟県消防防災課、同積雪・地域振興課、同道路維持課、同治山課、長岡市道路管理課、新井市、十日町市、東北電力株式会社新潟支店、同長岡営業所（順序不同）。

表 2. 1. 1 昭和55—56年冬期の降雪の深さ・積雪の深さ

地名 新 潟

単位 cm

12月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15			
	降雪	—	—	—	0	—	0	—	—	0	0	—	0	9	1	1			
	積雪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	5			
		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
	降雪	—	—	0	—	6	—	0	—	—	—	0	2	0	0	0	0		
	積雪	1	0	—	—	—	6	3	0	—	—	—	—	2	0	—	—		
1月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15			
	降雪	0	0	0	1	0	1	0	0	2	3	2	4	8	15	8			
	積雪	0	—	—	—	1	0	1	0	—	2	3	4	7	13	21			
		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
	降雪	9	3	5	0	1	1	0	0	1	2	1	0	2	0	3	0		
	積雪	21	26	23	24	19	19	20	17	15	14	11	12	12	13	11	14		
2月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15			
	降雪	0	0	0	0	1	1	2	0	2	3	2	—	—	—	—			
	積雪	12	10	8	6	4	3	1	2	0	—	2	1	0	—	—			
		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28					
	降雪	6	0	—	0	2	5	2	2	0	11	28	2	26					
	積雪	—	6	4	0	—	2	5	5	4	0	11	28	21					
3月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15			
	降雪	0	—	—	0	3	14	0	—	0	0	—	—	—	—	0			
	積雪	42	27	16	11	8	8	17	4	0	—	—	—	—	—	—			
		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
	降雪	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	—	—	—	—		
	積雪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

長岡市の資料による

表 2. 1. 2 昭和55—56年冬の降雪の深さ・積雪の深さ

地名 長 岡

単位 cm

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
12月	降雪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25	5	0		
	積雪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	25	30		
		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	降雪	0	—	6	3	12	4	6	2	0	0	11	69	30	15	3	25	
	積雪	27	27	25	29	27	32	33	39	39	27	24	31	83	90	97	90	
1月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
	降雪	0	8	8	20	18	6	10	1	9	44	28	42	12	23	13		
	積雪	110	100	100	100	114	125	128	132	126	121	155	165	182	173	184		
		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	降雪	18	20	20	17	12	36	15	0	6	15	12	12	22	12	2	1	
2月	積雪	191	193	195	200	200	197	223	219	203	194	197	195	200	209	203	198	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
	降雪	5	6	4	0	17	1	7	15	13	3	3	—	—	—	—		
	積雪	194	194	194	190	186	198	188	192	191	201	191	192	186	180	176		
		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28				
3月	降雪	11	1	—	0	1	10	7	8	1	10	20	14	5				
	積雪	171	180	179	171	168	168	175	178	183	173	181	178	187				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
	降雪	2	—	—	—	5	25	0	—	10	2	0	—	—	—	1		
	積雪	186	186	177	174	171	173	192	173	168	176	173	169	166	160	150		
4月		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	降雪	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—	—	
	積雪	145	143	138	131	124	115	110	104	100	93	87	79	77	68	62	59	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
	降雪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
5月	積雪	58	54	48	41	35	28	17	0	—	—	—	—	—	—	—		
		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	降雪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	積雪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

表 2. 1. 3 昭和55—56年冬期の降雪の深さ・積雪の深さ

地名 高田（上越）

単位 cm

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
		降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪
12月		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	降雪	0	0	1	23	16	17	1	—	0	—	10	70	24	14	5	1	
	積雪	9	9	6	5	19	31	41	35	25	25	22	31	84	93	90	73	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
	降雪	0	11	26	24	36	15	4	2	0	61	56	56	15	25	9		
1月	積雪	68	62	71	86	98	123	118	117	108	97	148	176	197	194	199		
		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	降雪	49	16	2	27	37	45	13	0	2	31	18	24	12	9	0	—	
	積雪	192	222	220	25	25	227	249	245	227	206	226	227	235	234	226	216	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
2月	降雪	4	1	22	9	1	0	2	7	11	4	1	—	—	—	—		
	積雪	211	212	208	221	225	210	207	204	208	215	212	211	207	201	200		
		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28				
	降雪	13	5	—	0	2	5	0	1	2	28	14	25	0				
	積雪	194	205	205	199	196	196	199	194	193	193	220	212	230				
3月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
	降雪	11	—	—	0	2	52	0	—	7	4	—	—	—	—	6		
	積雪	213	215	206	202	200	202	241	214	211	215	215	210	203	196	179		
		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	降雪	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	—	—	—	—	
月	積雪	170	169	163	158	150	143	135	128	127	105	102	89	85	78	71	63	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
	降雪	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	積雪	61	59	54	48	43	38	31	24	17	9	0	—	—	—	—		
		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
月	降雪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	積雪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

表 2. 1. 4 昭和55—56年冬期の降雪の深さ・積雪の深さ

地名 十日町

単位 cm

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
		降雪																
12月	降雪				3	1	1		1			1	1		30	24		
	積雪	2			3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	30	4		
		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	降雪	6	0	0	28	17	17	13	0	8		13	36	18	39	18	11	
	積雪	53	49	37	56	67	83	96	89	85	74	66	102	121	153	172	172	
1月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
	降雪	0	0	24	35	47	21	4	3	5	×	×	×	13	9	6		
	積雪	167	150	163	196	242	253	253	244	246	254	305	356	366	356	358		
		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	降雪	16	13		20	20	37	4	10		13	6	28	14	19	8	0	
	積雪	345	354	350	343	349	381	376	381	359	340	347	362	366	364	373	358	
2月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
	降雪	4	6	5	15	2	0	11	22	24	10	10	0	0	0	0		
	積雪	346	345	344	350	345	334	332	351	377	374	365	353	346	337	330		
		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28				
	降雪	0	17	3	2	0	21	3	7	4	35	27	9	13				
	積雪	323	339	333	327	322	340	341	335	336	363	385	381	391				
3月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
	降雪	2	0	0	0	2	25	1	10	1	28	4	0	1	0	2		
	積雪	376	373	361	356	349	368	361	361	349	375	379	355	347	342	327		
		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	降雪	18	3	0	1	0	1	1	1	1	0	1	2	1	1	0	3	
	積雪	336	338	328	321	317	308	304	298	293	285	275	270	268	263	257	251	
4月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
	降雪	2	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0		
	積雪	251	246	243	236	232	226	223	215	208	199	194	187	180	177	170		
		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	降雪	0	0	1	0	0	1	2	1	2	0	1	1	1	0	0		
	積雪	165	161	152	145	136	125	121	112	104	95	89	81	71	63	49		

(注) 1. ×印欠測 2. 空欄は数値不明 3. 消雪日は5月6日

表 2. 1. 5 昭和55-56年冬期の降雪の深さ・積雪の深さ

地名 松 代

単位 cm

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
		降雪	積雪	降雪	積雪	降雪	積雪	降雪	積雪	降雪	積雪	降雪	積雪	降雪	積雪	降雪	積雪	
12月		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	降雪	5	3	13	35	25	17	39	24	9	2	22	64	25	70	62	30	
	積雪	43	41	37	45	65	79	95	102	105	95	85	100	157	168	203	189	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
	降雪	4	10	59	55	73	35	10	26	5	108	89	111	52	42	11		
	積雪	190	163	159	200	223	251	255	246	255	237	328	357	361	413	432		
1月		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	降雪	46	31	10	47	49	54	35	12	10	44	30	52	15	36	12	0	
	積雪	429	440	445	417	436	448	467	462	446	430	454	459	469	464	467	465	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
	降雪	14	9	20	11	2	1	18	51	28	11	7	-	-	-	-		
	積雪	437	438	439	446	442	430	418	425	460	463	448	440	429	419	405		
2月		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28				
	降雪	14	7	-	3	8	33	2	10	16	68	20	25	2				
	積雪	394	405	404	391	387	389	410	397	403	404	463	454	463				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
	降雪	17	-	-	3	31	30	16	0	11	34	0	-	-	-	20		
	積雪	451	450	436	424	418	439	445	438	425	430	455	436	422	415	405		
3月		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	降雪	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	-	-	-	-	
	積雪	418	427	414	405	399	392	388	381	378	371	364	360	360	355	351	345	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
	降雪	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	積雪	343	340	337	329	325	319	318	310	304	295	285	280	274	273	265		
4月		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	降雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	積雪	259	256	250	245	237	230	225	216	208	200	197	192	183	170	164		

(注) 消雪日は5月19日

表2.1.6 56年豪雪の注意報・警報の発表状況（新潟地方気象台）

[illegible]

表 2. 1. 7 市町村豪雪対策本部設置状況

番号	市町村名	設置月日	解散月日	備 考	番号	市町村名	設置月日	解散月日	備 考
1	上 越 市	1. 12	3. 16		31	塩 沢 町	1. 7	1. 20	
2	三 条 市	1. 18	2. 14		32	六 日 町	1. 6	5. 14	
3	柏 崎 市	1. 12	5. 11		33	大 和 町	1. 6	4. 30	
4	新 発 田 市	1. 27	4. 1		34	川 西 町	1. 5	4. 20	
5	小 千 谷 市	1. 7	3. 31		35	津 南 町	1. 11	5. 30	
6	十 日 町 市	1. 5	5. 31		36	中 里 村	1. 7	4. 30	
7	見 附 市	1. 20	3. 20		37	高 柳 町	1. 12	5. 18	
8	栃 尾 市	1. 12	3. 31		38	小 国 町	1. 12	2. 21	
9	糸 魚 川 市	1. 12	4. 1		39	安 塚 町	1. 11	5. 25	
10	新 井 市	1. 11	5. 11		40	浦 川 原 村	1. 12	4. 8	
11	黒 川 村	1. 12	3. 31		41	松 代 町	1. 6	6. 10	
12	下 田 村	1. 19	3. 25		42	松 之 山 町	1. 12	5. 25	
13	栄 村	1. 20	2. 16		43	大 島 村	1. 7	5. 14	
14	中之島村	1. 21	3. 14		44	牧 村	1. 12	4. 25	
15	津 川 町	1. 14	3. 31		45	柿 崎 町	1. 12	4. 30	
16	鹿 瀬 町	2. 5	3. 26		46	大 湫 町	1. 12	2. 28	
17	上 川 村	1. 13	4. 13		47	頸 城 村	1. 12	3. 2	
18	三 川 村	2. 5	3. 20		48	吉 川 町	1. 6	5. 9	
19	越 路 町	1. 12	4. 20		49	妙高高原町	1. 12	5. 23	
20	三 島 町	1. 19	3. 2		50	中 郷 村	1. 11	3. 31	
21	与 板 町	1. 19	4. 13		51	妙 高 村	1. 7	4. 30	
22	山古志村	1. 8	5. 20		52	板 倉 町	1. 8	4. 10	
23	川 口 町	1. 8	3. 30		53	清 里 村	1. 11	3. 24	
24	堀之内町	1. 7	5. 25		54	三 和 村	1. 12	3. 25	
25	小 出 町	1. 7	4. 20		55	名 立 町	1. 12	5. 11	
26	湯之谷村	1. 7	5. 20		56	能 生 町	1. 12	5. 30	
27	広 神 村	1. 7	5. 20		57	青 海 町	1. 20	3. 23	
28	守 門 村	1. 7	5. 20		58	関 川 村	1. 31	3. 10	
29	入 広 瀬 村	1. 7	4. 30		59	朝 日 村	1. 13	3. 20	
30	湯 沢 町	1. 7	2. 28						

表 2. 1. 8 災害救助法及び新潟県災害救助条例の適用市町村

(新潟県消防防災課の資料による)

(1) 豪雪に関するもの

番号	市町村名	法	条 例
1	上 越 市		56. 1. 11 (12:00)
2	小千谷市	56. 1. 21 (12:00)	"
3	十日町市	56. 1. 14 (12:00)	"
4	新 井 市		"
5	越 路 町	56. 1. 21 (12:00)	"
6	山古志村	56. 1. 14 (12:00)	"
7	川 口 町	56. 1. 21 (12:00)	"
8	堀之内町	"	"
9	小 出 町	"	"
10	湯之谷村	"	"
11	広 神 村	"	"
12	守 門 村	"	56. 1. 7 (15:00)
13	入 広 瀬 村	"	56. 1. 11 (12:00)
14	湯 沢 町	"	"
15	塩 沢 町	"	"
16	六 日 町	"	"
17	大 和 町	"	"
18	川 西 町	"	"
19	津 南 町	56. 1. 14 (12:00)	"
20	中 里 村	"	"
21	高 柳 町	"	"
22	小 国 町	56. 1. 21 (12:00)	"
23	安 塚 町	"	"
24	浦川原町	56. 1. 14 (12:00)	"
25	松 代 町	56. 1. 21 (12:00)	"
26	松之山町	"	"
27	大 島 村	"	"

番号	市町村名	法	条 例
28	牧 村	56. 1. 21 (12:00)	56. 1. 11 (12:00)
29	頸 城 村	56. 1. 14 (12:00)	"
30	吉 川 町	"	"
31	妙高高原町	56. 1. 30 (12:00)	"
32	中 郷 村	56. 1. 21 (12:00)	"
33	妙 高 村	"	"
34	板 倉 町	"	"
35	清 里 村	"	"
36	三 和 村	"	"
37	栃 尾 市	"	
38	柿 崎 町	"	
39	名 立 町		56. 1. 21 (12:00)
	計	36	37

(2) 地滑りに関するもの

番号	市町村名	法	条 例
1	長 岡 市	56. 1. 24 (10:00)	55. 12. 31 (12:00)
2	新 井 市	56. 1. 26 (12:00)	
	計	2	1

表 2. 1. 9 市町村別、人的・建物被害（新潟県消防防災課の資料による）

区 分	人 の 被 害				住 家																非 住 家	
	死者	行方不明	重傷	軽傷	全 壊			半 壊			一部損壊			床上浸水			床下浸水			公共 建物	その他	
					棟	世帯	人	棟	世帯	人	棟	世帯	人	棟	世帯	人	棟	世帯	人			棟
県 計	42	1	88	91	27	27	88	8	8	17	339	338	1,321	105	105	420	706	595	2,232	36	369	
長 岡 市	2			4	12	12	37							8	8	33				1	22	
上 越 市	1							2	2	6							66	66	206		8	
三 条 市																						
柏 崎 市	1		3	4																1	4	
新 発 田 市				1																1	2	
新 津 市																						
小 千 谷 市	1		1	6	2	2	2							4	4	15	2	2	8		7	
加 茂 市																						
十 日 町 市	1		6	5										8	8	35	33	33	126		13	
見 附 市																					1	
栃 尾 市			1					1	1	2				2	2	12				1	11	
糸 魚 川 市	1							1	1	2	11	11	42				18	18	63	8		
新 井 市	2		3	2	8	8	27	1	1	2	2	2	9	4	4	15	50	48	178		11	
五 泉 市																					1	
北 蒲 原 郡																						
加 治 川 村																					1	
紫 雲 寺 町																						
中 条 町																						
黒 川 村																					13	
南 蒲 原 郡																						
下 田 村																	1	1	2			
栄 村								1	1	1	1	1	3								1	
東 蒲 原 郡																						
三 川 村			1																			
三 島 郡																						
越 路 町			2	2							3	3	13				1	1	2		3	
三 島 町																					1	
与 板 町																						
和 島 村																						
出 雲 崎 町											2	2	6									
寺 泊 町																						
古 志 郡																						
山 古 志 村											3	3	10							1	5	
北 魚 沼 郡																						
川 口 町	1		14	3													1	1	3	1	4	
堀之内町	2		3											45	45	185	203	97	388			
小 出 町	2		2	2										12	12	37	116	116	433		4	
湯之谷村	7		5	6	1	1	4							1	1	4						
広 神 村	1		2	1							4	4	20	1	1	3	2	2	10		4	
守 門 村	8		7	7	4	4	18	1	1	2	28	28	112	1	1	5	3	3	8		5	
入 広 瀬 村				1													7	7	26		2	

区 分	人 の 被 害				住 家														非 住 家			
	死者	行方不明	重傷	軽傷	全 壊			半 壊			一部損壊			床上浸水			床下浸水			公的 建物	その他	
					棟	世帯	人	棟	世帯	人	棟	世帯	人	棟	世帯	人	棟	世帯	人			棟
	南魚沼郡																					
	湯 沢 町	1		4														13	13	54		4
	塩 沢 町	1		3	8						30	30	120					12	12	45	2	1
	六 日 町	2		8	8						6	5	13					20	19	64	1	13
	大 和 町			6	3						12	12	61	1	1	5		11	11	52		6
	中魚沼郡																					
	川 西 町	3		3										1	1	5		4	4	22		7
	津 南 町				15						61	61	236					9	9	32		
	中 里 村										3	3	6	11	11	46		83	83	321		2
	刈 羽 郡																					
	高 柳 町			2	1																1	25
	小 国 町																				2	15
	刈 羽 村										1	1	2									
	西 山 町																					2
	東頸城郡																					
	安 塚 町	2		1							44	44	189	1	1	4		2	2	7		12
	浦川原村			2	2						17	17	66								1	75
	松 代 町		1		1						1	1	6									1
	松之山町										32	32	126	3	3	7		9	9	33	4	4
	大 島 村			2							10	10	29	1	1	4		5	5	16		10
	牧 村	1		1	1						2	2	7					3	3	9		6
	中頸城郡																					
	柿 崎 町										7	7	22					15	13	50		1
	大 潟 町																				5	1
	頸 城 村																					3
	吉 川 町			1	3						20	20	56									33
	妙高高原町			1																		1
	中 郷 村			1	2						34	34	146					8	8	39		2
	妙 高 村	1												1	1	5		1	1	4		
	板 倉 町			2	1				1	1	2											10
	清 里 村				1													2	2	7		1
	三 和 村	1									2	2	8									
	西頸城郡																					
	名 立 町			1	1																	
	能 生 町										3	3	13					6	6	24	6	6
	岩 船 郡																					
	朝 日 村																					5

- (注) 1. 死者、行方不明については56年5月31日現在、それ以外は3月31日現在。
2. 非住家は、半壊又は全壊のもののみを掲載。
3. 長岡市高沢地すべり災害、新井市上馬場地すべり災害の建物被害も含む。

表 2. 1. 10 雪おろし等による死者の原因別内訳（昭和56年 5 月31日現在）

（新潟県の資料による）

単位：人

原因 \ 年度	48	49	50	51	52	53	54	55	備 考
雪 お ろ し	6	3	4	3	3	2	5	5	55年度の側溝等転落による死者のうち、1名は行方不明者である。 なだれには斜面雪の崩落による死者4人を含む。
側 溝 等 転 落	3		1	6	6		8	11	
な だ れ	1	1	2	6	3		1	18	
屋 根 雪 落 下	2	2	3	2	3			4	
交 通 事 故	6	2	1	5	4		1	1	
そ の 他	3		1	4	1		1	4	
計	21	8	12	26	20	2	16	43	

（注）56年 3 月31日現在の死者数は38人である。

表 2. 1. 11 雪おろし等による死者の年齢別・男女別内訳（昭和56年 5 月31日現在）

（新潟県消防防災課の資料による）

年 度 \ 年 齢 性 別	0～10		11～20		21～30		31～40		41～50		51～60		61～70		71～		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
48	2	1		1	1	1		1		2		3	5	2	2		10	11
49							1				2		1	1	3		7	1
50	2	1						1	3		2		3				10	2
51	3	2	1	1	1		2	1	2	2	4	1	1		4	1	18	8
52	3	2			1		1		2		3	3	2	2		1	12	8
53									1		1						2	
54	6								3		1	1	5				15	1
55	3	1	3	1		1		1	2	3	5	5	4	6	3	5	20	23
計	19	7	4	3	3	2	4	4	13	7	18	13	21	11	12	7	94	54

表 2. 1. 12 38年豪雪と56年豪雪の建築物の被害の比較

	住 家 (戸)					摘 要
	全 壊	半 壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	
56 年 豪 雪	27	8	339	105	706	
38 年 豪 雪	49	181	17,109	197	3,285	38. 1 豪雪害の状況と対策(新潟県)

(注) 56豪雪には長岡市濁沢地すべり災害, 新井市上馬場地すべり災害を含む

表 2. 1. 13 学校校舎等の被害

	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	特 殊 学 校
56 豪 雪	100 (校)	65	20	1
38 豪 雪	153 (校)	30	54	0

(新潟県消防防災課調)

表2. 1. 14 人・建物に被害のあったなだれ一覧

発生年月日	発生場所	規模				被害	備考
		幅 m	長さ m	厚さ m	量 m ³		
56. 1. 7 (0:09)	守門村大倉	200	800	4	300,000	死亡8、軽傷3、 住家全壊4、非住家全壊4	鳥屋ヶ峰(標高681m)の中腹側、東向斜面より発生。表層雪崩。
56. 1. 18 (0:30)	湯之谷村下折立	100	150	4	30,000	死亡6、重傷2、軽傷4、 住家全壊1、公共建物一部破損1	なめとこ山(664m)の北東斜面より発生。表層雪崩。
56. 1. 17 (14:10)	山古志村木電 1回目 { 2回目 {	上 10 下 30	200	4		住家一部破損2	1名が窓を破って流れ込んできた雪に埋まったが、自力では出しケガはなかった。全層雪崩。
		上 30 下 50	200	4			
55. 12. 31 (8:40)	熊生町徳合				土砂も含め30	住家一部破損3	
56. 1. 26 (7:00)	長岡市蓬平(高麗神社入口)				20,000	非住家(土産店兼食堂)全壊1	建物は、冬場無人。
56. 2. 8 (15:30)	長岡市蓬平 (潮沢地すべり地から700m上手)	30	30	4	3,600	非住家(共同車庫)全壊1、 車両3台大破	県道も30m埋まり、3時間余り不通。
56. 2. 9 (13:35)	西山町坂田	30	80	1.5	3,500	非住家(売店兼スナック)全壊1	冬期間は営業しておらず、ケガ人なし。
56. 1. 15 (10:30)	青海町宮花町	15	20	0.8	250	軽傷1	3名が雪に埋り、2名無事、1名入院胸部圧迫。残りの雪が21日に、なだれをおこした。
56. 1. 11 (15:00)	高柳町塩沢	30	40	2	2,400	床上浸水(公共建物)1	表層雪崩によって河川が氾濫。
56. 1. 12 (10:50)	高柳町塩沢	8	25	2	400	非住家の一部破損3	表層雪崩。
56. 1. 24 (午前中)	松代町小荒戸	60	200	4		県道路肩欠壊1	
56. 2. 9 (10:30)	松之山町湯山				20		前日の新雪が防雪柵を越え表層雪崩となった。1人が雪崩に埋ったが、無事救出された。
56. 2. 9 (11:20)	六日町坂戸スキー場	30	300			軽傷1(スキー客)	気温上昇と急斜面のため発生。
56. 1. 19 (14:30)	広神村中家地内の県道三ツ又-小出線	3	5	2			車が雪に埋ったが、乗っていた3人は無事救出された。
56. 2. 13 (0時頃)	十日町市八雲 (国道253号線)	50	100		1,000 (約6,000千円)	雪崩防止柵5基損壊。 (約6,000千円)	人の被害なし。
56. 2. 7	糸魚川市小滝境御門付近 (国道148号線)	6	20	5	500 (約400千円)	乗用車1台 (約400千円)	
56. 2. 10	津南町灰雨地内 (国道117号線)	雪が雪崩約10m ³ 、そのうち雪の塊(約1m ³ 塊2箇)が道路に落下。				乗用車1台 (約400千円)	
56. 3. 5 (11:50)	糸魚川市根知地内 (国道148号線)				併せて1,400	重傷1	雪崩の雪をショベルカー2台で除雪していたが、再度700m位の雪崩が発生。1台は崖をのがれたがもう1台は、雪に埋り、運転手が負傷した。
56. 3. 9 (13:50)	湯之谷村大字辛川字下堰896	20	130	2	400	軽傷1	通称桶場山(標高320m)の中腹(約130m)で、雪崩発生。河川復旧工事中の作業員が、雪崩に埋った。
56. 4. 5	川口町荒谷の野辺川	雪の塊(縦5m、横4m、厚さ1.5m)				死亡1	野辺川に入って作業中の老人が、雪の塊の下敷となった。
56. 4. 21 (10:30)	上越市正善寺ダム建設現場付近	沢に張りついていた残雪が、数箇の雪の塊となって崩落。				死亡1、軽傷1	付け替え道路の測量中の作業員が雪塊の直撃を受け、1名即死、1名負傷。
56. 5. 23	広神村大字中子沢字塩力沢の山中	厚さ1m、総量30m ³ 程度が10箇位の雪塊になって約10m程度崩落。				死亡1	山菜採り中、雪崩にあう。
56. 5. 24	湯之谷村大字木山沢新田字中沢354-3	約3m×3m×80cmくらいの雪が沢の上から崩れ落ちる。				死亡1	山菜採り中、雪崩にあう。

(新潟県消防防災課の資料による)

表 2. 1. 15 なだれ避難勧告一覧

市町村名	集 落 名	世帯	人数	勧告 解除	市町村名	集 落 名	世帯	人数	勧告 解除
小千谷市	船 岡 町	2	5	1.23~ 3.20	塩 沢 町	宮 ノ 下	1	1	1.12~ 1.15
	浦 柄	1	3	1.23~ 3.5		蟹 沢	4	14	1.14~ 1.27
	朝 日	1	3	1.23~ 3.20		上 野	1	5	1.21~ 1.24
	荷 頃	2	7	1.23~ 3.20		関 山	1	7	1.21~ 1.24
	首 沢	1	1	1.23~ 3.10			5	8	30
十日町市		5	7	19	六 日 町	坂 戸	10	34	1.15~ 2.18
	学 校 町	11	46	1.21~ 1.22			1	10	34
	大 池	1	3	1.22~ 2.19	大 和 町	市 ノ 江	1	5	1.19~ 3.15
	船 坂	1	1	2.19~ 3.9		浦 佐	5	20	1.19~ 3.9
川 口 町		3	13	50		水 尾	1	5	2.9~ 3.9
	荒 谷	5	31	1.18~ 3.30	川 西 町		3	7	30
	木 沢	1	3	1.22~ 3.30		中 仙 田	5	25	1.19~ 1.25
	竹 田	8	43	1.23~ 3.30		小 脇	2	8	1.19~ 4.20
	相 川 口	6	22	1.18~ 3.30		田 戸	1	4	1.25~ 1.26
堀之内町	小 和 北	1	1	1.21~ 3.30			3	8	37
		5	21	100	津 南 町	上 郷 羽 倉	1	1	1.20~ 1.22
	下 稲 倉	3	12	1.12~ 2.14		上 郷 寺 石	1	2	1.29~ 1.30
	魚 野 地	2	10	1.13~ 3.7		三 箇	1	6	1.26~ 4.9
	下 倉	1	5	1.14~ 2.14		大 井 平	1	3	2.7~ 2.8
小 出 町	小 芋 川	6	23	1.20~ 2.23	中 里 村		4	4	12
		4	12	50		本 屋 敷	2	6	1.19~ 2.28
	旭 町	6	22	1.21~ 2.20	高 柳 町		1	2	6
湯之谷村		1	6	22		坪 野	1	1	1.19~ 1.22
	律 沢	8	30	1.19~ 3.1		岡 田	1	4	1.11~ 1.11
広 神 村		1	8	30		中 坪	1	3	1.24~ 1.27
	水 沢	1	2	1.14~ 3.30			3	3	8
		1	1	2	安 塚 町	上 船 倉	1	6	1.31~ 3.3
守 門 町	大 倉	20	78	1.7~ 4.30	松 代 町		1	1	6
	大 須 川	6	23	1.19~ 4.30		千 年	2	11	1.10~ 5.19
	高 倉	1	3	1.13~ 4.30		小 荒 戸	1	4	1.24~ 3.6
	波 川	4	19	1.13~ 4.30		池 の 端	1	2	2.2~ 2.16
	荒 綱	7	30	1.13~ 4.30		田 沢	2	10	2.4~ 2.9
	大 宿	8	33	1.13~ 4.30		田 代	1	2	2.16~ 5.19
	二 分	4	11	1.14~ 4.30	松 之 山 町		5	7	29
入 広 瀬 村		7	50	197		湯 本	2	9	1.14~ 1.15
	大 白 川 新 田	9	41	1.13~ 2.19		浦 田	1	1	1.15~ 1.17
	大 栃 山	8	32	1.20~ 2.19	青 梅 町		2	3	10
	横 根	1	2	1.20~ 2.19		宮 花 町	1	2	1.21~ 2.16
塩 沢 町		3	18	75	計		1	1	2
	栃 窪	1	3	1.8~ 3.17			59	192	757

(注) 市町村長名で勧告されたもので、自主的避難は含まれていない(新潟県消防防災課の資料による)。

表 2. 1. 16 建設省所管国道除雪延長・除雪機械

(建設省北陸地方建設局調)

除雪担当 事務所	路線延長 (km)	総延長 (km)	配置除雪機械										計
			除雪トラ ック	除雪グ ーダー	ロータリー 除雪車 (スノーロ ーダー含)	圧雪 除去車	除雪 ドーザー	トラクタ ショベル	薬 剤 散布車	スノ－ メルター	小 型 除雪車	小 型 除雪機	
新潟 国道	(7) 110.7 (8) 39.3 (49) 66.1 (113) 25.9 (116) 42.6	284.6	16	14	11	2	1	2	9	0	2	8	65
	(8) 68.4 (17) 109.6 (116) 36.3	214.3	14	17	19	5	2	2	9	0	1	10	
高田	(8) (87.3) (18) (37.3)	124.6	11	9	10	2	1	1	5	1	1	7	48
	計	623.5	41	40	40	9	4	5	23	1	4	25	

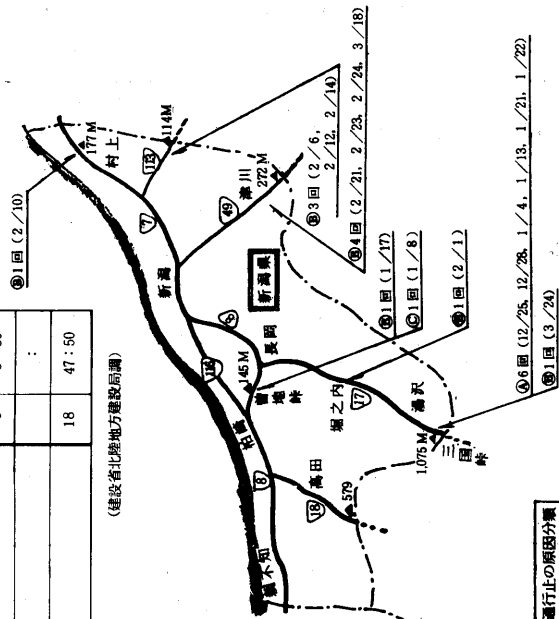
(注) 1. 路線延長の項の () は路線名を示す。

2. 除雪機械は上記のほか、降積雪状況により民間保有のものが動員される。

表 2. 1. 17 国道通行規制状況 (S56年3月末迄)

[illegible]

(建設省北陸地方建設局調)



凡

④、⑤、⑥：全面通行止の原因分類
(○/○)：全面通行止した月・日

表 2. 1. 18 昭和56年度県管理道路除雪計画延長（新潟県）

(km)

道 路 種 別	道路延長	除 雪 延 長 区 分				管理道路延長 に対する比率
		第 1 種	第 2 種	第 3 種	計	
一 般 国 道	832.4	322.0	173.5	157.7	653.2	78.5
主 要 地 方 道	1,665.2	517.2	453.4	437.9	1,408.5	84.6
一 般 県 道	3,002.3	124.4	586.4	1,548.1	2,258.9	75.2
計	5,499.9	963.6	1,213.3	2,143.7	4,320.6	78.6

(新潟県道路維持課の資料による)

表 2. 1. 19 昭和55年度除雪機械出動計画（新潟県）

(台) (km)

形 態	機 種	除 雪 ドーザー	除 雪 グレーダー	スノ ローダー	除 雪 トラック	ロータリー 除 雪 車	計	除雪延長
県 有 除 雪 機 械	直 言	16	31	7	22	29	105	896.4
	貸 与	72	43	0	35	81	231	1,581.0
	計	88	74	7	57	110	336	2,477.4
委 託 (請負)		157	19	4	2	1	183	824.1
借 上		7	33	20	0	0	60	526.2
市 町 村 委 託		104	35	0	4	23	166	492.9
合 計		356	161	31	63	134	745	4,320.6

(新潟県道路維持課の資料による)

表 2. 1. 20 雪による通行止箇所数

	月 日	路 線 数	通行止箇所数	通 行 止 理 由	
				運 搬 排 雪	積 雪 多 量
今 冬 期 間	降り始めてから 3月31日まで	117	297	163	134
通行止ピーク時	1 月 2 6 日	50	62	7	55

(道路 1981.6 による)

表 2. 1. 21 積雪多量で一時孤立状態となった集落数

	月 日	市 町 村 数	集 落 数	戸 数	人 数
今 冬 期 間	降り始めてから 3月31日まで	22	49	1,960	7,481
ピーク時の孤立 集 落 数	1月14日 ～15日	18	38	1,535	5,728

(道路 1981.6 による)

表 2. 1. 22 消融雪施設の設置延長（新潟県）

	県 管 理 道 路	市 町 村 道
消 雪 パ イ プ	416 km	335 km
流 雪 溝	37	66
流 水 道 路	29	不 明

（新潟県道路維持課の資料による）

表 2. 1. 23 私鉄・バス関係被害

（千円）

会 社 名		施 設 被 害	間接被害（営業収入減）	除 雪 経 費
鉄 道	新 潟 交 通（株）	10	0	502
	越 後 交 通（株）	109	3,270	4,281
	蒲 原 鉄 道（株）	2,425	215	3,211
バ ス	新 潟 交 通（株）	0	1,957	5,503
	越 後 交 通（株）	6,335	47,625	16,129
	頸 城 自 動 車（株）	0	33,694	9,392
	蒲 原 鉄 道（株）	0	0	0

（新潟県消防防災課の資料による）

表 2. 1. 24 電気通信設備の被害状況

設 備 名	単 位	数 量
電柱（折損・倒壊）	本	1,465
電柱（傾 斜）	本	3,279
S D ワ イ ヤ ー	km	73.3
架 空 ケ ー ブ ル	km	72.1
地 下 ケ ー ブ ル	km	0
加 入 者 引 込 線	本	20,153

（日本電信電話公社新潟電気通信部調）

表 2. 1. 25 水道施設被害

(1) 送, 配水管関係被害

市 町 村	被 害 施 設 数	被 害 額	概 要
広 神 村	配水管 1	50千円	5町5村 総額6,040千円
川 口 町	送水管 3	321	
守 門 村	配水管 1	1,400	
吉 川 町	送水管 1, 屋外給水栓 1	83	
高 柳 町	配水管 1	60	
牧 村	配水管 1	522	
津 南 町	配水管 2, 消火栓 3	2,536	
浦 川 原 村	配水管 1	50	
上 川 村	配水管 1	100	
松 之 山 町	配水管 2, 送水管 1, 消火栓 2	918	

(2) ポンプ, 計装関係被害

市 町 村	被 害 施 設 数	被 害 額	概 要
守 門 町	ポンプ 1	459千円	1市3町1村 総額5,734千円
十 日 町 市	ポンプ 1	2,640	
川 西 町	計 装 1	100	
松 之 山 町	ポンプ 1	1,435	
川 口 町	ポンプ 1, 動力線切断 1	1,100	

(3) その他被害

市 町 村	被 害 施 設 数	被 害 額	概 要
大 島 村	水源(湧水) 枯渇 2	551千円	2 村 総額1,551千円
三 和 村	凝集剤混入	1,000	

(新潟県消防防災課の資料による)

表 2. 1. 26 学校の臨時休業の状況（新潟県）

校 種	対 応	臨 時 休 業	授業等のカット	臨時休業の最も多かった日		
				月	日	校 数
小 学 校		271 校	268 校	1 月 14 日	83 校	8,888 人
中 学 校		60	82	1 月 14 日	16	4,466
高 等 学 校		54	208	1 月 13 日	20	9,988

（新潟県消防防災課調）

表 2. 1. 27 施設設備の被害（4月25日現在）

校 種	校 数	被 害 額	摘 要
小 学 校	100 校	40,183 千円	1. 建物倒壊 1校 4,000千円 新発田市立御免町小、児童保育用「子供の家」 プレハブ 106㎡ 2. 1件100千円以上の被害 36校 27,649千円 (1) 屋根破損・陥没 17校 5,484千円 (2) 外壁・内壁の破損 2校 700千円 (3) 窓枠破損 2校 568千円 (4) 窓ガラス破損 2校 258千円 (5) 煙突等の折損 1校 150千円 (6) 工作物被害 7校 8,489千円 (境界フェンス, バックネット, 水泳プール) 日除屋根の倒壊等 (7) 屋上フェンス破損 4校 9,000千円 (8) 建物のユガミ 1校 3,000千円
中 学 校	30	7,423	
小 計	130	47,606	
高 等 学 校	54	88,648	1. 長岡高校 生徒集会室倒壊 木 造 416.13㎡ 27,342千円 2. 堀之内高校 体育館, 渡廊下建具破損 348千円 3. 六日町高校 サッシ, 窓ガラス一式破損 4,482千円 4. 十日町高校 体育館の屋根中央部陥没 鉄 骨 1,335.32㎡ 33,607千円 5. 十日町実業高校 豚舎屋根庇一部陥没等 鉄 骨 215㎡ 3,065千円 6. 高田高業高校 体育館屋根一部陥没 鉄 骨 63㎡ 8,589千円 7. その他 48校 11,215千円 窓サッシ, ガラス, 雨樋, フェンス等
合 計	184	136,254	

（新潟県消防防災課の資料による）

表 2. 1. 28 農業施設被害 (新潟県)

被害の種類	施設名	被害数量	被害金額	備考
稲作関係施設	パイプハウス (水稲育苗用)	1,166棟	35,430千円	小破～全壊被害
	鉄骨ハウス (〃)	6棟	670	小破被害
	ライスセンター	5棟	1,400	小破被害
	農作業場	38棟	28,790	小破～全壊被害
	農機具庫	5棟	6,900	中破～全壊被害
	農業倉庫	3棟	3,890	小破被害
	集会施設	1棟	5,000	中破被害
	管理棟	3棟	960	小破～中破被害
	育苗施設	2棟	1,700	中破被害
	農機具	11台	2,496	中破～全壊被害
野菜・たばこ関係施設	育苗ハウス (野菜等)	445棟	79,580	中破～全壊被害
	栽培用ハウス (〃)	30棟	9,047	中破～全壊被害
	たばこ乾燥ハウス	30棟	27,400	中破～全壊被害
	たばこ乾燥室	324棟	19,705	中破～全壊被害
養蚕関係施設	組合製糸施設 (乾繭所)	1棟	59,450	全壊被害
	蚕舎	90棟	130,530	小破～全壊被害
	養蚕管理棟	9棟	5,360	小破～全壊被害
	養蚕用器具	50	125	全壊被害
畜産関係施設	畜舎	22棟	45,740千円	小破～全壊被害
	サイロ及び飼料タンク	6基	2,600	中破～全壊被害
	堆肥舎	5棟	15,120	小破～全壊被害
	飼料庫	1棟	4,200	小破被害
その他施設	漬物加工施設	1棟	140	小破被害
	有線放送施設	施設 18	65,572	電線切断 電柱折損
計			551,805	

(新潟県消防防災課の資料による)

表 2. 1. 29 樹体被害 (果樹, 桑)

(新潟県)

被害の種類	樹 種	被害面積	被害金額	備 考
果 樹	ぶどう, くり, うめ なし, もも, かき	107 ha	119,965 千円	樹体の折損被害
果 樹 棚	"	54 ha	104,895	小破～全壊被害
桑	—	8 ha	2,432	樹体の折損被害
計			227,292	

(新潟県消防防災課の資料による)

表 2. 1. 30 農作物被害

(新潟県)

被害作物	種 類	被害面積	被害金額	備 考
野 菜	大 崎 菜	20 棟 4.040 m ²	2,730 千円	パイプハウス倒壊による被害
計			2,730	

(新潟県消防防災課の資料による)

表 2. 1. 31 家畜被害

(新潟県)

被害の種類	種 類	被害数量	被害金額	備 考
家 畜	肉 牛	1 頭	450 千円	骨折死亡
	め ん 羊	2 頭	130	圧 死
計			580	

被害の種類	品 目	被害数量	被害金額	備 考
畜 産 物	生 乳	1,722 kg	172 千円	出荷不能のため廃棄処分
計		1,722	172	

(新潟県消防防災課の資料による)

表 2. 1. 32 林産施設等被害

(新潟県)

市町村又は地域	施設名	被害数量	被害金額	備考
赤泊村ほか	崩壊地	9カ所	939,400千円	融雪による崩壊
栄村	林道	1カ所	4,000	"
鹿ノ瀬町ほか	林産施設	10カ所	3,800	炭がま7基, 建物3棟
能庄町, 糸魚川市	苗畑施設	2カ所	300	建物2棟損壊
計			947,500	

表 2. 1. 33 林産物等被害(推定)

(新潟県)

市町村又は地域	種類	被害数量	被害金額	備考
県内全地域	立折損	288カ	170,200千円	積雪による折損被害
	木倒伏	32,889カ	3,374,590	積雪による倒伏被害
計		33,177カ	3,544,790	

(新潟県消防防災課の資料による)

表 2. 1. 34 水産関係被害(養殖物被害)

(新潟県)

養殖物の種類	区分	被害数量	被害金額	備考
錦鯉	雅魚	296,500尾	29,650千円	積雪による圧死又は酸欠死
	1~3才	36,164尾	108,492	
	成魚	5,988尾	119,760	
にじます	—	6,750尾	3,375	"
食用鯉	—	1,300尾	780	"
計			262,057	

(新潟県消防防災課の資料による)

表 2. 1. 35 積雪期・融雪期地すべり状況

発生場所	発年月日	規模				全壊建物		床上浸水		被害 建物計
		長さ m	幅 m	深さ m	土量 m³	住家 棟	非住家 棟	住家 棟	非住家 棟	
長岡市濁沢	55年12月30日	300 ~400	300	90 ~100	90万	12	20	8	8	48
新井市上馬場	56年1月26日	400	150	—	60万	8	10	0	0	18
新井市上平丸	56年4月10日	300	50	8	12万	0	0	0	0	0
新井市大濁	56年4月21日	500	80	5	20万	0	0	0	0	0

表 2. 1. 36 新潟県の各部局に関する被害額

区 分	被害額 (千円)	摘 要
民 生 部 関 係	34,409	社会福祉施設
衛 生 部 関 係	13,325	水道施設
生 活 環 境 部 関 係	2,700	衛生施設
商 工 労 働 部 関 係	29,869,500	工場, 店舗, 機械, 営業収入減
農 林 水 産 部 関 係	7,533,898	農業関係, 水産関係, 林業関係
農 地 部 関 係	8,997,000	農地, 農業用施設
土 木 部 関 係	4,318,050	道路, 河川, 橋りょう
企 業 局 関 係	3,600	電気工作物, 土木施設
病 院 局 関 係	36,883	建物等
教 育 庁 関 係	351,976	学校施設
警 察 本 部 関 係	126,825	交通施設, 警察施設
運輸通信電力関係	2,489,813	国鉄, 北陸地建, 道路公団, 陸運局関係, 電電公社, 信越 郵政局, 東北電力, 県防災行政無線
建 物 関 係	621,129	非住家を除く
そ の 他	1,510,115	新発田営林署関係, 市町村公共土木施設, 私立高校, 消防施設
計	55,909,223	

(新潟県消防防災課の資料による)

表 2. 1. 37 各部門の除雪経費

区 分	経 費 (千円)	摘 要
道 路 関 係	11,465,028	国 管 理 1,899,126
		県 管 理 4,603,000
		市 町 村 管 理 4,651,899
		日本道路公団管理 311,003
県, 市 町 村 管理 建 物 関 係	1,369,186	県 管 理 276,206
		市 町 村 管 理 1,092,980
運輸通信電力関係	2,519,721	新 潟 鉄 道 管 理 局 1,568,755
		長 野 " 405,000
		金 沢 " 107,827
		陸 運 局 関 係 39,018
		信 越 郵 政 局 43,567
		東 北 電 力 355,554
そ の 他	39,163	民間社会福祉施設 32,585
		私 立 高 校 6,578
計	15,393,098	

(新潟県消防防災課の資料による)

表 2. 1. 38 56年豪雪災害と過去の豪雪災害の比較

区分	災害の種類・名称		38. 1 豪雪	51 年 1 月豪雪	52 年豪雪		昭和 56 年豪雪	
全般被害状況	発生年月		S 38. 1	S 51. 1	S 52. 2		S55.12－56. 2	
	人的被害	死者	人	12	12	26		42
		行方不明	人					1
		重軽傷	人	399	99	349		179
	住家被害	全壊（焼）出	棟	49	1	13		27
		半壊（焼）	棟	181	2	12		8
		床上浸水	棟	197	45	37		105
	被害額	床下浸水	棟	3,258	210	263		706
		建物関係	千円	723,864	173,008	1,026,674		621,129
		土木関係	千円	341,242	6,254,700	1,877,500		4,318,050
	被害額	農林関係	千円	2,224,797	262,165	4,792,444		7,533,898
		農地関係	千円	128,388	2,872,000	1,761,000		8,997,000
		商工関係	千円	6,345,635	20,400,000	25,939,000		29,869,500
	被害額	医療衛生関係	千円	49,004		5,671		52,908
		文教関係	千円	76,592		12,900		351,976
		運輸通信関係	千円		735,730	1,399,830		2,410,873
	被害額	電力・ガス関係	千円		25,525	18,927		78,940
		その他	千円	1,042,720	4,588,492	8,186,055		1,674,949
		被害総額	千円	10,932,242	35,311,620	45,020,001		55,909,223
	調査年月日等			S 38. 3. 10	S 51. 5. 10	S 52. 5. 14		S 56. 5. 11
	主たる被災地域			中越地方（特に 長岡・三条・加茂方面	上・中越地方	・中部地方山間部 ・上越地方山間部 及び平野部		上・中越地方
	法・条例適用区分			法	条 例	法	条 例	法 条 例
	適用市町村数			23 （9市7町7村）	2 （1市1町）	22 （4市9町9村）	5 （2町3村）	38 （5市19町14村） （5市19町14村）
	県豪雪対策本部等の設置期間			38.1.25～4.1 66日間	51.1.20～5.11 113日間	52.1.6～5.16 131日間		56.1.9～5.25 137日間

(注) 56年豪雪の死者行方不明は56年5月31日現在の数である。

(新潟県消防防災課の資料による)

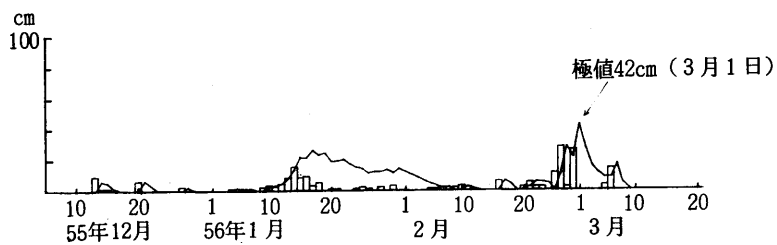


図 2. 1. 1 昭和55年～56年，新潟における降雪の深さ・積雪の深さ

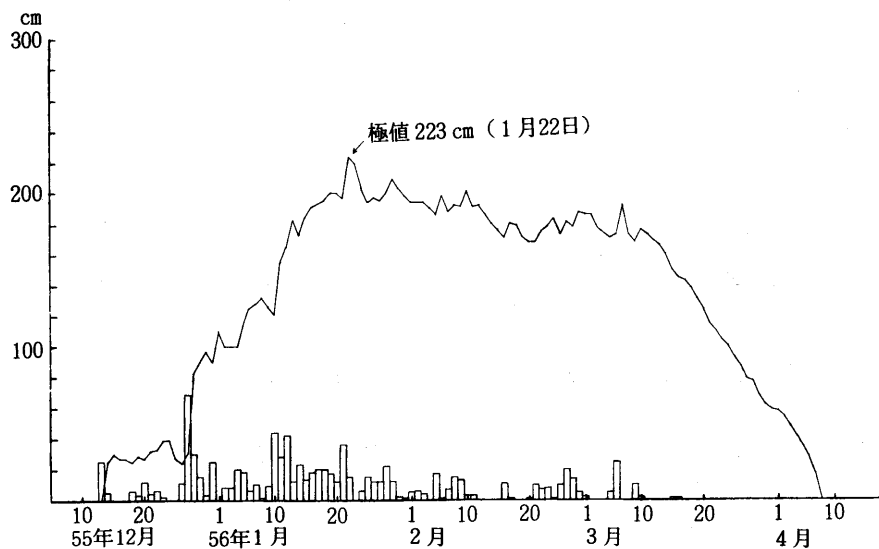


図 2. 1. 2 昭和55年～56年，長岡における降雪の深さ・積雪の深さ

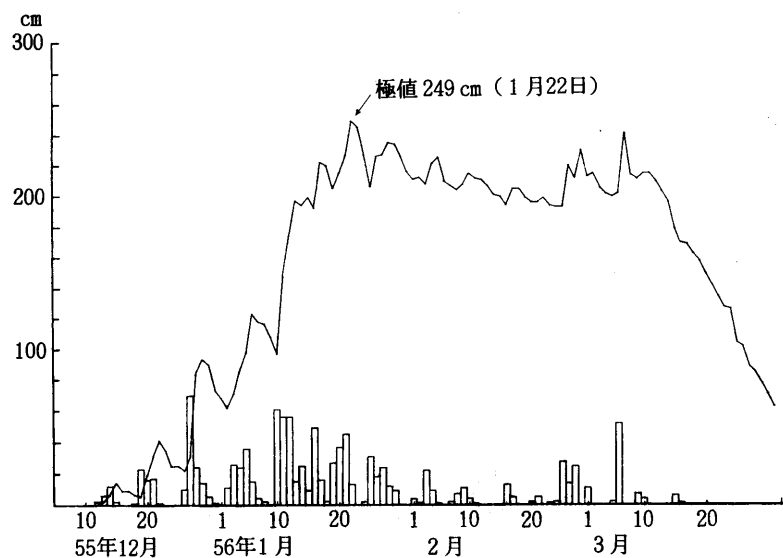


図 2. 1. 3 昭和55年～56年，高田（上越）における降雪の深さ・積雪の深さ

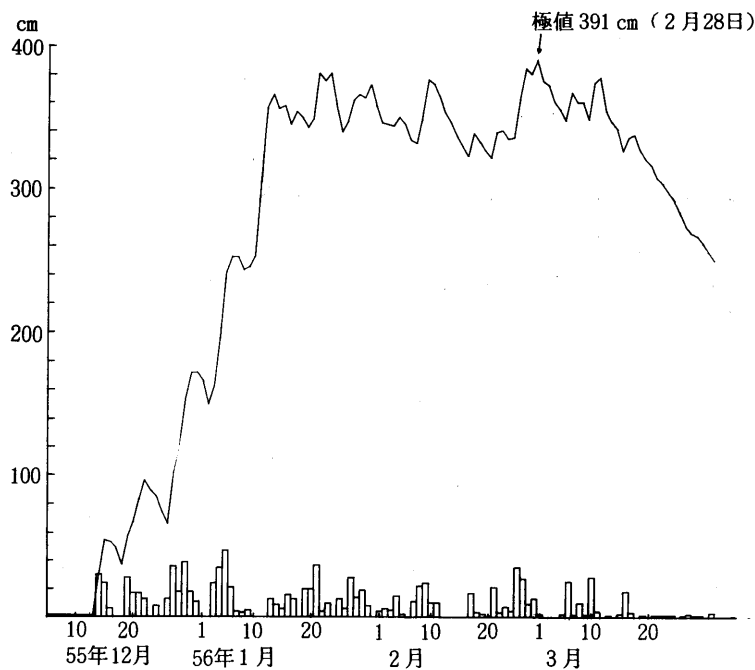


図 2. 1. 4 昭和55年都 ~56年, 十日町における降雪の深さ・積雪の深さ

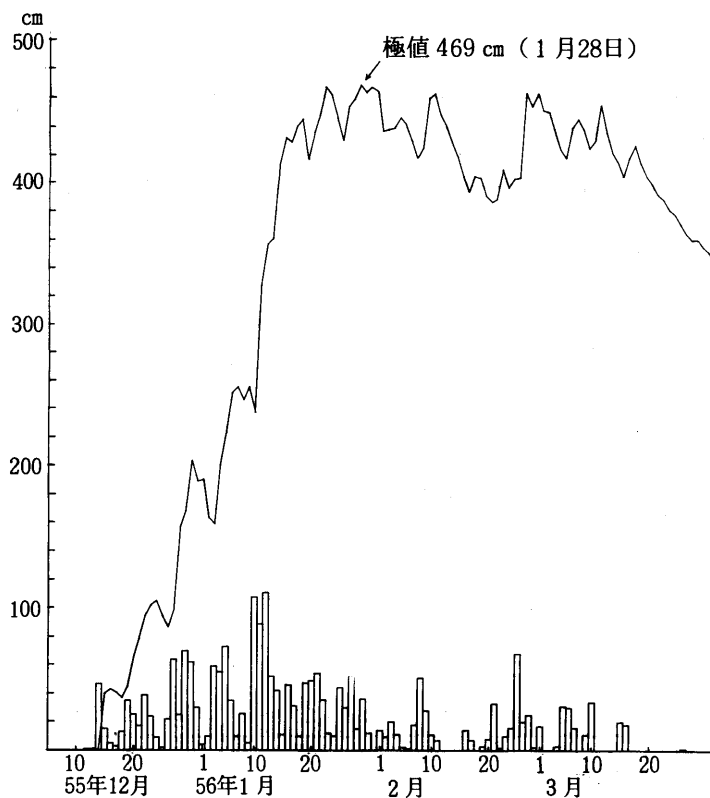
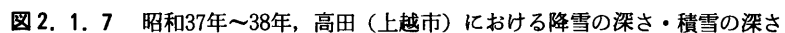
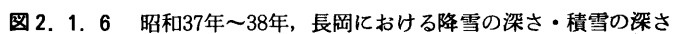
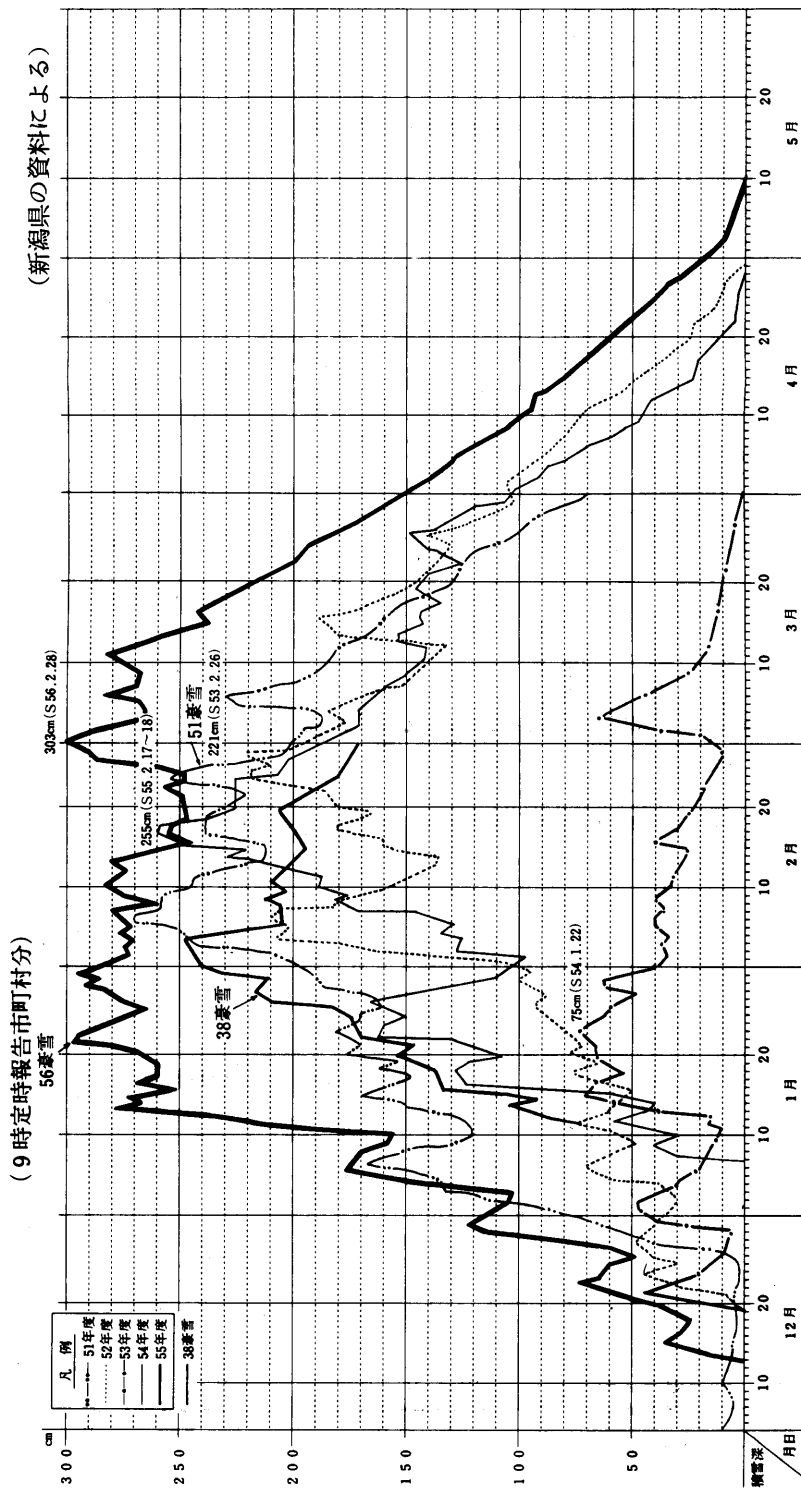


図 2. 1. 5 昭和55年~56年, 松代における降雪の深さ・積雪の深さ





(注) 1 定時報告市町村は、新潟市、上越市、十日町市、新井市、魚沼市、三川村、小出町、守門村、湯沢町、雄勝町、津和野町、高根町、小国町、安曇町、大島村、妙高高原町、中津村の計18市町村である。
 2 この表は、定時報告市町村の積雪深の平均をグラフにしたものである。

図 2. 1. 8 年度別積雪の深さの比較

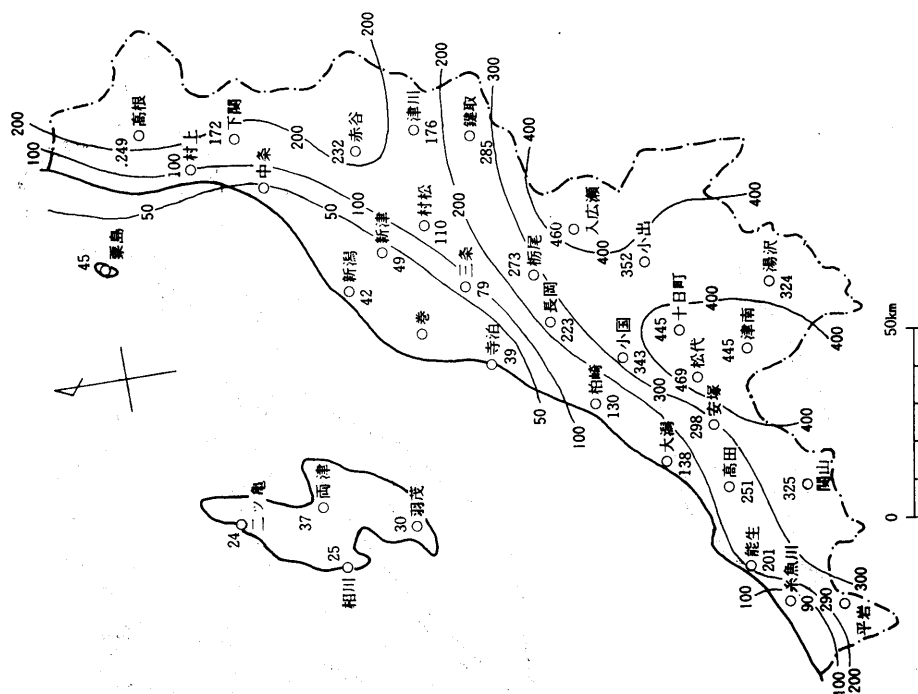


図 2. 1. 10 昭和56年冬の最深積雪 (cm) (新潟地方気象台)

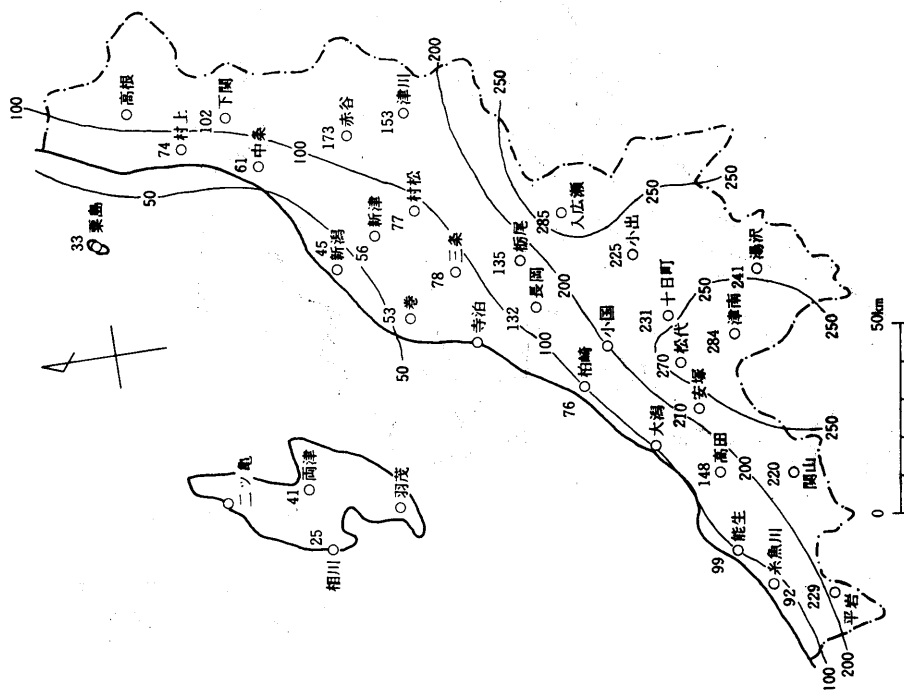


図 2. 1. 9 最深積雪の平年値 (cm) 1951-1980 (新潟地方気象台)

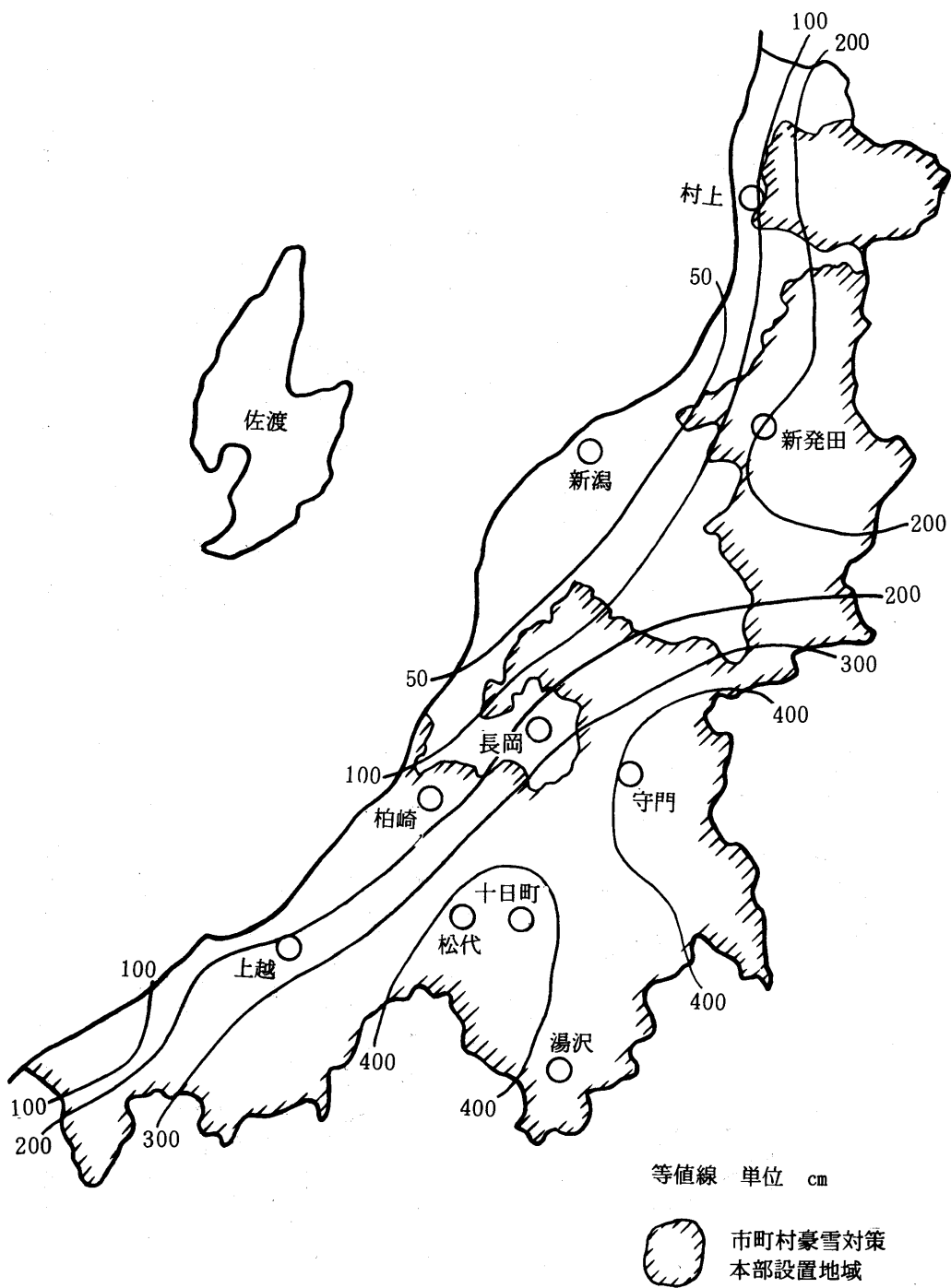


図2. 1. 11 56年豪雪の最深積雪等値線と市町村豪雪対策本部設置地域

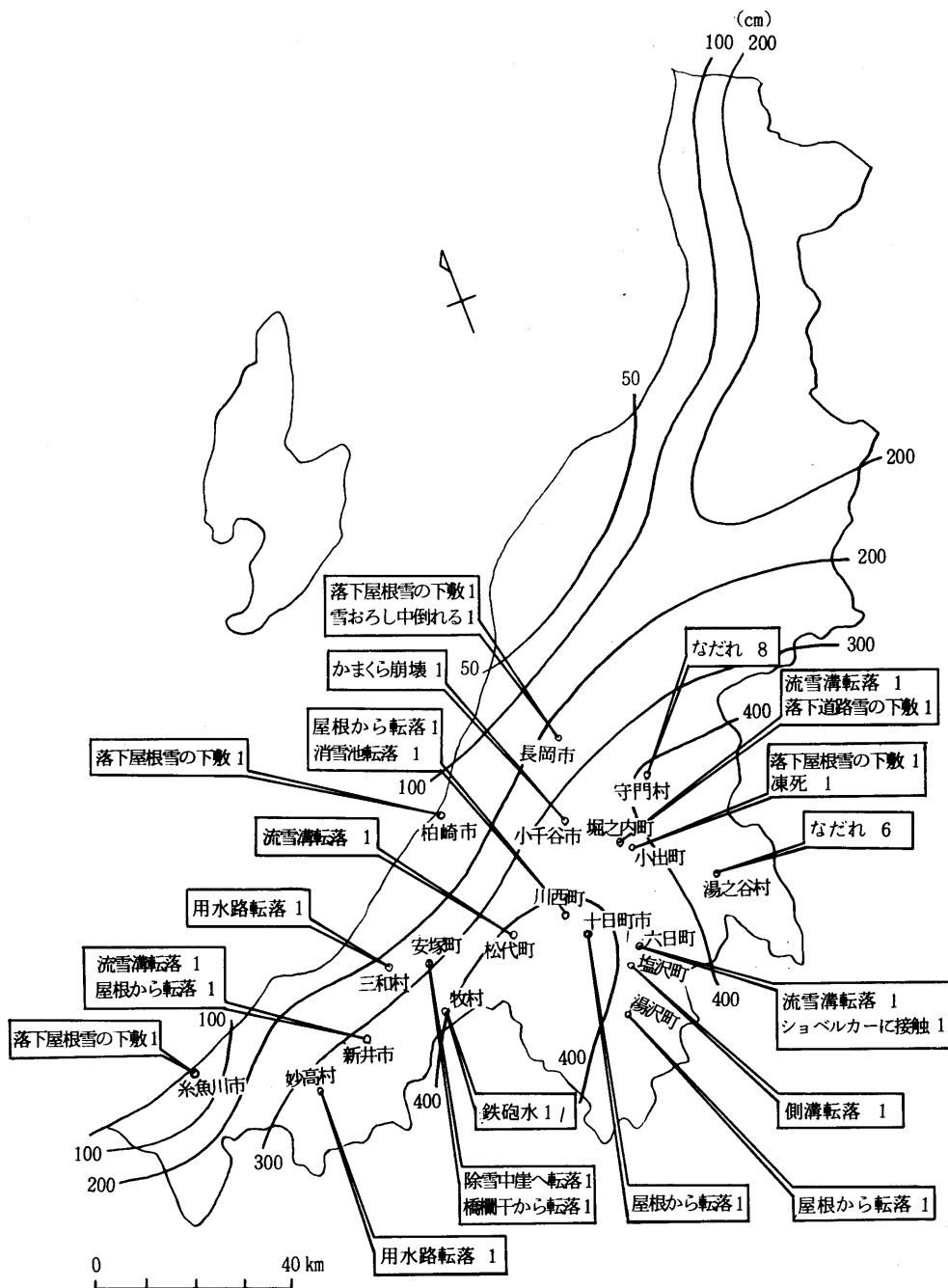


図 2. 1. 12 新潟県内の最深積雪（単位cm）の分布と市町村別死者数（56.3.31現在）

2.2 富山県

2.2.1 気象概況

昭和55年12月26日から冬型の気圧配置が強まり、26日20時に風雪波浪注意報が発令され、28日23時50分に今冬はじめての大雪警報が発令された。28日富山市の降雪の深さは62cmとなった。29日以降小康状態を保ったものの、56年1月2日から冬型の気圧配置が強まり、平地でも連日の降雪の深さは30cmをこえた。6日16時50分に第2回めの大雪警報が、11日16時45分に第3回めの大雪警報が発令された。1月13日には富山市においては積雪の深さの極値（最深積雪）を示し、その値は38年豪雪時の極値（186cm）に近い160cmに達した。さらにこの頃山地では積雪の深さは38年豪雪時を上まわって450cmに達したところもある。今冬の各地の最深積雪は1月13日から1月23日の間に出現している。県内の主な地点の降雪の深さ、積雪の深さを表2.1.1～2.1.5に、図2.1.1～2.1.5に示し、参考として38年豪雪時の富山、利賀の降雪の深さ、積雪の深さを図2.1.6、7に示す。

今冬の降雪状況を概括すると、大きな降雪は12月27日～30日は県東部に里雪型と山雪型、1月2日～8日は前半は山雪型後半は里雪型、1月10～17日は山雪と里雪が交錯した型であった。積雪は平地部で38年豪雪時の値に達しなかったが、山地では38年豪雪時の値を超えている。また降雪の深さの積算値は図2.2.1～2.7.5に示した地点では38年豪雪時を超えている。

図2.2.8は1月15日の県内各地の積雪の深さを示したものである。今冬は1月15日から22日にかけて、大部分の地で最深積雪が出現している。

表2.2.6に、県内各地の積雪の深さの推移と、富山地方気象台が発表した注意報、警報等の気象情報を示す。

2.2.2 豪雪対策本部の設置

富山県豪雪対策本部の設置は、昭和56年1月6日であり、同本部の解散は同年3月20日である。

県内の市町村豪雪対策本部の設置状況は、表2.2.7のとおりであり、県内の35市町村全部が豪雪対策本部を設置した。

2.2.3 政府の視察団

1月10日、原国土庁長官を団長、大塚国土政務次官を副団長とする14名が、富山県内の豪雪災害の状況を観察調査した。一行は国土庁、警察庁、文部省、農林水産省、通商産業省、運輸省、郵政省、建設省、自治省の担当官で構成された。

2.2.4 人的被害

56年豪雪の県内の人的被害は、死者22人、重傷者202人、軽傷者965人の多きに達している（昭和56年3月20日現在）。死亡の原因別内訳および市町村別内訳等を表2.2.8および図2.2.9に示す。死亡者22名中18名が1月中旬に、4名が2月中旬に死亡している。1月中旬の18名のうち12名までが1月6日から1月20日までの、強い降雪が続いた期間に死亡している。また22名中半数近い10名が除雪作業の過労による心不全等で死亡していることは、豪雪により住民が肉体的精神的負担を強いられたことを物語っている。

2.2.5 建築物の被害

建築物関係の被害は表2.2.9に示すとおりである。また学校教育、社会教育関係施設の被害を表2.2.10に示す。

2.2.6 道路交通の確保

県は冬期間の幹線道路の交通を確保し、産業・経済活動と民生の安定をはかるため、「55年度道路除雪計画」をたて、国、市町村道路除雪担当機関と連絡をとりながら12月1日から除雪体制に入った。

12月28日第1回めの大雪警報が発令され、1月に入ってからでも降雪が続いたので、1月5日北陸地方建設局と協議のうえ、通常除雪体制から警戒体制に移行し、連日連夜の除雪作業が続けられた。その結果なだれ等による不通箇所はあったものの、ほぼ全線の交通は確保され、産業資材の流通、民生の安定は確保された。

(1) 北陸自動車道

県内の北陸自動車道は、東金沢・小杉間を日本道路公団金沢管理局金沢管理事務所が、小杉・滑川間を同富山管理事務所がそれぞれ除雪機械9台、8台を配置して除雪を実施し、降雪のための速度規制はとられたものの、砺波・小矢部間が1月13日20時10分～22時の間交通止されたほかは交通が確保された。北陸自動車道の通行状況を表2.2.11に示す。

(2) 国道（建設省管理）

建設省北陸地方建設局富山工事事務所管理の国道8号線、41号線、156号線、160号線計187.2kmの除雪は直轄除雪機械39台、借上除雪機械62台を動員して、連日連夜続けられ、一部除雪作業や事故で交通止された以外は、県内での不通はなかった。北陸自動車道とともに、幹線交通の確保に大きな役割を果たした。国道の除雪機械の配置状況を表2.2.12に、通行状況を表2.2.13に示す。

(3) 県管理道路

県管理の国道および県道等（県管理道路、延長2,314.4km）の除雪は当初計画で除雪延長2,065.9kmと定められ、直轄除雪125台、借上除雪機械566台で、各土木事務所が除雪を实

施した。除雪は1月1日、2日を除き連日休みなく続けられた。特に1月13日、14日、16日の夜間には450台以上、12日の夜間には500台以上の除雪車が出動した。これにより、なだれ危険のある一部道路を除いて、おおむね交通が確保された。県管理道路の通行状況を表2.2.14に示す。

(4) 市町村道等

市町村道等（総延長7,709.6 km）の除雪計画延長は4,319.6 kmで、各市町村の担当で除雪された。山間地は38年豪雪以上の降積雪のために除雪に困難を来し、2月28日現在で、1町2村10集落が孤立した。集落の孤立状況を表2.2.15に示す。

(5) 陸上自衛隊の出動による道路の除雪

県雪害対策本部は、燃料、生活必需物資等の緊急輸送のために陸上自衛隊の出動を要請して除雪を行った。その概況は次のとおりである。

高岡市周辺（1月12日～1月16日）

- ①高岡市広小路－伏木港（県道伏木港線）
- ②高岡市佐野－同市総合卸売市場（市道佐野下黒田線）
- ③高岡市広小路－大島町北野（県道富山高岡線）

八尾町－利賀村間（1月17日～1月22日）

- ①八尾町三ツ松－同町栃折（県道八尾吉川線）
- ②八尾町栃折－同町栃折峠（県道土百瀬栃折線）

2.2.7 国鉄の被害

国鉄各線は、55年12月末および56年1月中旬を中心として、列車の運休や遅延が続き、混乱状態に陥ったが、1月下旬に大勢は復旧した。また県雪害対策本部長（県知事）は国鉄の早期輸送回復を関係方面に要請した（昭和56年1月9日）

(1) 北陸線

北陸線は主として福井県内の福井－敦賀間が何回か不通になったために、富山県内を通過する長距離の特急・急行の運行が相次いだ。

55年12月末の降雪で福井－敦賀間が不通となり、特急・急行長距離列車が運休した。年末の帰省客の輸送に大混乱を生じた。

12月30日に復旧し56年1月5日までは、間引き運転はあったが運行は確保された。1月6日－1月8日未明まで特急・急行の運休が続発した。このため金沢鉄道管理局では第5次運行規則を行い、通勤・通学・生活必需品の輸送に全力を注いだ。

1月14日－16日に福井－敦賀間が不通となったほか、信越線長岡－直江津間が不通になったため、特急・急行は全面運休となった。普通列車も1月12～15日に半数近く運休となった。また運行されても大幅な遅延を生じた。国鉄の復旧作業により1月17日頃から徐々に回復し、

1月26日までに特急・急行の長距離列車は半数以上が運休した。表2.2.16に北陸、高山線の運行状況を示す。

(2) 高山線

55年12月28日夜岐阜県宮川村で発生したなだれのために不通となった。この不通は12月31日に復旧した。しかし56年1月3日から1月16日まで、6日から7日にかけて1時開通したほか、猪谷－高山間がなだれ危険のため再度不通になった。1月17日から猪谷－高山間は開通したが、普通列車が僅かに運行されたのみである。急行は1月4日から3月6日まで全面運休された。普通列車も3月6日まで富山－猪谷間で、平常の70%の運行であった。

(3) 氷見線－城端線

1月6日－7日、1月12－15日に大幅な間引運転となったが、1月23日以後は平常運転となった。

(4) 富山港線

1月9日－13日に半数以上の運休となったが、1月19日以後は平常運転となった。

2.2.8 私鉄の被害

55年12月28日－30日に富山地方鉄道(株)立山線が一部区間で間引き運転された。1月12日－17日富山地方鉄道本線が、富山－桜井間、桜井－宇奈月間で折返し運転を行った。1月12日－14日に同立山線の本宮－立山間で間引き運転となった。立山線は1月15日から、本線は1月18日から平常運転となった。

加越能鉄道(株)高岡軌道線は1月6日－8日、1月13日－14日に高岡駅－片原町間が区間運休となった。表2.2.17に公益事業の被害状況を示す。

2.2.9 バス交通の被害

富山地方鉄道(株)、加越能鉄道(株)、富山観光乗合自動車(株)の3社のバス路線の運行は、56年1月31日まで、全面運休165路線、区間運休780路線、運休総本数18,430に達した。最悪の時期は1月12日－16日で、全面運休62路線、区間運休200路線、運休総本数6,276本であり、平均30～40分の遅延となった。(被害額については表2.2.17参照)。

2.2.10 航空運行状況

55年12月末から56年1月下旬まで悪天候が続いたため富山空港発着の航空便は、12月末から1月20日頃まで、数日運航されたほかは、欠航が続いた。1月下旬から概ね順調に運航された。

2.2.11 電力関係被害

55年1月2日から強まった冬型の気圧配置による、強い降雪と着雪の重さで、富山市北部を中心に11基の北陸電力（株）の送電鉄塔が倒壊し、富山市岩瀬から魚津市までの海岸線を中心に断線が30か所に及び、最高3時間にわたり25,700戸が停電した。停電か所に富山県北部の工場地帯が含まれていたため、不二越工業、日本海石油、日本海重工、太平洋金属、東洋紡などの大企業の工場の停電があったが、北陸電力の懸命の復旧作業により、3日から5日にかけて、仮復旧が終了した。鉄塔の復旧は2カ月以上を要するとみられている。（被害額については表2.2.17参照）

2.2.12 通信関係被害

落雷や着雪のために、電話の電柱、ケーブルの倒壊、切断で、55年12月末から、電々公社の一般加入電話の故障が、延べ10,400件に達した。（被害額については表2.2.17参照）

2.2.13 農林水産業の被害

(1) 農業関係

多量の降積雪による冠雪、着雪、積雪の沈降力のために果樹の枝折の被害が広い地域で発生した。長期間の雪中埋没のために麦の低温障害が発生した。

ビニールハウス等の農業用施設の雪中埋没、倒壊破損が多数発生した。

農業用かんがい水路、排水路関係の施設の破損が各所で発生した。

(2) 林業関係

今豪雪の被害で特異であったのは、杉樹の倒伏・折損被害が多数発生したことである。Ⅲ令級からⅥ令級（樹令11年～30年）の杉樹の折損とⅠ令級からⅣ令級（樹令1年～20年）までの杉樹の倒伏被害が多く発生した。

(3) 水産関係

水産関係では、淡水養殖魚のいわな、こいの死滅、水産加工作業所の倒壊があった。

農林水産業関係の被害状況を表2.2.18に示す。

2.2.14 商工業の被害

雪荷重による工場、店舗の損傷、材料、製品、商品の損傷などの直接被害のほか、労働力が確保できなかった、交通事情が悪化して材料、製品の入出荷が遅延したなどの間接被害が多く出た。表2.2.19に県内の商工業関係の損害額を示す。

2.2.15 警察および消防の活動

(1) 警察の活動

1月6日県雪害対策本部の設置とともに、県警察本部および県内17警察署に雪害警備本部を設置し、情報の収集、事故（除雪中の転落事故、用水への転落事故、雪中への生埋め、建物の倒壊等）の処理、危険箇所のパトロール、独居老人等に対する奉仕活動等を実施した。独居老人に対する奉仕活動実施状況を表2.2.20に示す。

(2) 消防の活動

1月6日に富山市に消防雪害対策本部がされたほか、各地区で特別の体制に入って、消防施設の保守、人身事故等における救助活動、火災防止のPR強化、消防車両通行道路の確保にあたった。

また、屋根からの落雷や雪荷重による、都市ガス・LPガス配管、調整器等の損傷が発生した。このような状況に対応して、雪によるガス配管、調整器の破損を防止するようPR活動を続けた。

消防機関が覚知したガス関係の事故は1月31日までに36件である。うち爆発による住家の半壊1件、一部破損2件、ガス漏洩による火災2件であった。

富山市内のガスに関する事故は（日本海ガス（株）市内大手LPガス販売店に通報されたもの）2月14日現在282件（メータ破損140件、配管損傷89件、整調器破損53件）であった（富山市消防本部調べ）

消防職員、消防団員の活動状況を表2.2.21に示す。

2.2.16 避難命令の発令

積雪の重さで建物が倒壊するおそれが生じたとき、なだれ災害の危険性があるとき、住民に避難命令が出された市町村は6市町村で、その内訳を表2.1.22に示す。

2.2.17 生活必需品の確保

(1) 青果物は冬期県外産に多く依存しているが、幹線道路の交通が確保されていたため入荷は概ね順調であった。入荷状況を表2.2.23に示す。

(2) 生鮮魚介類は、県内産、県外産とも順調に入荷し、価格は安定していた。入荷状況を表2.2.24に示す。

(3) 食肉類等は山間地からの出荷が一部遅れたが、入荷は順調であった。

(4) 石油類は、海上輸送され、入荷・在庫は例年並であった。消費への流通は順調で、価格は安定していた。

(5) LPガスの輸送は陸上交通によったが、入荷量、価格ともに安定していた。

(6) 1月13日、利賀村および八尾町大長谷からの生活必需品と除雪機械用燃料の緊急輸送の依頼により、陸上自衛隊のヘリコプターの空路輸送が1月14日試みられたが、悪天候のため中止

された。翌1月14日には県を中心として午前9時に、ブルドーザを先導にして陸上輸送を行い、午後4時55分に両町村への緊急物資の輸送を完了した。

(7) 生鮮食糧品、燃料等の確保と価格の安定のために、県は関係方面に種々の要請を行い、また必要な措置をとった。

2.2.18 学校の臨時休業等

積雪量が多くなったため、登下校時の事故防止、バスや列車の遅延・運休のため臨時休業等が続出した。その概況を表2.2.25に示す。また県教育委員会、市町村教育委員会は、児童生徒の通学途上の安全確保と除雪の実施について必要な措置をとった。

謝 辞

この報文をまとめるに当たって、次の機関およびそれに関係する方々から、資料を提供していただいたり、豪雪災害の実情を細詳に伺ったことを記して、謝意を表します。

建設省北陸地方建設局道路管理課、同機械課、同富山工事事務所、富山県知事公室、同消防災害課、同道路課、富山市役所総務課、富山県福光町、(順序不同)。

表 2. 2. 1 昭和55年～56年冬の降雪の深さ・積雪の深さ

富山県における雪に関する調査（日本気象協会北陸センター）による

地 名 富 山 単位：cm

	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
12月	降雪	-	-	0	0	-	-	-	-	-	-	-	8	14	12	0	-	-	2	0	7	0	-	1	2	-	16	46	62	18	4	0
1月	積雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	18	24	16	12	10	9	7	10	9	6	6	0	-	16	50	88	80	71
1月	降雪	0	24	14	32	34	36	34	30	-	26	61	49	26	13	1	17	3	1	9	16	6	3	-	2	14	2	6	0	7	-	-
2月	積雪	64	53	62	63	84	102	114	125	98	79	96	142	160	159	152	137	145	133	123	126	130	124	119	112	108	118	110	110	101	106	103
2月	降雪	5	0	15	1	0	-	1	0	0	16	0	-	-	-	-	3	0	-	-	1	0	0	4	9	39	18	5	0	-	-	-
3月	積雪	100	105	100	112	104	100	98	96	95	93	110	102	95	88	87	81	79	75	70	69	70	66	64	67	72	101	106	100	-	-	-
3月	降雪	0	-	-	-	4	7	-	-	7	7	-	-	-	-	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3月	積雪	89	81	75	71	68	67	72	63	56	63	69	59	55	49	35	31	27	23	20	14	6	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表 2. 2. 2 昭和55年—56年冬の降雪の深さ・積雪の深さ

富山県における雪に関する調査（日本気象協会北陸センター）による

地 名 砺 波 単位：cm

	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
12月	降雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	10	5	2	-	-	1	-	12	3	0	2	0	-	15	30	32	17	0	0
	積雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	11	12	11	9	6	0	-	10	7	4	3	0	-	15	45	74	80	71
1月	降雪	2	20	10	29	39	14	4	0	-	25	32	34	16	10	-	12	9	2	1	11	15	5	1	0	7	23	8	0	11	0	2
	積雪	58	51	67	72	99	138	138	128	116	96	117	148	179	181	179	160	169	164	151	145	151	157	149	142	137	141	155	150	140	146	141
2月	降雪	2	0	7	10	2	1	4	1	0	8	1	0	0	0	0	18	0	1	0	1	3	1	6	11	10	2	11	2			
	積雪	137	136	135	138	145	137	135	134	132	131	137	134	129	125	122	116	128	124	116	114	114	114	112	115	119	126	122	127			
3月	降雪	1	0	1	1	5	5	1	2	9	2	0	0	0	0	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-
	積雪	122	119	115	111	108	107	107	99	94	101	98	96	92	84	72	70	64	58	55	45	38	33	24	19	6	0	-	-	-	-	-

表 2. 2. 3 昭和55年～56年冬の降雪の深さ・積雪の深さ

富山県における雪に関する調査（日本気象協会北陸センター）による

		地名 福 光																													単位：cm	
	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
12月	降雪	—	—	—	0	—	—	—	—	—	—	—	10	28	10	2	—	—	0	1	20	5	—	0	—	0	16	35	38	25	5	2
	積雪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	32	32	28	24	22	16	15	33	30	22	19	17	14	27	60	94	100	88
1月	降雪	0	20	15	45	75	45	15	1	—	50	48	60	40	30	2	27	15	2	15	25	30	15	0	3	15	14	15	0	15	—	—
	積雪	79	65	74	78	115	170	180	170	150	127	155	180	210	225	225	202	215	212	197	196	197	205	205	182	173	182	180	185	171	179	167
2月	降雪	4	0	14	14	5	—	4	0	2	18	5	—	—	—	—	26	3	—	—	5	0	—	3	16	27	25	20	3	—	—	—
	積雪	163	164	162	163	175	167	161	162	162	156	168	166	156	152	148	145	161	160	156	145	147	145	143	147	157	170	168	175	—	—	—
3月	降雪	2	—	—	—	4	5	0	—	15	5	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	積雪	163	156	151	146	145	143	140	133	130	140	140	137	135	134	115	108	102	98	90	82	75	72	64	61	55	42	33	30	20	18	15
4月	降雪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	積雪	13	6	5	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注 4月の積雪の深さは富山県降積雪及び気温観測調査報告書（Ⅷ）（富山県土木部、財団法人日本気象協会富山支部）による。

表 2. 2. 4 昭和55年—56年冬の降雪の深さ・積雪の深さ

富山県における雪に関する調査（日本気象協会北陸センター）による

地 名 利 賀 単位：cm

	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
12月	降雪	—	—	3	15	—	—	—	2	16	—	—	21	48	52	18	—	—	15	—	58	—	—	28	15	3	88	65	140	40	25	0
月	積雪	—	—	—	3	15	8	0	—	2	15	10	0	21	68	110	105	100	85	71	65	120	118	115	112	115	108	190	235	335	295	275
1月	降雪	0	25	37	52	98	50	42	0	18	53	78	75	62	40	0	48	0	18	20	25	48	12	0	0	14	14	10	0	45	—	—
月	積雪	245	215	235	250	285	350	350	345	330	310	340	380	410	425	430	380	385	360	355	350	350	380	360	345	330	339	340	330	330	355	330
2月	降雪	25	0	40	30	0	—	8	10	5	35	20	0	0	0	0	27	0	0	3	15	5	5	3	30	35	45	35	0	—	—	—
月	積雪	315	335	335	348	350	340	330	318	318	315	340	340	330	318	298	290	300	295	285	280	280	280	275	275	298	315	350	360	—	—	—
3月	降雪	0	0	0	8	10	8	5	2	28	25	3	0	0	0	35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25	—	—	—	—	—
月	積雪	330	315	310	300	300	300	305	300	298	315	325	315	290	280	275	300	285	270	265	260	255	240	230	220	200	175	195	180	180	175	170
4月	降雪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
月	積雪	175	168	163	160	160	150	145	135	130	120	110	95	90	80	75	68	60	55	50	42	40	38	30	20	15	13	10	5	0	—	—

(注) 4月の積雪の深さは富山県降積雪及び気温観測調査報告書(Ⅷ)（富山県土木部、財団法人日本気象協会富山支部）による。

表 2. 2. 5 昭和55年—56年冬の降雪の深さ・積雪の深さ

富山県における雪に関する調査（日本気象協会北陸センター）による

単位：cm

地 名 泊

	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
12月	降雪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	—	—	—	—	—	3	2	—	1	—	0	6	42	14	2	0	0
	積雪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	5	2	0	—	—	—	3	5	4	0	—	—	6	48	58	55	47
1月	降雪	1	7	4	17	13	16	2	0	—	25	16	7	11	9	16	18	0	0	6	13	3	3	0	1	13	6	9	2	5	1	2
	積雪	42	35	38	40	57	68	75	74	70	50	72	84	87	96	101	110	124	117	104	106	113	107	109	100	91	100	101	107	103	401	101
2月	降雪	0	0	5	2	0	0	2	1	2	3	4	0	0	1	0	4	0	0	1	1	2	0	0	1	15	3	5	1			
	積雪	100	96	95	95	96	92	89	87	85	83	82	83	76	71	68	59	53	51	45	43	43	42	42	38	34	49	39	39			
3月	降雪	1	2	2	0	3	14	0	1	1	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	積雪	35	35	32	26	22	20	31	15	11	10	17	12	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表2.2.6 積雪の深さの推移と気象情報（富山県消防防災課の資料による）

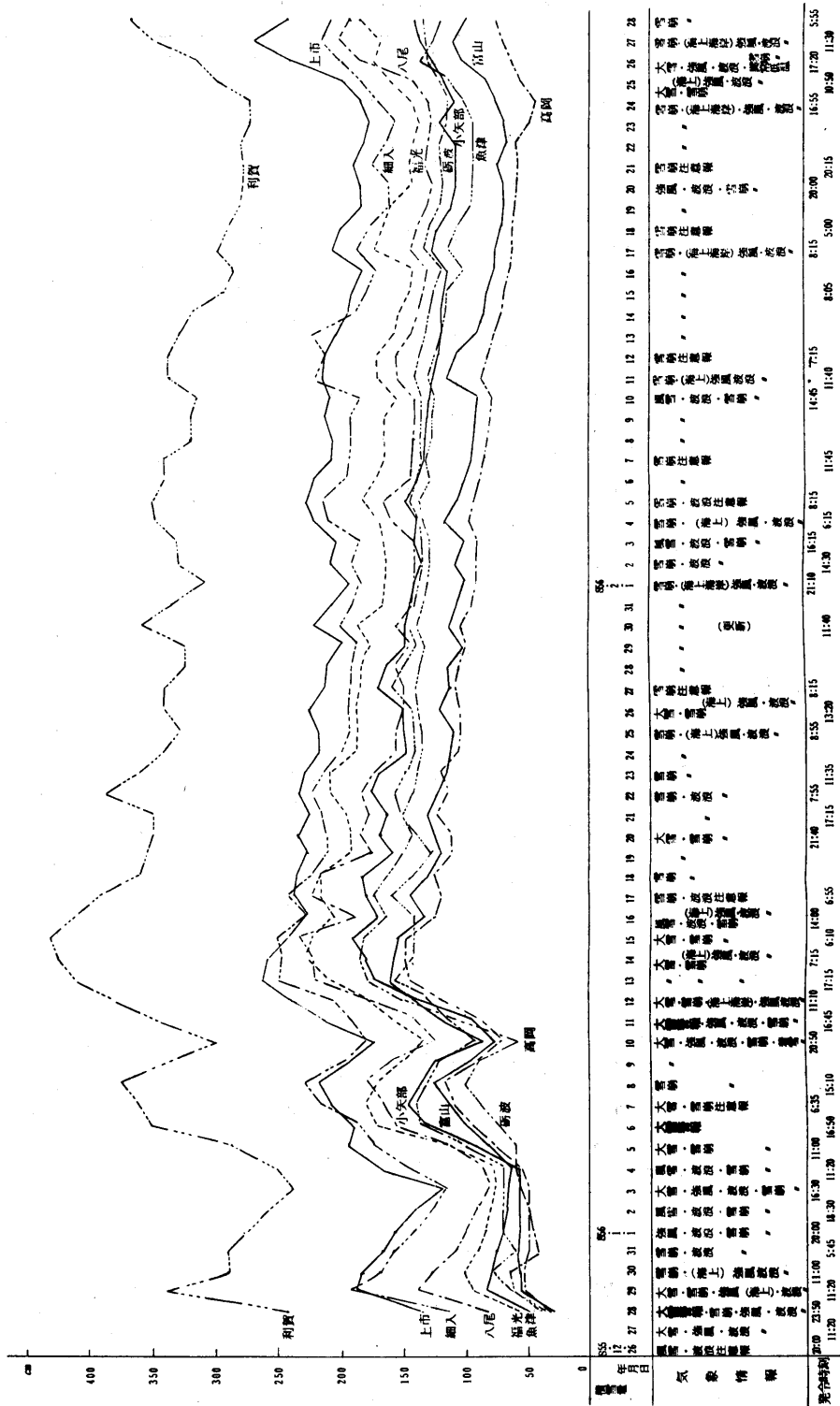


表 2. 2. 7 市町村豪雪対策本部の設置状況

市町村	設置	災 対 本 部 設 置		
		名 称	開 設	解 散
富山市	○	富山市雪害対策本部	56. 1. 7. 9 時	56. 3. 17. 17 時
高岡市	○	高岡市災害対策本部	56. 1. 6. 10	56. 2. 12. 17
新湊市	○	新湊市災害対策本部	56. 1. 6. 11	56. 2. 16. 9
魚津市	○	魚津市雪害対策本部	56. 1. 7. 10	56. 3. 31. 17
氷見市	○	氷見市豪雪災害対策本部	56. 1. 7. 9	56. 2. 28. 17
滑川市	○	滑川市雪害対策本部	56. 1. 8. 10	56. 2. 14. 9
黒部市	○	黒部市豪雪災害対策本部	56. 1. 7.	56. 3. 23.
砺波市	○	砺波市豪雪対策本部	56. 1. 6. 8	56. 2. 28. 17
小矢部市	○	小谷部市雪害対策本部	56. 1. 7. 9	56. 3. 18. 10
大沢野町	○	大沢野町雪害対策本部	56. 1. 7. 9	56. 2. 23. 5
大山町	○	大山町雪害対策本部	(55. 12. 28. 8:30)	56. 2. 28. 12
舟橋村	○	舟橋村雪害対策本部	56. 1. 13. 8	56. 3. 10. 8
上市町	○	上市町豪雪対策本部	56. 1. 7. 15	56. 2. 16. 10
立山町	○	立山町雪害対策本部	56. 1. 7. 14	56. 4. 2. 9
宇奈月町	○	宇奈月町雪害対策本部	56. 1. 9. 11	56. 3. 20. 17
入善町	○	入善町雪害対策本部	56. 1. 7. 15	56. 3. 30. 17
朝日町	○	朝日町雪害対策本部	56. 1. 5. 17	56. 3. 5. 17
八尾町	○	八尾町豪雪対策本部	56. 1. 8. 8:30	56. 3. 12. 17
婦中町	○	婦中町豪雪対策本部	56. 1. 6. 8:30	56. 2. 14. 8:30
山田村	○	山田村雪害対策本部	56. 1. 6. 18	56. 3. 31. 17
細入村	○	細入村雪害対策本部	56. 1. 13. 9	56. 3. 31. 17
小杉町	○	小杉町雪害対策本部	56. 1. 6. 18	56. 2. 28. 17
大門町	○	大門町雪害対策本部	56. 1. 6. 8	56. 2. 17. 9
下村	○	下村雪害対策本部	56. 1. 6. 18	56. 2. 16. 10
大島町	○	大島町雪害対策本部	56. 1. 5. 10	56. 2. 24. 17
城端町	○	城端町雪害対策本部	56. 1. 6. 14	56. 3. 31. 10
平村	○	平村豪雪対策本部	56. 1. 6. 13	56. 4. 30
上平村	○	上平村雪害対策本部	56. 1. 13. 14	56. 4. 30. 17
利賀村	○	利賀村雪害対策本部	56. 1. 6. 19	56. 4. 10. 10
庄川町	○	庄川町豪雪対策本部	56. 1. 6. 8	56. 3. 31. 17
井波町	○	井波町災害対策本部	56. 1. 5. 19	56. 3. 2. 17
井口村	○	井口村雪害対策本部	56. 1. 7. 15	56. 3. 31. 10
福野町	○	福野村雪害対策本部	56. 1. 5. 10	56. 3. 20. 10
福光町	○	福光町豪雪災害対策本部	56. 1. 6. 10	56. 3. 31. 11
福岡町	○	福岡町雪害対策本部	56. 1. 6. 9	56. 2. 24. 17
合 計		35		

(富山県消防防災課調)

表 2. 2. 8 死者月日, 原因等一覧

月 日	性 別	年 令	場 所	原 因
1. 6	男	52	砺波市	屋根雪除雪中転落
1. 7	〃	49	八尾町	家周辺除雪過労
1. 10	〃	73	黒部市	家周辺除雪中作業台から転落
1. 11	女	67	八尾町	屋根雪除雪過労
1. 15	男	47	高岡市	〃
1. 15	〃	50	福野町	〃
1. 16	〃	67	小杉町	〃
1. 18	〃	51	高岡市	〃
1. 18	女	39	上市町	流雪溝に転落
1. 19	男	56	八尾町	用水に転落
1. 19	〃	67	高岡市	家周辺除雪過労
1. 19	女	51	〃	〃
1. 20	〃	5	福光町	用水に転落
1. 22	男	70	高岡市	家周辺除雪過労
1. 24	〃	59	富山市	〃
1. 24	女	59	〃	用水に転落
1. 26	〃	77	砺波市	落下屋根雪の下敷
1. 28	男	79	富山市	用水に転落
2. 10	〃	86	〃	〃
2. 11	〃	43	高岡市	落下屋根雪の下敷
2. 17	女	37	上市町	〃
2. 23	男	54	福光町	家周辺の除雪中積雪の下敷
計	22	内訳 男15, 女7		

(注) 家周辺の除雪は、家の周辺の除雪および自宅前の道路の除雪を指す。

(富山県消防防災課調)

表 2. 2. 9 建築物の被害一覧（金額単位千円）

区分	種 別	単位	数	直接被害額	間接被害額	摘 要
半壊	全 壊	戸	15	84,500		罹災 戸 数 164 " 世帯数 163 " 人 員 648 〔罹災各数は全壊、半壊及び床上浸水の戸数等を示す。〕
	半 壊	"	44	78,910		
	部 分 壊	"	1,152	259,136		
	床 上 浸 水	"	105	10,235		
	床 下 浸 水	"	1,461	37,049		
非住家	全 壊	棟	150	465,025		政府出先機関
	そ の 他	"	1,165	313,346		
公共用建物	県		128	87,354	135,366	
	市 町 村			258,533	154,996	
	そ の 他			12,640		
計				1,606,728	290,362	

(56. 3. 20 まとめ) 富山県消防防災課の資料による。

表 2. 2. 10 学校教育・社会教育の施設の被害

区分	種 別	単位	数	直接被害額	除 雪 費
公立学校	幼 稚 園	校	15	3,136	6,361
	小 学 校	"	192	109,804	88,362
	中 学 校	"	68	88,262	31,199
	高 校	"	43	73,280	57,524
	特 殊 学 校	"	8	2,601	6,240
	小 計	"	326	277,083	189,686
私立学校	幼 稚 園	校	21	6,500	5,300
	高 校	"	1	150	6,547
	小 計	"	22	6,650	11,847
計			488	324,985	267,728
体育施設	県	箇所	7	7,150	4,958
	市 町 村	"	5	4,030	17,259
	小 計	"	12	11,180	22,217
社会教育施設	県	館	5	2,702	5,432
	市 町 村	"	101	7,372	35,006
	小 計	"	106	10,074	40,438
文 化 財	館		22	19,998	3,540

(富山県消防防災課の資料による)

表 2. 2. 11 北陸自動車道の通行状況

北 陸 自 動 車 道

日本道路公団金沢管理局調

上　　り　　線			上　　り　　線				
日	時	場　　所	区　分	日	時	場　　所	区　分
12月21日	13.35	敦　賀-武　生	通行止	12月29日	16.34	加　賀-丸　岡	通行止
”	16.00	木の本-敦　賀		”	”	17.15	丸　岡-敦　賀
30日	5.40	木の本-武　生	解　除	”	19.30	今　庄-敦　賀	解　除
”	10.30	”	通行止	”	30日 18.50	加　賀-今　庄	”
”	18.50	”	解　除	”	31日　8.30	丸　岡-敦　賀	通行止
31日	7.40	敦　賀-福　井	通行止	1月　1日　7.00	”	”	解　除
”	8.30	福　井-丸　岡	”	”　13日 20.10	砺　波-小矢部	”	通行止
	15.00	長　浜-敦　賀	”	”　22.00	”	”	解　除
1月　1日　7.00		武　生-丸　岡	解　除	”　23.45	武　生-敦　賀	”	通行止
”	9.00	長　浜-武　生	”	”　23.55	福　井-武　生	”	”
”　14日　3.10		長　浜-敦　賀	通行止	14日　4.00	敦　賀-木の本	”	”
”	17.30	”	解　除	”　15.25	福　井-木の本	”	解　除
”　15日 11.45		長　浜-敦　賀	通行止				
”	14.30	長　浜-木の本	解　除				
”	17.00	木の本-敦　賀	”				
”　20日 13.00		福　井-丸　岡	通行止				
	6.51	”	解　除				

(富山県消防防災課の資料による)

表 2. 2. 12 富山工事事務所除雪機械配置状況

路 線	延 長 km	直 轄 保 有 除 雪 機 械	
8号	93.8	除雪トラック	10台
41号	34.2	除雪グレーダ	12台
156号	28.6	ロータリ除雪車	6台
160号	30.6	凍結防止剤	6台
計	187.2	散 布 車	
		小型除雪機	5台
		(ハンドタイプ)	
		計	39台

(建設省 北陸地方建設局調)

表 2. 2. 13 国道の通行状況

国 道

(建設省 富山工事事務所調)

国 道 8 号 線			国 道 4 1 号 線		
日 時	場 所	理 由	日 時	場 所	理 由
1月5日 10. 20~ 1月6日 3. 00	小矢部市安楽寺 地内	事 故	12月28日 10. 30~13. 00	数河峠	な だ れ
1月6日 20. 15 1月7日 5. 00	小矢部市安楽寺 地内	除雪作業	12月28日 12月30日 19. 00	猪 谷-神 岡	な だ れ
1月13日 4. 00~5. 15	敦賀地内	な だ れ	1月 3日 20. 30 1月 6日 14. 30	猪 谷-神 岡	な だ れ
1月14日 8. 30~17. 00	敦 賀-福 井	な だ れ	1月 7日 10. 35 19. 30	猪 谷-神 岡	な だ れ
1月16日 23. 00 1月17日 3. 00	敦 賀-福 井	な だ れ	1月11日 2. 10 13. 00	猪 谷-神 岡	な だ れ
			1月14日 11. 00 18. 00	猪 谷-神 岡	な だ れ

表 2. 2. 14 県道の通行状況

県 道

(富山県 道路課調)

日 時	路 線 名	区 間	理 由
1月 6日~3月31日	魚津, 鹿熊, 上市線	角川ダム-白岩トンネル	な だ れ
12月28日~3月22日	富山, 立山公園線	芦峯寺 - 藤 橋	な だ れ
12月28日~3月15日	剣 岳 公 園 線	蓬 沢 - 伊 折	な だ れ
1月23日~3月17日	庄 川 細 入 線	笹津橋 - 神通第3ダム	な だ れ
1月 5日~2月 8日	国道 1 5 6 号線	小 牧 - 祖 山	な だ れ
1月 5日~2月 9日	庄 川 河 合 線	湯 吞 - 草 嶺	な だ れ
1月13日~3月12日	水見田鶴浜線 女良, 磯部線 鹿百, 水見線 水見惣領志雄線 高岡羽咋線 五十里水見線	全 線	な だ れ

注 国道 156 号線は富山県管理のためここに含めた。

表 2. 2. 15 孤立集落の推移 (S56.1.5 ~ 2.5) (富山県消防防災課の資料による)

市町村	集落	戸数	人口	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	孤立集落数
黒部市	穂沢	8	39																																2
	嘉例沢	9	29																																2
大山市	小佐波 (小奥)	7	30																																3
	大沢	1	4																																4
上市市	上浅生	4	10																																14
	伊折	11	30																																8
	松谷	4	15																																14
	中村	14	35																																6
	蓬沢	32	48																																2
	八尾	大長谷	38	132																															5
	室敷 (足谷)	27 (3)	115 (9)																																20
野根	3	7																																5	
八尾町	大玉生	5	15																																4
	尾畑	2	5																																3
	細中	宮ヶ谷	2	10																															5
山田町	鍋谷	9	37																																26
	若土	7	27																																26
	谷	7	35																																10
	今山田	11	60																																4
細入	割山	2	3																																4
小杉町	西谷	6	18																																3
平	梨谷	6	9																																4
上平町	漆谷	5	24																																3
	小瀬	2	8																																12
利賀町	大勘場	7	22																																26
	高沼	3	9																																31
	草嶺	2	12																																26
	北原	6	23																																14
	下原	4	20																																14
	大牧	1	1																																14
	柱尾	3	7																																14
	北島	3	12																																14
	栗当	2	4																																14
	千栗	7	24																																5
	庄川町	藤尾	5 (1)	15 (1)																															
横住		10	34																																20
福光町	野地	13	78																																3
	樋瀬戸	15	74																																5
	七曲	4	17																																5
	小坂瀬見	16	64																																5
福岡町	沢川	62	260																																5
	五位	54	230																																4
	小野	50	230																																4
	花尾	24	85																																4
市町村数		14		8	12	12	10	5	4	5	8	9	9	7	7	6	6	5	5	5	4	4	4	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	1	
集落数		44		28	37	36	31	18	13	13	19	20	21	15	16	16	16	11	11	10	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	2	
世帯数		513		375	452	450	441	156	65	68	186	120	116	68	69	61	61	45	45	45	43	53	53	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	11	
世帯人員		1804		1302	1650	1645	1517	548	231	228	502	484	444	251	252	217	217	169	169	169	161	195	195	186	186	186	186	186	186	186	186	186	186	35	

表2.2.16 国鉄北陸線・高山線の運行状況

[illegible]

表 2. 2. 17 公益事業の被害

種 別	単位	数	直接被害額	除 雪 費	間接被害額	摘 要
電 力			871,100	177,790	51,400	鉄塔の損壊, 配電施設の損 壊等
私鉄及びバス			69,700	149,820	29,740	
電 々 公 社			155,000	35,000		
ガ ス			4,197			
計			1,099,997	362,610	81,140	

(富山県消防防災課の資料による)

表 2. 2. 18 農林水産関係被害

区分	種 別	単位	数	直接被害額	除 雪 額	間接被害額	摘 要
農 地 林 務 関 係	農 地			63,000			
	農業用施設			276,914	1,000		水路、農道水門及び橋梁
	保安柵等			161,100			
	林産施設		17	15,870	1,300	1,500	
	倒伏木	ha	7,962	2,030,920			
	折損木	m³	81,540	1,056,758			
	林 道			68,500			
	治山施設			1,000			
	林野崩壊			225,000			
	計			3,899,062	2,300	1,500	
農 業 水 産 関 係	水 稻	棟	1,065	48,982	53,250	138,758	直接被害は、稲作育苗施設 間接被害は、稲作融雪遅延
	園芸施設	〃	618	176,010	28,260	5,160	直接被害は、ビニールハウスの損傷
	麦			605,431			雪ぐされ等による被害
	野 菜				36,000		出荷労賃（雪掘り）
	果 樹			1,066,366	39,000	52,870	直接被害は、枝折れ280ha 棚全壊120ha
	球 根	ha	52	52,000			チューリップ
	花 木 等	〃	273	66,400			
	そ の 他	〃	80	8,560			桑、茶、い草の枝折れ、雪ぐされによる被害
	家 畜	羽頭	1,400 40	856		61,061	間接被害は、産卵低下及び乳量減退
	疾病傷害					13,809	
	飼料作物			50,329	570		雪ぐされによる被害
	畜 舍	m³	(134棟) 11,954	106,326	102,149	3,930	
	飼料タンク	基	21	4,100			
	淡水魚			4,500	1,500		養殖イワナ及び黒ゴイの死滅
	水産加工施設			3,000			作業所倒壊90 m³
	計			2,192,860	260,729	275,588	

(富山県消防防災課の資料による)

表 2. 2. 19 商工業関係の被害

種 別		単 位	数	直接被害額	除 雪 費	間接被害額	摘 要
大 企 業	製 造 業 建 設 業			1,970,000	920,000	7,140,000	直接被害 建物・設備の損壊, 製品・原材料の損 耗等 間接被害 ○ 原材料の入荷難, 従業員の欠勤等による生産減 ○ 出荷遅延による評価価値減 ○ 滞貨による金利増
	卸小売・運輸 サービス業				140,000	2,070,000	
中 小 企 業	製 造 業 建 設 業			3,620,000	2,880,000	30,930,000	
	卸小売・運輸 サービス業			860,000	2,840,000	38,800,000	
計				6,450,000	6,780,000	78,940,000	

(富山県消防防災課の資料による)

表 2. 2. 20 警察の独居老人に対する奉仕活動実施状況（1月6日～1月21日）

区 分 署 別	独居老人宅 訪問延数	警察官によ る屋根雪降 し奉仕	通路等の除 排雪奉仕	市町村、自 治会、民生 委員、近隣 者等に対す る除排雪の 要請	近隣者等と の協力によ る除排雪	そ の 他
入 善	1 0 0	1 1	7	1 3	1 1	
黒 部	1 0 8	1 0	1 3	2 9	2 5	
魚 津	3 2 4	6	1 6	5 4	3	
滑 川	1 0 3		1	1 0	3	
上 市	2 3 5	5	3	2 8	1 3	1
富 山 北	1 1 3	4	1 8	4 8	2 3	2
富 山	9 2 8	8	1 7	2 6	2	
大 沢 野	2 4 0		1 8	5	4	
八 尾	2 0 8		1 1 8	1 1	9 9	
小 杉	2 2 0	2	6	3 2	1 0	
新 湊	2 8 0	2	2	1 4 8	1	
高 岡	1,2 2 7	6	1 4	4 3	5	
氷 見	2 1 1	2	2	1 6	8	
井 波	9 8			5		
砺 波	1 0 6	4	1 1	5 9	2 0	
福 光	3 8 6	5	8	1 7 8	1	
小 矢 部	1 2 9	1 0	8	7 0	1 5	
計	5,0 1 6	7 5	2 6 2	7 7 5	2 4 3	

（富山県消防防災課の資料による）

表 2. 2. 21 消防職・団員の活動状況

項目 区分	消 防 施 設 等 の 除 排 雪						救 助 出 救	年末・年 始等特別 警戒出動	計
	消防施設	消防水利	公共施設	独居老人 等家庭	一般道路	用水溢水 等による 排除作業	そ の 他		
消 防 職 員	3,906	4,674	93	31	610	1,499	375	2,282	13,618
消 防 団 員	13,220	13,962	1,059	591	3,073	2,558	3,812	20,144	58,643
計	17,126	18,636	1,152	622	3,683	4,057	4,187	22,426	72,261

(富山県消防防災課の資料による)

表 2. 2. 22 避難命令の発令状況

市町村名	発令日時	避難命令発令の状況等	備 考
魚 津 市	1月20日15時	魚津市山女字背戸山地内において雪崩のおそれがあるため、市立あけび保育園（職員6人、園児48人）及び民家1軒（7人）に対して避難を勧告、保育園は1月25日まで休園し、1月26日から魚津青少年の家に移転して保育開始、民家は親類と市営住宅に避難した。	
大 沢 野 町	1月17日13時	大沢野町小糸地内に雪崩の危険箇所があり、3世帯（16人）に避難指示を出し、地元自治公民館等に避難した。	雪崩防止に地元消防団等で処理し（くずれかけている雪をある程度除く）1月20日17時に復旧。
上 市 町	1月13日11時	食料の不足（3日分）と、雪積荷重により住宅が危険になった伊折地区（7世帯14人）に避難指示を出し、県警察の山岳警備隊、民間山岳協力隊の応援（5名）を求めて、町内の親せき宅に避難した。	
細 入 村	1月 6日	割山部落2世帯3人が孤立し、さらに積雪が予想されたので、親族と同居するよう勧告し、1月6日に1世帯、1月9日に1世帯がそれぞれ退出した。	
上 平 村	1月12日12時	表層雪崩危険世帯（来栖3世帯19人、漆谷1世帯5人、細島3世帯11人、小島1世帯3人に雪崩警戒勧告をする。	1月22日11時に警戒勧告を解いた。
庄 川 町	1月 6日17時	庄地内で雪崩（土砂まじりの雪約300㎡）があり、引き続き雪崩の危険世帯（2世帯8人）に避難指示を出し、1世帯は地区の公民館、1世帯は親類宅へ避難した。	

（富山県消防防災課の資料による）

表 2. 2. 23 野菜の入荷状況

	1月 7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日
入荷量 (t)	164	213	212	210		266	211	236		252	193		258	214	242	196	236	262

(富山県消防防災課の資料による)

表 2. 2. 24 生鮮魚介類の入荷状況

	1月 7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日
入荷量 (t)	40	40	51	58		70	64	67		67	74		76	62	59	55	62	81

(富山県消防防災課の資料による)

表 2. 2. 25 学校の臨時休校等

	臨 時 休 業 (1月8～19日)	始業時刻の繰下げ (1月8～24日)	終業時刻の繰上げ (1月8～24日)	計
小 学 校	1 6 4 (28)	5 5 9 (1)	2 7 5 (1)	9 9 8 (30)
中 学 校	4 1	1 2 4	7 2	2 3 7
高 等 学 校	2 2 ⑬	1 2 0	1 1 8 ⑫	2 6 0 ⑮
特 殊 学 校	1 5	0	1 3	2 8
私立学校等	1 0 ③	1 7	3 1	5 8 ③
計	2 5 2 (28) ⑬ ③	8 2 0 (1)	5 0 9 (1) ⑫	1,5 8 1 (30) ⑮ ③

() は、分校数で内数 ○ は、定時制高校数で内数 □ は、専修学校数で内数

(富山県消防防災課の資料による)

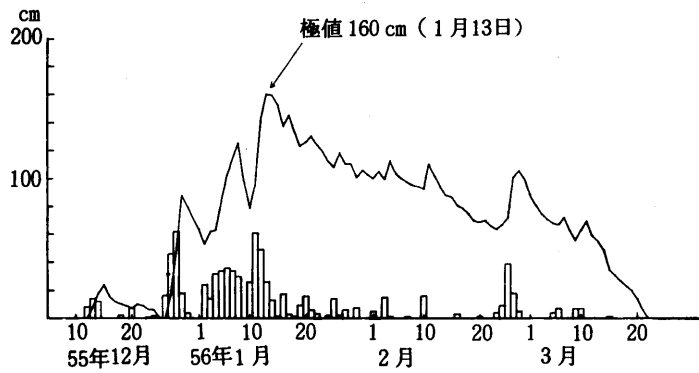


図 2. 2. 1 昭和55年～56年，富山における降雪の深さ・積雪の深さ

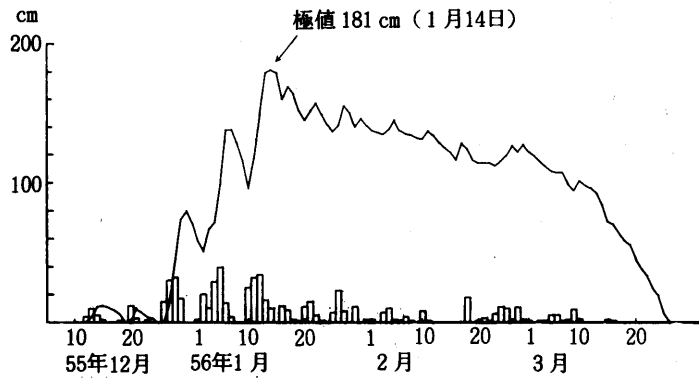


図 2. 2. 2 昭和55年～56年，砺波における降雪の深さ・積雪の深さ

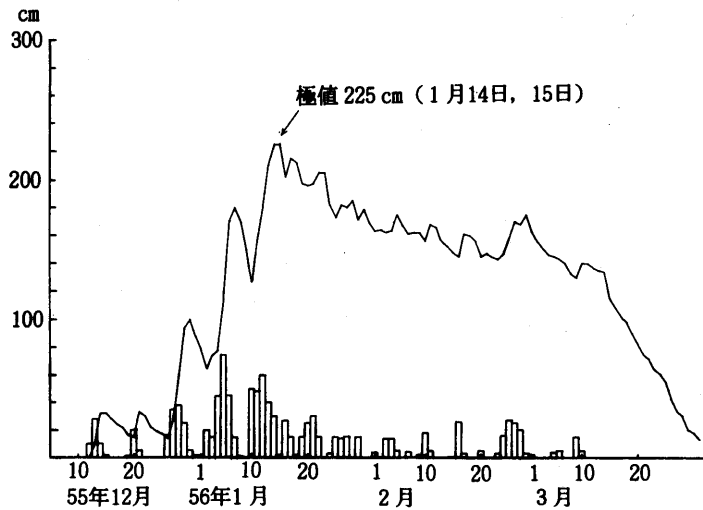
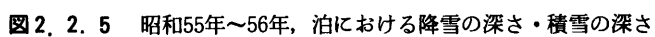
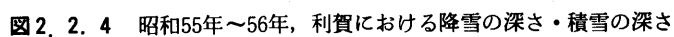


図 2. 2. 3 昭和55年～56年，福光における降雪の深さ・積雪の深さ



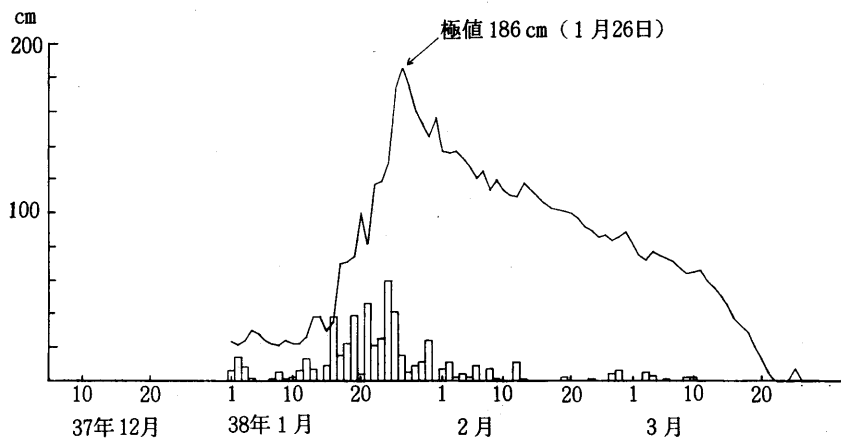


図 2. 2. 6 昭和37年～38年，富山における降雪の深さ・積雪の深さ

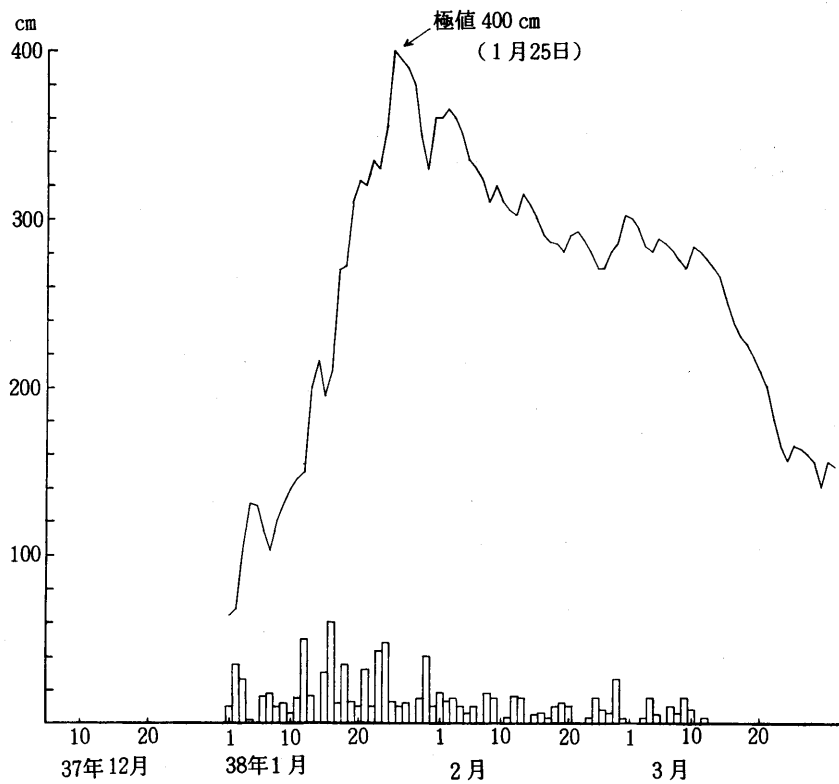
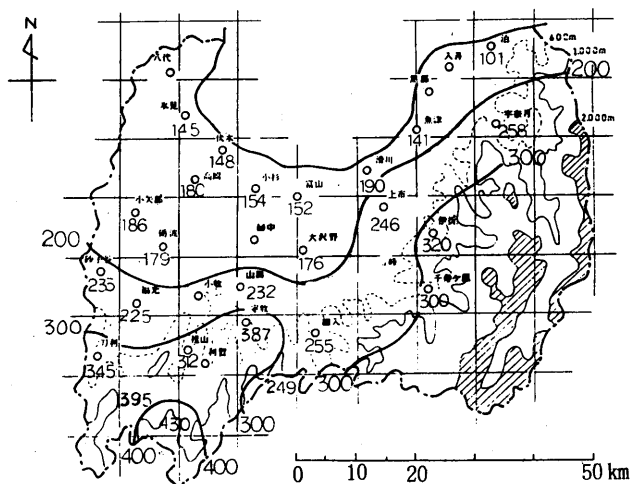


図 2. 2. 7 昭和37年～38年，利賀における降雪の深さ・積雪の深さ



富山県における雪に関する調査（日本気象協会
北陸センター）による

図 2. 2. 8 56.1.15の積雪の深さの分布 (cm)

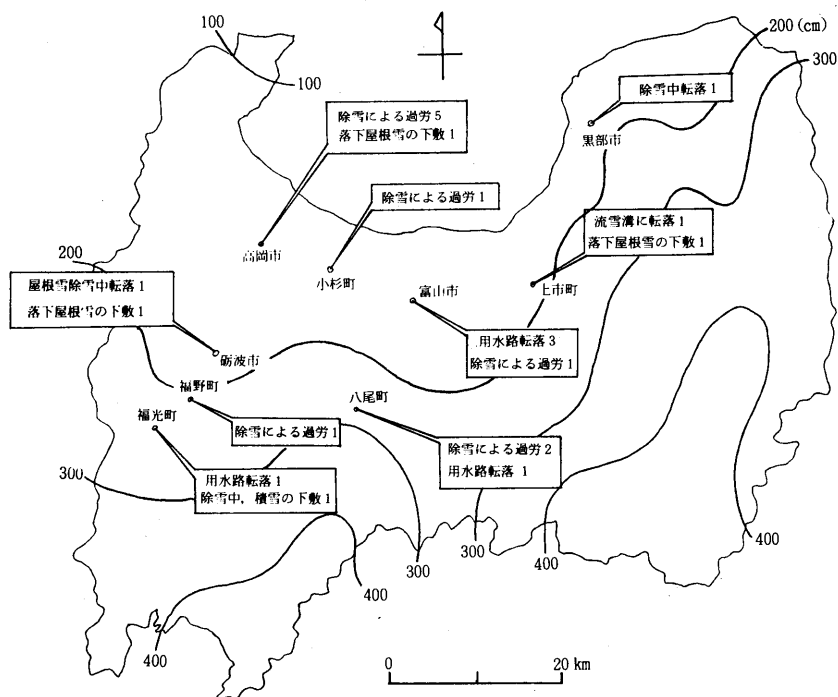


図 2. 2. 9 富山県内の最深積雪（56年1月中単位cm）と市町村別死者数（56.3.31
現在）

2.3 長野県

長野県では北部（北信地区）を中心に豪雪による被害があった。現地調査をする機会を得なかったが、長野県雪害対策本部（県消防防災課）から3月24日現在の資料をいただいたので、それらの資料によって災害の状況を簡単に記す。

12月15日以降2月末まで、県の北部と西部を中心に大雪警報が6回、大雪注意報が33回発令された。この間、降雪のピークがあったのは12月15日前後、12月28日から1月6日、1月11日から1月15日の3回である。

降積雪と被害の出現に対応して、12月28日午前10時戸隠村が雪害対策本部を設置したのを皮切りに、北信地区を中心に1月24日までに24の市町村が雪害対策本部を設置した。県は1月12日に本部を設置、1月8から16日の間に各地方の実状に即して五つの地方本部を設けた。既に12月のうちに雪害対策会議を県、市町村の段階で実施、55年度の雪害予防実施計画を決定している。

1月16日、飯山市の412戸、栄村の108戸に災害救助法が適用された。

1月19日、県議会生活環境委員会は災害救助費として4,130万円を補正することに決めた。内訳は救助費3,780万円、災害弔慰金300万円、事務費50万円である。

1月23日、自衛隊のヘリコプターの出動を要請し、飯山以北、大町以北それに信越線沿いの雪崩危険か所を上空から調査した。山あいになんて点在する集落、谷筋を縫うように走る鉄道は最も雪崩の被害を受けやすい。この後融雪期までずっと雪崩の危険に悩まされる。3月6日、同じく自衛隊のヘリコプターにより、戸隠、鬼無里、大町方面の雪崩危険か所の調査が行われている。

1月29日、飯山線の横倉一越後田中の除雪のため、2月2日まで自衛隊が出動した。

2月6日、県は関係地方部および市町村に対して「なだれ及び隔雪出水等に対する防災態勢の強化について（通知）」を出した。特にこうした災害に対する対策の徹底を図るためである。

長野県における被災の特徴は、農業関係の被害が大きいこと、融雪期の出水と、地すべりの被害が多発したことである。人的被害の原因で主なものは、除雪などの作業中に起こっていることである。転倒、滑落、除雪機械にはさまれるなどして命を失ったり傷ついている。まったく雪さえなければ……という感じである。

自然災害の部類には入らないが、今冬の大雪により北アルプスなどにおける山岳遭難が大変目立った。残念ながら、気象、雪に対する理解のなさ、経験の不足、計画の甘さなどが遭難の原因として指摘されている。

資料を提供していただいた長野県消防防災課に感謝します。

表 2. 3. 1 長野県内の代表地点における降積雪の状況

(単位：cm)

	55. 12. 14 ~ 12. 16			12. 28 ~ 56. 1. 6			1. 11 ~ 1. 15			55. 12 初雪 ~ 56. 2. 14			50 ~ 54 年 同 期	
	累 計 降雪量	最 大 積雪深	日最大 降雪量	累 系	最 大	日最大	累 計	最 大	日最大	累 計	最 大	日最大	平均累計 降雪量	最大累計 降雪量
北 小 谷	67	55	48	356	260	92	202	330	58	1,129	330	92	734	(51) 934
白 馬	82	73	58	326	196	100	79	195	25	924	207	100	502	(52) 1,004
大 町	47	42	42	90	84	37	32	81	12	316	84	42	198	(52) 344
飯 山	63	45	45	150	112	46	184	195	61	1,048	212	61	625	(51) 913
森	79	50	45	383	240	105	423	400	145	2,079	430	145	1,090	(51) 1,429
中 野	37	25	25	75	50	20	51	56	24	345	68	35	167	(52) 203
野 沢 温 泉	48	36	33	217	170	45	282	298	100	1,304	316	100	1,015	(51) 1,344
長 野	68	49	44	66	44	30	31	47	16	297	52	44	127	(52) 165
信 濃 町	57	77	45	151	198	40	55	195	28	735	228	61	595	(51) 754
戸 隠	80	83	60	261	290	90	90	325	32	927	325	90	402	(52) 705

本項の表 2. 3. 1 ~ 2. 3. 5 は長野県雪害対策本部 (県消防防災課) の資料による。

表2.3.2 長野県の被害状況 (56. 3. 24 9時現在)

人的被害		死者	3人	行方不明	-人
被害総額		重傷者	22人	軽傷者	19人
被害総額		2,998,577 千円			
住家等の被害					
・住家	全半	壊	10棟	千円	
	一部	壊	4		
	床上	破損	317		
	床下	浸水	5		
	床下	浸水	78		
計			414		
非住家の全半壊			232		
世帯数及び人員	全半	壊	10世帯	人	
	一部	壊	4		
	床上	破損	317		
	床下	浸水	5		
	床下	浸水	78		
計			414		
農業関係の被害					
農作物等	果樹 (樹体被害)	花	831.8	293,511千円	
	切		0.83		
	仔豚 (家畜)		48頭		
	肥育牛		2頭	829	
	牛乳廃棄		0.44 t		
農業用地	農地		4a		
	ハウ	ス	1,992棟		
	畜舎・農舎等		128棟	293,873	
	果樹		22.73 4a		
	農地関係 (融雪)		133	252,000	
(農地・水路・橋梁)					
計				840,213	
その他の被害					
林業関係の被害		公共土木施設の被害		公共施設の被害	
木材加工施設		鉄道		商工関係建物等被害	
ナメコ育成施設		電信		9件	
椎茸ハウス等		電力			
造林地等					
治山 (融雪)					
林道 (融雪)					
計				21,258	
河川 (融雪)					
道路 (融雪)					

表2.3.3 長野県の市町村別被害状況(昭和56年3月17日17時現在)

市町村名	区 分	人 的 被 害			住 家 の 被 害				非 住 家 の全半壊	備 考
		死 者	重 傷 者	軽 傷 者	全 壊	半 壊	壊 壊	一部破損	床上浸水	床下浸水
大 町 市	市		2	3				88	1	43
池 田 町	町							2		
松 川 村	村									
八 坂 村	村							3		
美 麻 村	村				1			10		
白 馬 村	村		2	2	2			96		
小 谷 村	村				5	1		31		17
雪害対策北安曇地方部 小計	小計		4	5	8	1		230	1	60
須 坂 市	市									
小 布 施 町	町									
高 山 村	村									
雪害対策本部長井地方部 小計	小計									
中 野 市	市					1		4		1
山 ノ 内 町	町			1						
木 島 平 村	村		6	4				9		
野 沢 温 泉 村	村		3	1				3		4
中高地方雪害対策本部 小計	小計		9	6		1		16		5
長 野 市	市		1	1				1		
上 山 田 町	町									

市町村名	区分	人的被害			住家の被害				非住家の全半壊	備考
		死者	重傷者	軽傷者	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	
信州新町				2	1					1
豊野町										
信濃町		1						1	1	3
大岡村							1			5
牟礼村										
三水村										3
戸隠村							16			27
鬼無理村						1	4			4
小川村							4			4
中条村			1				31			25
長野地方雪害対策本部 小計		1	2	3	1	1	57	1	1	73
飯山市		1	4	1			10	1	10	3
豊田村					1	1				1
栄村			3	4			4	2	2	
雪害対策本部下水内地方部 小計		1	7	5	1	1	14	3	12	4
安曇村										1
戸倉町		1								
合 計		3	22	19	10	4	317	5	78	232

表 2. 3. 4 長野鉄道管理局の国鉄線区別運行規制及び運休状況 (長野鉄道管理局)

(55. 12. 16 ~ 56. 2. 14)

線 区 項 目	信 越 線			飯 山 線			大 糸 線					
	特 急		ローカル	特 急	急 行	ローカル	信濃大町～南小谷		ローカル	特 急	急 行	ローカル
	特 急	急 行	ローカル	特 急	急 行	ローカル	特 急	急 行	ローカル	特 急	急 行	ローカル
設 定 総 本 数	488	976	1220		122	2623	122	793	2623			1220
運休本数（部分運休）	89 （8）	148 （53）	110 （53）		56 （1）	899 （415）	8 （8）	91 （39）	132 （48）			240 （33）
運 休 率（％）	18.2	15.2	9.0		46.0	34.3	6.6	11.5	5.0			19.7
運 行 規 制 数	第 1 次 規 制……………3			第 1 次 規 制……………0			第 1 次 規 制……………0					
	第 2 次 規 制……………3			第 2 次 規 制……………3			第 2 次 規 制……………0					
	第 3 次 規 制……………4			第 3 次 規 制……………4			第 3 次 規 制……………0					
	第 4 次 規 制……………1			第 4 次 規 制……………0			第 4 次 規 制……………0					
	第 5 次 規 制……………0			第 5 次 規 制……………2			第55 次 規 制……………2					
ラ ッ セ ル 運 転 本 数 （ 長 鉄 局 分 ）	159			(75)			167			(143)		
							143			(73)		

表 2. 3. 5 北信地区の地すべり・雪崩発生状況一覧 (56. 3. 24 現在)

災害名	発生日	場所	概 要	対 策
地すべり	56. 3. 3	中野市 草間地籍	3 / 4 市道に面した法面高さ40m幅6mにわたって地すべりが発生 (治山工事済箇所)。現場より約30m離れた位置に竜徳寺があるが影響はない模様。3 / 3 20 : 30より市道通行止。 3 / 8 少し動いているが、下の人家3軒 (50m下) には影響はない模様。傾斜度10° ~ 42° 土砂500㎡。 3 / 19 落ちついている模様。 3 / 24 土砂増え、多少土砂が落ちていいる。市道は通行止。	3 / 24 地元住民、消防団で警戒にあたっている。 現場は地すべり防止区域指定のため、林務サイドで対応を講じている。当面県単治山事業で対応
"	56. 3. 15	中野市 大熊地籍	3 / 16 人家の庭まで土砂が崩れてきたため、避難を始めた。 3 / 19 地すべりで崩落したところは落ちついたが崩落した上部100mにキ裂が入っており、危険性がある。現場は又その上部に農道があり、注意をしている。現場は30度を超える急傾斜の畑地であり、市の応急工事ですばったおさまったように見えしたが3 / 18になって再び動き出し、3世帯13人が親類に避難した。 3 / 20 18 : 00に5世帯22人に避難命令。18人が大熊公会堂、4人親類へ避難した。 3 / 21 セットされていた警報器が2度鳴り、地すべりが続いている。避難命令継続中5世帯22人。	3 / 24 地元住民、消防団で警戒にあたっている。警報器2個、投光器2個設置。 市で水抜き工事実施中。 当面県単急傾斜地崩落対策事業で防護へきを造る予定。(林務サイド)
"	56. 3. 18	中野市 安源寺地籍	3 / 19 Mさん方の裏のリンゴ畑で50mにわたって地すべりが発生し、無数のキ裂が入っており、15cm程の段差が発生している。住民の避難は行っていない。	3 / 24 地元住民、市で監視している。
"	56. 3. 17	小川村 瀬戸川下北尾	3 / 18 17日午後7時50分頃幅80 ~ 100 m 160㎡にわたって40 ~ 50m程の地すべりを起し、民家一戸が流され全壊した。17日午後Tさん方の近くの村道が隆起し始めたため避難の準備をしていた (家財道具等の運	3 / 18 地元住民、消防団で警戒にあたっている。 3 / 19 水抜き工事実施 現場は地すべり防止区域指定のため

災害名	発生日	場所	概 要	対 策
地すべり	56. 3. 17	小川村 瀬戸川下北尾	び出し) 又家族5人も近くの親類へ避難していたが無事だった。土砂は下の沢のところまで止まり、沢をせき止めているため、下流の15～16戸の人家への鉄砲水の恐れがあるが、今のところ多少浸水はしているものの危険はない模様。 3/19 土砂の崩落は一応止まり小康状態となった。しかし土砂でせき止められた北尾沢の水量が増えている。	土木部サイドで対応を講じている。 3/23 被害額 土木関係 633,000 千円 耕地関係 240,000 873,000
"	56. 3. 15	山ノ内町 柄沢 地 籍	3/16 高さ80m幅45mにわたり土砂が崩落した。土砂は川へ崩落し流れた。	3/16 地元住民等で監視をしている。 現場は砂防指定のため林務サイドで対応を講じている。
雪 崩	56. 3. 14	小谷村 外 沢	3/14 幅30m、長さ400mにわたり雪崩が発生し、民家まで70mのところまで止まっている。 3/16 15日、危険であった南側斜面の雪も落ちて、人家に影響はなくなり危険性はなくなった。	3/16 地元消防団により監視をしている。
地すべり	56. 3. 23	小谷村 外 沢	3/23 3/14～15に雪崩の発生した場所で地すべりが発生した。約200㎡の土砂が民家まで40m近くまですべり落ちた。影響する民家は2世帯4人だが避難はしていない。	3/23 雪を掘りわりし、民家側に落ちないように国道方面へ落ちるようにしている。 地元住民で監視をしている。
"	56. 3. 22	長野市 七 二 会 丙	3/23 県道小川ー長野線において幅60m、長さ150mにわたり地すべりが発生し、現場を通りかかった車を谷側へ押し流した。運転車は土砂に乗り上げた直後に逃げ出したため無事、近くに民家はあるが危険はない模様。 県道小川ー長野線は通行止。復旧のメドはたっていない。	3/23 水抜き工事実施中
"	56. 3. 22	長野市 篠ノ井山布施	3/23 Mさん方の西側斜面で幅25m、長さ約30mの地すべりが発生し、町田さん家族2人が近くの公民館へ避難した。	3/23 排水作業実施 地元消防団が警戒している。

2.4 岐阜県

2.4.1 概要

昭和55年12月に入って、急に冬型気圧配置の続く日々が多くなり、13日には岐阜市で初雪を観測するなど、早くも今冬の気象の異常をうかがわせる兆候があらわれたが、26日未明にいたり襲来した寒気団によって飛騨地方中部、西部、美濃地方西部を中心に県下山間部一帯は、随所で2～3mに達する豪雪に見舞われた。特に東西気圧傾度が強まった28日昼頃から30日朝方にかけては激しい降雪となり、26日22時20分に大雪注意報、27日11時10分に大雪・雪崩注意報が、更に28日16時10分には大雪・雪崩注意報が大雪警報に切りかえられるなど相次いで注意報・警報が発令され、29日に高山で積雪の深さ110cm、神岡で175cm、30日白川では355cmを観測するなど、12月の積雪の深さの観測としてはこれまでの最大値を記録するに至った。（高山での観測値110cmは、明治32年高山測候所の開設以来、12月の積雪としては最深積雪である）。大雪警報は30日6時5分に大雪・雪崩注意報となったが、この間大雪警報の発令時間は実に37時間55分に及んでいる。

年が明けて昭和56年1月3日、小康状態に保っていた降雪は再び激しくなった。3日夜から4日朝、5日夜から6日朝、7日朝から同日夜、11日朝から同日夜にかけて、くり返し東西の気圧傾度と上空の寒気が強まったため、断続的に強い降雪があった。

この雪は飛騨地方、美濃山間部を中心に県下全域に降り、昨年末の根雪の上に長期の降雪であったため積雪の深さは更に大きくなり、1月8日 高山128cm、八幡128cm、1月13日 長滝（白鳥）255cm、1月14日には白川440cm、樽見143cmを観測した。この値は気象台観測開始以来、最深積雪の記録である。1月3日から14日まで大雪警報は5回発令され延時間は51時間25分に及んでいる。

1月15日以降も冬型気圧配置が続いたが、上空への寒気の流入が弱く、飛騨山間部では降雪が続いたが、全般的には小康状態で推移した。

2月に入っても5日までは冬型気圧配置が続いて県下全域に降雪をみたが、6日以降は移動性高気圧と低気圧が日本南方を次々と通り美濃地方は雨、飛騨地方は弱い雪になった。また14～16日にかけては、日本南方の移動性高気圧の影響で気温が平年より4～6℃位上昇した。

23～24日にかけて低気圧が通過したため美濃地方では雨、飛騨地方の山間部では雪となった。その後2月末まで冬型気圧配置が強まり、26日に至り近年まれな寒波で県下全域に降雪があり、岐阜市では最低気温－6.5℃を記録した。

昭和55年～56年冬季にかけての岐阜県下の豪雪の特徴をまとめるとおおむね次のとおりである。

1. 降雪状況は3週間の期間に（昭和55年12月末より昭和56年1月20日頃にかけて）3回の降雪の山があり、近年にない延べ7回の大雪警報の発令となった。
2. 三八豪雪と呼ばれる昭和38年の豪雪とくらべると今年は5日ほど早く降りはじめ20日ほど早

く降りやんでいる。

3. 1月3日から始まった豪雪は、高山ほかの地で観測開始以来の最深積雪を記録した。

4. 今冬の豪雪は県下全般にわたり、甚大な被害をもたらした。交通途絶、村落の孤立、建物倒壊、雪崩による死者、商工、農林、水産関係等の経済的活動の阻害、教育、文化、医療等の民生上の活動の阻害など直接、間接の被害は、社会生活上の全分野におよんだ。

昭和55年～56年冬季の岐阜県下の四地点（高鷺村姪ヶ野、高山市、関ヶ原町、神岡町）の降雪・積雪の深さの変化状況を表2.4.1～4および図2.4.1～4に示す。

また表2.4.5および図2.4.5に注意報、警報、情報の発令、発表の状況を、図2.4.6に昭和56年4月1日現在の最深積雪の分布図を示す。

2.4.2 豪雪対策本部の設置

飛騨地方西部および奥美濃地方の山間部の市町村は、年末の昭和56年12月28日～29日にはいち早く豪雪対策本部を設置し活動を開始したが、年があけた昭和56年1月7日、県が、またそれに呼応して県西部の滋賀・福井両県境に接する市町村も豪雪対策本部を設置した。豪雪対策本部を設置した市町村の数は46にのぼった。

降雪状態が終息し、雪害が鎮静化するにつれ、豪雪対策本部は閉鎖されたが、県が4月30日、各市町村も1月末頃から5月初旬にかけて順次閉鎖された。

図2.4.7に各市町村の豪雪対策本部の設置期間を示す。

2.4.3 政府の豪雪視察

昭和56年1月13日から14日にかけて、国土庁原健三郎長官を長とする政府豪雪対策本部視察団の一行15名が来岐、主として飛騨地区の豪雪状況を視察した。

また1月19日から20日にかけては、農林水産政務次官志賀節氏を長とする農林水産省雪害対策連絡会議調査団の一行5名が来岐、飛騨地区視察、1月26日から27日にかけては、通産省名古屋通産局総務部長杉山岩夫氏を長とする名古屋通産産業局雪害状況視察団一行6名が飛騨・郡上の両地区を視察した。

また1月27日、鈴木内閣総理大臣が来岐、県庁において、雪害状況の説明、陳情を受けた。

2.4.4 人的被害

56年豪雪による人的被害は県下で死者9名、重傷86名、軽傷77名の多数に達した。

死者の死亡原因はなだれによるものが4名、屋根雪おろし等の除雪作業によるものが4名で死者9名中8名がこれによって死亡している。また死亡月日では1月14日までの激しい降雪期間中に9名中6名が死亡している。

死者の月日・原因等の一覧を表2.4.6および図2.4.8に示す。

(追 記)

死亡原因がなだれによるものは、①12月29日午前2時宮川村小谷でなだれが発生、2人が生埋めとなり死亡、②同日午前9時神岡町東茂生地区内の国道41号線上でなだれが発生しトラックを直撃、トラックはそのままダムに転落、運転士が死亡、また2月15日午前9時30分神岡町添山地区内の同じ国道41号線上でなだれが発生し、トラックが高原川へ転落し運転士が死亡したものである。

2.4.5 自衛隊による救助活動

昭和56年1月に入るや、県下飛騨山間部、西濃山間部は激しい降雪となり、孤立村落が相次いだ。孤立した村落の状況を図2.4.9に示す。

昭和56年1月8日、飛騨山間部の宮川村坂下地区の10集落173戸580名が孤立したため自衛隊大型ヘリコプター1機の派遣を要請、同村阪上地区から坂下地区へ除雪車用燃料3klならびに診療所向け医薬品のピストン輸送を行なったが、これを皮切りに5回にわたり自衛隊の出動を要請し、派遣人員延べ2,253人、重機等延べ63台、ヘリコプター延べ4機で救助活動にあたった。

1月14日、西濃・徳山村が全村孤立、第4次の出動要請を行なったが悪天候のため14日は救援活動中止、15日救援物資輸送のため大型ヘリコプター2機を派遣、燃料1.8kl、生鮮食料品6t、医薬品等を揖斐川町～徳山村間をピストン輸送を行なった。

自衛隊による救助活動の状況を表2.4.7および図2.4.10に示す。

2.4.6 国鉄の運行状況

(1) 高山本線

高山本線は、高山駅以北、富山県境の猪谷駅に至る52.8kmの区間で、12月28日～31日がほぼ全面運休、年が明けて1月3日以降17日迄、飛騨細江～猪谷間33.2km間が全面運休に近い状態であった。

(2) 越美南線

越美南線は、美濃市～北濃に至る54.5km区間で1月3日、一時的に全面運休となったが、主として運休期間が続くのは郡上八幡以遠で、北濃～大島間(8km)が著しく12月28日～1月7日までは1月2日を除いてほぼ全面運休に近い状態、とくに北濃～二日町間2.6kmは1月20日迄運休が続いている。

運休の状況を図2.4.11に示す。

(3) 神岡線

猪谷～神岡間20.3kmの神岡線は、一部に間引き運転による運休列車が出たものの、運行は確保された。

2.4.7 道路交通の確保

(1) 高速道路

岐阜県下を通過する高速道路は、名神高速自動車道が 29.9 km 中央高速自動車道が 62.2 km あるが、この間に名神では 2 つのインターチェンジ、中央道では 5 つのインターチェンジがある。

今冬、この高速道路でとられた交通規制は、速度制限、チェーン装着、および閉鎖であって、速度制限は最高走行速度を 50 km/h に押さえ、チェーン装着はインターチェンジのゲート入口付近でタイヤチェーンを着装していない車両は乗り入れを禁止とし、また閉鎖は、事故・降雪による視界不良等のためゲートを閉鎖するなどの措置が講じられた。

これらの交通規制は各インターチェンジ間を一区間として実施されるが 50 km/h 規制は今冬、岐阜県下の名神道では延べ約 400 時間、中央道で約 300 時間、とくに名神道の関ヶ原 IC から滋賀県彦根 IC にかけては約 800 時間、チェーン規制は名神道で約 250 時間、中央道で約 100 時間、閉鎖は名神道で約 40 時間、中央道は部分的に 2～15 時間が実施されている。また閉鎖が行われた時期は降雪が激しかった 12 月中旬～1 月中旬にかけて集中し、事故による閉鎖が大半である。

(2) 国道・主要地方道および一般県道

岐阜県下の国道は建設省管理の 6 路線 423.8 km、県管理の 11 路線 636.9 km 計 1,060.7 km であるが、このうち雪害指定延長が 768.3 km である。また主要地方道は 46 路線 1,047.8 km、うち雪害指定延長は 487.5 km、一般県道は 260 路線、2,456.7 km、うち雪害指定延長は 1,063.4 km である。

今冬の豪雪で県下山間部の道路は、各所で通行止めとなり、とくに飛騨山間部では、降雪が終息したあともなだれの危険のため長期間にわたり通行規制の措置がとられている。

(1) 国道（建設省管理）

建設省管理の国道は、41 号線を除いて一部交通規制はあったものの交通は、順調に確保された。

41 号線の交通が規制されたのは、県北部古川町～富山県境間で、とくに神岡町～富山県境間約 20 km が積雪となだれのため著しかった。

神岡町～富山県境間は降雪の深さの積算値が 10～13 m にも達し、12 月下旬から 1 月中旬までは延べ 11 日間通行止めとなったほかは 2 月初旬まで通行が確保されていたが、2 月中旬に入れば全面通行止めとなった。3 月中旬に一部の部分開放はあったが、とくに割石～茂住間が甚だしく 3 月 21 日、時間規制で 4 時間通行が可能になるまで全面通行止めであった。3 月 21 日以後も一部の時間帯を除いて通行止めが続いたが 3 月 28 日午前 7 時漸く全線通行可能となった。

図 2.4.12 に国道 41 号線の通行規制状況を示し表 2.4.8 に道路除雪の実施状況を示す。

(2) 県管理道路

県管理の国道、主要地方道、および一般県道は 1 月 7 日現在積雪による通行止めは 30 路線 32 区間に及んだ。

通行止めは国道関係では156号線白鳥以北、158号線油坂以北、360号線河合村落合～県境間等6路線8区間、主要地方道では、国府見座線、鯖江藤橋線ほか6路線6区間、一般県道では長倉神岡線、月ヶ瀬神岡線ほか18路線18区間である。

3月11日現在でも、なだれによる通行止めは14路線16区間111km、なだれによる通行止めの時間規制を実施しているところが8路線8区間69kmに及んでいる。

なだれによる通行止めの区間は同日現在では開通見込が分明的でないが、区間延長の長いところでは、国道156号線荒川村牧戸～県境間の15km、同じく303号線藤橋村東横山～県境間の20km、主要地方道鯖江藤橋線全線の25kmでありその他は2～6kmの区間に限られている。

なだれによる通行止めの時間規制を実施した区間、区間延長が最も長いところが、国道156号線荘川村牧戸～飯島間の30km、その他は一般県道石徹白前谷線の白鳥町前谷以遠の10km、同じく檜ヶ岳公園線全線の8kmのほか2～5kmの区間に限られている。

国道156号の通行規制状況を図2.4.13に、表2.4.9に道路除雪の実施状況を示すが、国道156号線の全面開放は4月下旬となった。

(3) 市 町 村 道

岐阜県は13市87町村であるが、これらの市町村道での除雪状況を表2.4.10に示す。

これらの市町村のうち吉城郡、大野郡（飛騨山間部）に属する17町村、郡上郡（飛騨西部）に属する7町村、不破郡、揖斐郡（美濃西部）に属する11町村ならびに高山市の各市町村における除雪機械の稼働台数が著しく多く殆んどがここに集中している。

県は市町村道の除雪費に対し、昭和55年度臨時市町村道除雪事業費補助金の交付を決定、豪雪地帯対策特別措置法第2条第1項の規定により指定された市町村、又は昭和55年12月から昭和56年2月20日までの期間に最深積雪が1mを超える市町村のうち国土庁が行った調査において昭和55年度の降雪積算値が平年に比し異常に多い市町村に対し幹線市町村道の除雪事業費が平年のそれを超える額の1/2を補助した。

対象となった市町村は高山市をはじめとして38市町村に及び、補助金総額は約1億9千万円に達した。

2.4.8 物的被害

56年豪雪における岐阜県下の被害は民生、産業の全分野におよびその総額は232億円余に達した。

(i) 住 家 等

表2.4.11に被害概要を示す。

(ii) 民生施設等

表2.4.12に被害概要を示す。

(iii) 産業関係

表2.4.13に被害概要を示す。

謝 辞

この報文をまとめるにあたり、次の関係機関およびこれに関係する方々から資料の提供を受け、豪雪災害の状況のお話を伺った。ここに記して謝意を表します。

(順不同)

建設省中部地方建設局道路管理課，同機械課，岐阜県土木部道路維持課，同消防防災課，日本道路公団名古屋管理局建築機械課，岐阜地方気象台

表 2. 4. 1 昭和55年～56年冬の降雪の深さ・積雪の深さ (高鷲村姪ヶ野)

単位: cm

12月	日	付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
			降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪
1月	日	付	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	積	積															
	積	積															
2月	日	付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	降	降	0.5	2	3	18	—	1	6	3	1	14	0	0	2	1	9
	積	積	360	350	345	330	320	310	310	310	290	296	286	282	280	280	278
3月	日	付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	降	降	3	25	—	13	3	0	0	5	4	10	45	5	—	—	—
	積	積	278	300	290	290	290	282	276	272	274	284	320	325	290	282	264
4月	日	付	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		
	降	降	—	15	—	8	—	3	—	—	9	5	30	50	9		
	積	積	260	264	260	262	250	258	252	250	256	258	282	315	318		
5月	日	付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	降	降	—	—	—	5	—	7	5	3	—	8	1	0	—	—	—
	積	積	310	300	290	280	270	276	278	278	266	272	270	264	260	252	244
6月	日	付	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	降	降	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	積	積	254	244	243	240	238	230	228	218	212	200	196	206	196	194	192

(岐阜県・道路維持課の資料による)

表2. 4. 2 昭和55年－56年冬の降雪の深さ・積雪の深さ (高山市)

単位：cm

	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
12月	付雪																
	降雪																
	積雪	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1月	日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
	降雪	—	8	9	48	22	11	29	26	0	7	5	9	19	15	5	
	積雪	77	79	79	107	109	103	120	128	104	103	96	97	106	113	107	
2月	日付	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	降雪	0	3	0	3	0	7	6	4	1	10	0	1	1	0	9	0
	積雪	98	97	93	93	87	90	90	89	83	90	80	79	78	76	85	76
3月	日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
	降雪	2	23	0	6	2	0	0	3	7	4	13	2	—	—	—	
	積雪	77	96	83	86	85	80	77	77	81	76	85	81	74	72	67	
3月	日付	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
	降雪	—	26	0	—	0	2	—	—	14	1	6	45	29			
	積雪	59	81	76	67	62	64	59	59	70	69	73	104	109			
3月	日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
	降雪	—	—	—	—	2	3	0	0	1	0	2	—	—	0	—	
	積雪	96	90	82	78	76	74	72	69	64	63	64	60	55	50	47	
3月	日付	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	降雪	7	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	—	—	—	—
	積雪	51	44	38	31	24	19	14	7	5	0	0	7	0	0	0	0

(岐阜県・道路維持課の資料による)

表2.4.3 昭和55年—56年冬の降雪の深さ・積雪の深さ (関ヶ原町)

単位: cm

	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
12月	付雪																
	降積	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1月	付雪												16	—	0	45	15
	降積												16	—	—	55	60
2月	付雪	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
	降積	3	0	0	20	12	28	43	10	0	0	4	13	21	53	18	
3月	付雪	45	30	28	40	45	72	112	118	93	76	72	103	119	165	183	
	降積	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
4月	付雪	0	12	1	1	0	10	3	0	1	0	0	0	1	0	3	0
	降積	159	138	132	123	108	112	107	96	90	78	60	62	61	58	60	57
5月	付雪	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
	降積	7	5	0	11	3	0	0	1	0	1	33	1	0	—	—	
6月	付雪	62	55	52	60	61	58	56	54	51	46	76	75	65	57	49	
	降積	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
7月	付雪	—	2	0	0	0	1	0	—	0	8	19	33	3			
	降積	42	39	36	34	29	26	24	22	19	26	44	71	67			
8月	付雪	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
	降積	0	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
9月	付雪	59	48	39	28	21	16	11	5	—	—	—	—	—	—	—	
	降積	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
10月	付雪																
	降積																

(岐阜県・道路維持課の資料による)

表 2. 4. 4 昭和55年-56年冬の降雪の深さ・積雪の深さ (神岡町)

単位: cm

12月	日	付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
			降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪	降雪
1月	日	付	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	日	付	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	日	付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	日	付	0	3	22	50	41	17	32	31	0	1	25	21	30	22	14
2月	日	付	144	135	146	170	191	192	189	198	171	158	170	173	188	192	190
	日	付	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	日	付	0	8	2	3	0	10	10	5	0	0	2	10	6	0	7
	日	付	172	174	162	160	155	162	160	156	145	145	140	146	145	135	145
3月	日	付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	日	付	1	21	0	15	15	0	0	6	10	4	26	14	—	—	—
	日	付	135	154	142	153	158	141	135	140	148	137	160	158	136	132	126
	日	付	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	—	—
3月	日	付	—	20	0	0	0	4	—	—	10	10	8	38	8	—	—
	日	付	117	134	134	112	107	111	100	100	109	114	115	158	150	—	—
	日	付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	日	付	—	—	—	—	1	4	2	4	0	4	8	—	—	—	—
3月	日	付	140	127	121	115	113	112	111	112	103	104	107	97	89	83	80
	日	付	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	日	付	19	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—
	日	付	91	77	72	68	61	48	44	31	25	17	9	5	0	0	0

(岐阜県・道路維持課の資料による)

表 2. 4. 5 注意報, 警報, 情報の発表 (55.12 ~ 56.2)

種	類	発 令 ・ 日 時
大雪注意報		1 2月 26日 22時20分
大雪, 雪崩注意報		27日 11時10分
大雪情報第1号		" 17時10分
大雪, 雪崩注意報 (更新)		28日 10時40分
大雪警報, 雪崩注意報		" 16時10分
大雪情報第2号		" 21時25分
大雪情報第3号		29日 5時55分
大雪警報, 雪崩注意報 (更新)		" 10時10分
大雪情報第4号		" 16時20分
大雪, 雪崩注意報		30日 6時05分
大雪情報第5号		" 13時30分
大雪, 雪崩注意報 (更新)		" 19時45分
雪崩注意報		31日 9時40分
雪崩情報第1号	1月	1日 11時00分
大雪, 雪崩注意報		3日 8時40分
大雪, 雪崩, 強風注意報		" 13時20分
大雪警報, 雪崩注意報		" 17時30分
大雪情報第1号		" 21時40分
大雪情報第2号		4日 5時45分
大雪警報, 雪崩注意報 (更新)		" 10時20分
大雪, 雪崩注意報		" 15時50分
大雪, 雪崩注意報 (更新)		5日 10時20分
大雪警報, 雪崩注意報		" 16時45分
大雪情報第1号		5日 22時00分
大雪情報第2号		6日 5時50分
大雪, 雪崩注意報		" 8時10分
大雪警報, 雪崩注意報		7日 10時00分
大雪, 雪崩注意報		" 16時00分
雪崩注意報		8日 6時00分
雪崩情報第1号		9日 10時00分
雪崩注意報 (更新)		10日 9時00分
大雪, 雪崩注意報		" 19時30分
大雪警報, 雪崩注意報		11日 7時50分
大雪, 雪崩注意報		" 15時30分
雪崩注意報		12日 6時00分
大雪, 雪崩注意報		" 10時50分
大雪, 雪崩注意報 (更新)		13日 10時30分
大雪, 雪崩注意報 (更新)		" 21時40分

種	類	発 令 ・ 日 時
雪崩注意報		1月14日 11時50分
雪崩注意報（更新）		18日 9時30分
雪崩注意報（更新）		20日 11時10分
大雪，雪崩注意報		21日 18時50分
雪崩注意報		22日 7時30分
雪崩注意報（更新）		23日 17時00分
雪崩注意報（更新）		25日 19時40分
雪崩・異常乾燥（美濃地方）注意報		28日 10時00分
雪崩注意報	2月 1日	5時15分
雪崩注意報	5日	10時10分
雪崩，異常乾燥（美濃地方）注意報	6日	10時25分
雪崩注意報	10日	5時50分
大雪，雪崩注意報	11日	5時55分
雪崩注意報	"	16時50分
雪崩と融雪に関する情報	12日	16時50分
雪崩注意報	15日	7時10分
大雪，雪崩注意報	17日	7時30分
雪崩注意報	"	10時30分
大雪，雪崩注意報	23日	10時55分
雪崩注意報	"	17時25分
大雪，雪崩注意報	25日	15時45分
大雪，雪崩注意報	26日	10時40分
大雪，雪崩，異常低温注意報	"	18時10分
大雪，雪崩注意報	27日	13時10分
大雪，雪崩，異常低温注意報	"	19時40分
雪崩注意報	28日	6時40分

大雪警報発令延時間

55年12月 37時間55分

56年 1月 51時間25分

雪崩注意報 12/27 11:10～ 5/7 18:10（132日）

（岐阜県 消防防災課の資料による）

表 2. 4. 6 死者の月日，原因等一覧

月 日	性別	年齢	場 所	原 因
1 2.2 9	男	5 5	宮 川 村	なだれで死亡
1 2.2 9	女	5 2	宮 川 村	なだれで死亡
1 2.2 9	男	5 7	神 岡 町	なだれでダムに転落
1. 7	男	4 8	丹生川 町	用水に転落
1.1 1	女	4 2	古 川 町	屋根雪除雪中に転落
1.1 4	男	5 0	関ヶ原 町	工場の屋根雪除雪中に転落
1.2 3	男	7 6	宮 川 村	除雪中にダムへ転落
2.1 5	男	3 8	神 岡 町	運転中なだれに巻き込まれ，川に転落
2.1 7	男	5 2	神 岡 町	落下屋根雪の下敷
計	9	内訳	男 7 女 2	

(岐阜県 消防防災課の資料による)

表 2. 4. 7 56 豪雪災害 自衛隊災害派遣実施状況

要 請	出 動 月 日	出 動 先	派遣部隊	勢 力	活 動 状 況
第1次	1 月 8 日	宮 川 村	(航空) 小牧基地 第5術科学学校	大型ヘリコプター バートル107 (6人) 1機	宮川村坂上地区(林)から坂下地区(杉原)へ空輸 ○防雪車両用燃料 軽油ドラム缶17本(約3kl) ○一般医薬品各種若干量
第2次	1 月 9 日	(飛弾・郡上)	(航空) 小牧基地 第5術科学学校	大型ヘリコプター バートル107 (5人) 1機	岐阜県豪雪対策本部員等(6名)の孤立地区、道路 状況の緊急航空偵察
第3次	自1月12日 至1月20日	白 鳥 町	(陸上) 第313地区施 設隊(各務原 市に駐とん)	人 員 51人 重機等 ダンプ 3台 ドーザ 2台 バケットローザ 2台	幹線道路の除雪 ○156号(大島～中津屋、白鳥～二日町、北濃～ 前谷)約8km ○158号(向小駄良～油坂峠)約2km
	至1月15日	高 鷲 村	(航空) 岐阜基地	人 員 70人	公共施設の除雪(小中学校、保育所、診療所等)
		荘 川 村	(航空) 岐阜基地	人 員 90人	公共施設の除雪(防火水そう、小中学校、保育所、 診療所等)
		白 川 村	(航空) 岐阜基地	人 員 70人	公共施設の除雪(小中学校、保育所)
第4次	自1月14日 (悪天候で中 止)	徳 山 村	(航空) 小牧基地 第5術科学学校	大型ヘリコプター バートル107 (11人) 2機	揖斐川町怪永グラウンドから徳山村門入、本郷地区へ 空輸 ○門入地区 除雪車両用燃料軽油ドラム缶

第5次	自1月15日 至1月18日	河 合 村	(航空) 岐阜基地	人 員	7 1 人	10本 (1.8 tℓ) 生鮮食料品約2.4 t 一般医薬品各種若干量, 郵便物, 新聞 ○本郷地区 生鮮食料品約3.6 t, 郵便物, 新聞 (戸入, 塚地区分を含む) 公共施設の除雪 (小中学校, 体育館等) 公共施設の除雪 (小中学校, 保育所, 診療所) 生活道路, 公共施設等の除雪 (村道, 小中学校等)
		宮 川 村	(航空) 岐阜基地		7 1 人	
		藤 橋 村	(航空) 岐阜基地		7 1 人	
	自1月16日 至1月19日			人 員	5 1 6 人	
				重機等	(延2,253人) 7 台 (延63台) ヘリコプター 4 機 (延4機)	

(岐阜県消防防災課資料による)

表 2. 4. 8 道路の除雪状況

① 国が管理する国道の除雪

区 分		防雪費用(千円)	延作日数(日)	防雪機械 延出動台数	管 理 路 線 名
国道工事事務所	岐阜国道維持出張所	170,600	64	169	国道21号線, 22号線, 156号線
	岐阜国道 大垣		42	268	国道21号線, 258号線
	工事事務所 美濃加茂		64	93	国道41号線
	八幡		79	310	国道156号線
多治見国道工事事務所		31,200	47	88	国道19号線, 21号線
高山		170,000	92	1,660	国道41号線
合 計		371,800		2,588	

(岐阜県 消防防災課資料による)

表2.4.9 県が管理する国道及び県道の除雪

区分 土木 事務所 別	除雪機械延出動台数							1日当最大 出動作業人員	除雪費用 (事務費を除く)
	除 ロータリー	除 ブルドーザー	ショベル	除 グレーダー	除 トラック	ダ ンプ トラック	計		
岐阜	—台	140台	30台	90台	—台	670台	930台	99人	44,215千円
大垣	—	160	80	250	20	380	890	95	37,332
揖斐	50	1,100	170	70	70	70	1,530	246	110,876
美濃	—	30	160	70	10	370	640	50	24,880
八幡	330	1,070	1,470	270	70	280	3,490	423	265,476
加茂	—	—	—	20	—	620	640	105	21,765
多治見	—	—	—	10	—	240	250	60	11,178
恵那	—	40	50	60	—	110	260	60	46,248
萩原	—	310	350	180	50	80	970	80	61,277
高山	770	2,160	1,460	580	150	170	5,290	220	311,633
古川	340	1,980	390	230	180	80	3,200	270	208,591
計	1,490	6,990	4,160	1,830	550	3,070	18,090	—	1,143,471

(岐阜県 消防防災課資料による)

表 2. 4. 10 市町村道の除雪

市町村	除 雪 機 械 延 稼 働 台 数						
	除雪ロータリー	除雪ブルドーザー	シ ョ ベ ル	除雪グレーダー	ダンプトラック	そ の 他	計
岐阜市	—	2	—	38	35	—	75
大垣市	—	4	1	13	1	—	19
高山市	—	1,113	1,443	11	371	10	2,948
多治見市	—	—	—	—	—	—	—
関川市	—	—	—	—	—	—	—
中津市	—	—	—	—	50	—	50
美濃市	—	—	—	18	—	—	18
瑞浪市	—	—	—	—	—	—	—
羽島市	—	—	—	—	—	—	—
恵那市	—	—	—	—	127	—	127
美濃加茂市	—	—	—	—	—	—	—
土岐市	—	—	—	—	—	—	—
各務原市	—	—	—	—	106	—	106
市 計 13	—	1,119	1,444	80	690	10	3,343
羽島郡	—	—	—	—	—	—	—
〇 川 島	—	—	—	—	—	—	—
〇 岐 南	—	—	—	—	—	—	—
〇 笠 松	—	—	—	—	—	—	—
〇 柳 津	—	—	—	—	—	—	—
小 計	—	—	—	—	—	—	—

海津郡	—	—	—	—	—	—	—	—
○海	—	—	—	—	—	—	—	—
○平	—	—	—	—	—	—	—	—
○南	—	—	—	—	—	—	—	—
小計								
養老郡	—	5	2	16	—	—	—	23
○養	—	119	71	21	24	—	—	235
○上	—	124	73	37	24	—	—	258
小計								
不破郡	—	176	61	16	43	—	—	296
○垂	—	443	60	—	155	—	—	658
○関	—	619	121	16	198	—	—	954
小計								
安八郡	—	3	—	20	20	—	—	43
○神	—	—	—	1	—	—	—	1
○輪	—	—	—	—	—	—	—	—
○安	—	—	—	—	—	—	—	—
○墨	—	—	—	—	—	—	—	—
小計		3		21	20	—	—	44
揖斐郡	—	25	58	26	—	—	—	109
○揖	—	65	40	38	—	—	—	143
○谷	—	—	85	—	9	—	—	94
○大	—	108	8	33	9	—	—	158
○池	—							

市町村		除雪機械延稼働台数						
		除雪ロータリー	除雪ブルドーザー	ショベル	除雪グレーダー	ダンプトラック	その他	計
春日	日	—	180	60	—	100	—	340
久瀬	久	—	360	—	24	75	—	459
藤橋	橋	—	184	24	—	24	—	232
坂内	内	68	13	102	—	—	—	183
徳山	山	—	358	—	—	20	—	378
小計	計	68	1,293	377	121	237	—	2,096
本巣郡	方	—	—	—	—	—	—	—
○北	果	—	33	32	3	—	—	68
○本	積	—	—	—	—	—	—	—
○穂	南	—	—	—	—	—	—	—
○果	正	—	—	5	4	—	—	9
○真	貴	—	—	3	17	—	—	20
○糸	尾	—	175	22	—	8	—	205
根	計	—	208	62	24	8	—	302
小計	計	—	—	—	—	—	—	—
山県郡	富	—	20	—	6	—	—	26
○高	自	—	3	—	3	—	—	6
○伊	良	—	100	46	—	—	—	146
○美	山	—	123	46	9	—	—	178
小計	計	—	—	—	—	—	—	—
武儀郡	戸	—	52	19	—	2	14	87
洞	計	—	—	—	—	—	—	—

板取	—	80	88	50	40	—	258
。武芸	—	30	—	7	15	—	52
。武儀	—	—	—	1	1	—	2
。上之保	—	15	—	8	—	—	23
小計		177	107	66	58	14	422
郡上郡							
。八幡	—	118	143	53	50	—	364
。大和	39	—	78	—	28	—	145
。白鳥	420	875	625	75	500	80	2,575
。高鷲	171	387	251	56	8	98	971
。美並	—	23	12	3	—	—	38
。方明	—	217	243	—	45	—	505
。良和	—	40	60	10	3	120	233
小計	630	1,660	1,412	197	634	298	4,831
加茂郡							
。坂祝	—	—	—	1	—	—	1
。富加	—	—	—	1	—	—	1
。川辺	—	—	—	—	1	—	1
。七宗	—	—	—	—	—	—	—
。八百津	—	—	—	3	—	—	3
。白川	—	20	—	5	30	—	55
。東川	—	—	4	16	—	—	20
小計		20	4	26	31		81
可児郡							

市町村	除雪機械延稼働台数						
	除雪ロータリー	除雪ブルドーザー	シヨベル	除雪グレーダー	ダンプトラック	その他	計
○ 高 岡 市	—	—	—	1	—	—	1
○ 可 兒 市	—	—	—	5	15	—	20
○ 兼 山 市	—	—	—	—	—	—	—
小 計				6	15		21
土 岐 郡							
○ 笠 原 市	—	—	—	—	—	—	—
小 計							
恵 那 郡							
○ 坂 下 市	—	—	4	2	—	—	6
○ 川 上 市	—	14	—	2	16	—	32
○ 加 母 市	—	25	16	2	—	—	43
○ 付 知 市	—	55	38	8	107	—	208
○ 福 岡 市	—	4	—	—	—	—	4
○ 蛭 川 市	—	—	—	—	—	—	—
○ 岩 村 市	—	—	—	—	8	—	8
○ 山 岡 市	—	2	2	1	—	—	5
○ 明 智 市	—	—	1	—	—	—	1
○ 串 原 市	—	—	4	—	3	—	7
○ 上 矢 作 市	—	—	—	—	2	—	2
小 計		100	65	15	136		316
益 田 郡							
○ 萩 原 市	—	74	79	19	5	7	184

○ 小坂	—	20	91	6	34	—	151
○ 下呂	—	61	76	2	50	—	189
○ 金山	—	28	3	3	15	—	49
○ 馬瀬	—	25	75	40	—	—	140
小計		208	324	70	104	7	713
大野郡							
丹生川	—	571	38	33	38	—	680
清見川	—	399	94	—	7	—	500
莊川	246	376	412	—	13	—	1,047
白川	236	454	457	124	120	95	1,486
宮	—	96	80	15	29	—	220
久野	—	142	117	27	27	—	313
朝日	5	130	39	—	9	4	187
高根	—	110	62	—	4	8	184
小計	487	2,278	1,299	199	247	107	4,617
吉城郡							
川	—	2,677	—	—	—	—	2,677
府	—	294	72	275	40	—	681
合	13	435	346	—	10	30	834
川	259	291	—	—	41	86	677
岡	50	500	758	24	655	10	1,997
宝	242	244	—	40	49	—	575
小計	564	4,441	1,176	339	795	126	7,441
郡計 17	1,749	11,254	5,066	1,146	2,507	552	22,274
合計	1,749	12,373	6,510	1,226	3,197	562	25,617

(岐阜県 消防防災課資料による) (○印は町)

表 2. 4. 11 住家等被害

(単位：千円)

被害区分			数 量	被害額	備 考
り災総数	棟 数		3 8 棟	—	
	世 帯		4 1 世帯	—	
	人 員		1 2 8 人	—	

り災総数の内訳

全壊 (焼)	棟 数		4 棟	—	
	世 帯		4 世帯	—	
	人 員		1 3 人	—	
	被害額			2 8,0 0 0	
半壊 (焼)	棟 数		1 8 棟	—	
	世 帯		1 8 世帯	—	
	人 員		4 7 人	—	
	被害額			5 4,0 0 0	
床上 浸水	棟 数		1 6 棟	—	主として降雪時における被害、 流下水等が降雪により阻害さ れたりするのが原因
	世 帯		1 9 世帯	—	
	人 員		6 8 人	—	
	被害額			1 9,0 0 0	

そ の 他

床下 浸水	棟 数		2 7 0 棟	—	床上浸水におなじ
	世 帯		2 8 9 世帯	—	
	人 員		9 2 4 人	—	
	被害額			2 8,9 0 0	
一部 破損	棟 数		1,2 6 7 棟	—	
	世 帯		1,2 8 6 世帯	—	
	人 員		4,8 4 6 人	—	
	被害額			1 2 8,6 0 0	
非住家	棟 数		2,4 1 4 棟	—	工場、倉庫、納屋等
	被害額			2 4 1,4 0 0	
被害額				4 9 9,9 0 0	

(岐阜県消防防災課資料による)

表 2. 4. 12 民生施設等の被害

(単位：千円)

区 分		数 量	被 害 額	備 考
社会福祉 施 設	施 設 数	6 施設	—	老人ホーム、公民館等
	被 害 額	—	2 4,6 5 0	
	う ち 建 物	6 棟	—	
医療衛生 施 設	施 設 数	7 施設	—	病院、医院等
	被 害 額	—	6,6 4 6	
	う ち 建 物	7 棟	—	
観光施設	件 数	4 2 件	—	スキーリフト、バンガロー等
	被 害 額	—	9 3,2 5 0	
	う ち 建 物	3 6 棟	—	
文教関係	施 設 数	4 7 施設	—	学校等、教育施設
	被 害 額	—	6 5 4,2 3 5	
	う ち 建 物	4 9 棟	—	
その他公共財産			2 5,9 0 7	県有財産等

(岐阜県 消防防災課資料による)

表 2. 4. 13 産業関係等の被害

(単位：千円)

(i) 商工業関係

区 分		数 量	被 害 額	備 考	
商工業関係		件 数 被 害 額 う ち 建 物	2 7 5 件 棟 2,442,961	工場、その附属物等も含まれる	
農 業	施設等	共 同 利 用	1,137カ所	237,008	ハウス栽培施設等
		非 共 同 利 用	2,733カ所	538,140	
		地 方 公 共 団 体	11カ所	15,595	
	農作物等	農 作 物	—	635,507	樹体は桃、くわ等果実樹が対象 在庫品はけい卵、牛乳等
		樹 体	—	781,391	
		家 畜 等	—	37,749	
		在 庫 品	—	1,466	
		冠 浸 水	ha	—	
	水 産	施 設	カ所	10,840	養鱒場等の施設とその施設から 産出する水産物等
		水 産 物	—	281,561	

関 係	耕 地	農	公	共	(1.28ha)8カ所	10,000	用水路、樋門等
		地	単	独	(ha) カ所		
		施	代	行	(ha) カ所		
		設	公	共	—	216,000	
		設	単	独	—		
	被 害 額 計				—	2,765,257	

(iii) 林業関係

林 業 関 係	林	産	物	—	32,523	しいたけ、松たけ等が含まれる
	林	産	施 設	—	29,503	
	山		地	28カ所	219,000	
	治	山	施 設	3カ所	19,960	
	苗	畑	施 設	—	2,626	
	森	林	被 害	24,514 ha	7,754,173	
	林		道	104カ所	399,007	
	建	物	被 害	棟	—	
	被	害	額 計	—	8,456,792	

(iv) 土木関係

土 木 関 係	河 川	公	共	45カ所	202,060	公共は国庫補助による事業
		単	独	カ所		
	砂 防	公	共	1カ所	960	
		単	独	カ所		
	道 路	公	共	1,267カ所	7,983,156	
		単	独	カ所		
	橋 梁	公	共	5カ所	44,500	
		単	独	カ所		
	路 面	災 害		カ所		
	都 市	施 設 災 害		カ所		
	被 害	額 計		—	8,230,676	

(岐阜県 消防防災課資料による)

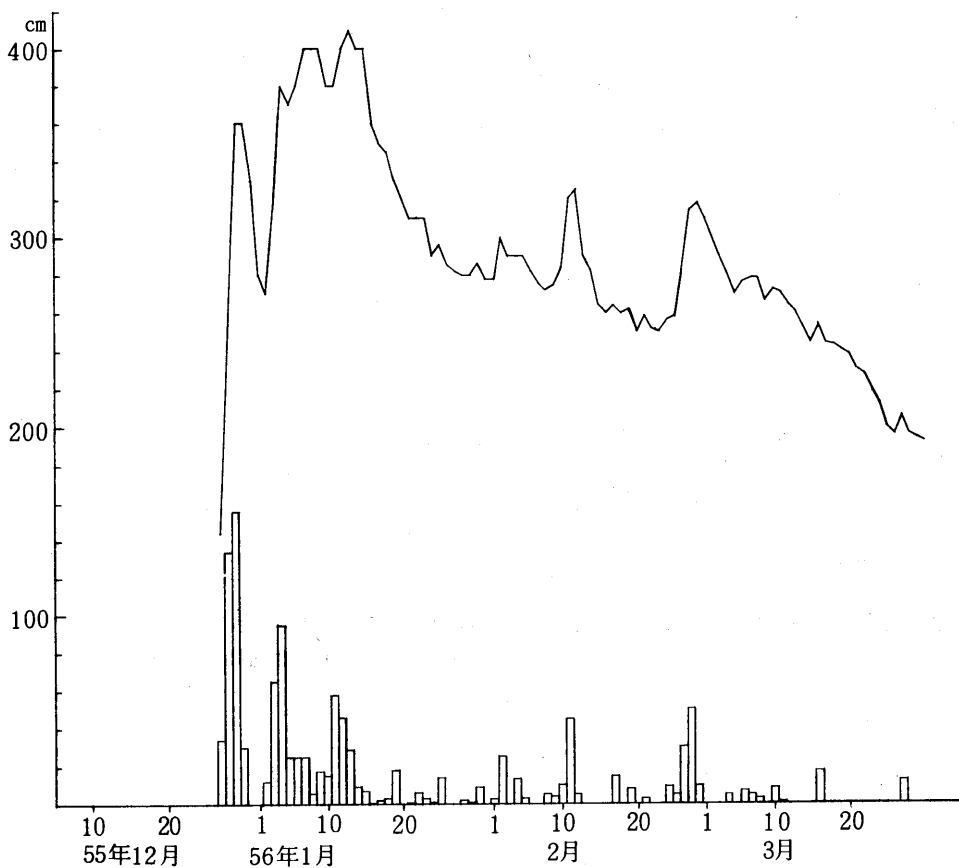


図 2. 4. 1 昭和55年～56年，高鷲村蛭ヶ野における降雪の深さ・積雪の深さ
(岐阜県道路維持課の資料による)

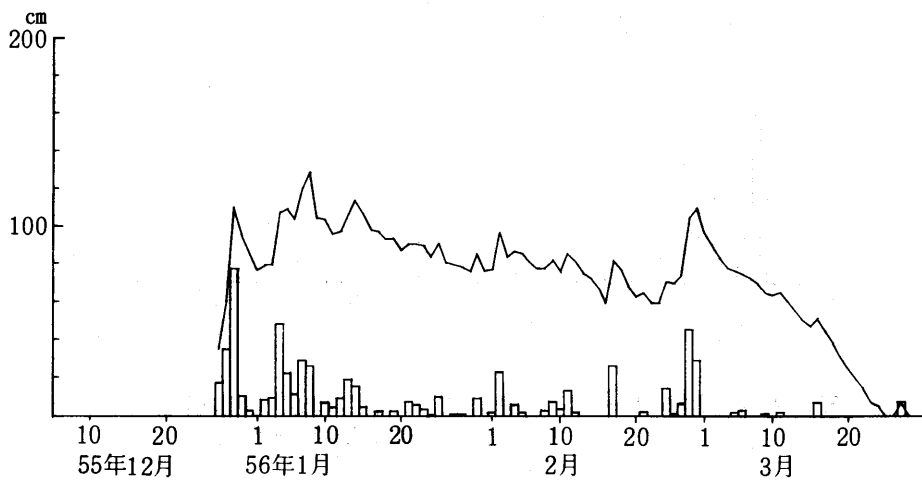


図 2. 4. 2 昭和55年～56年，高山市における降雪の深さ・積雪の深さ
(岐阜県道路維持課の資料による)

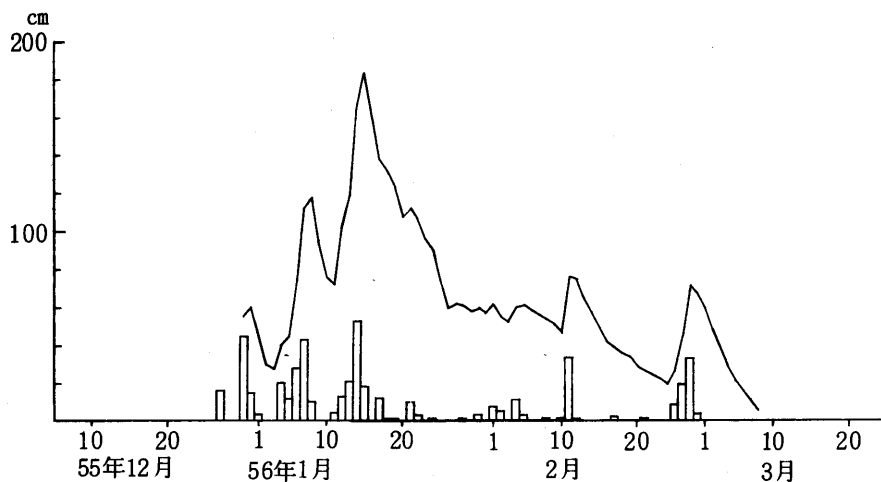


図 2. 4. 3 昭和55年～56年，関ヶ原町における降雪の深さ・積雪の深さ
(岐阜県道路維持課の資料による)

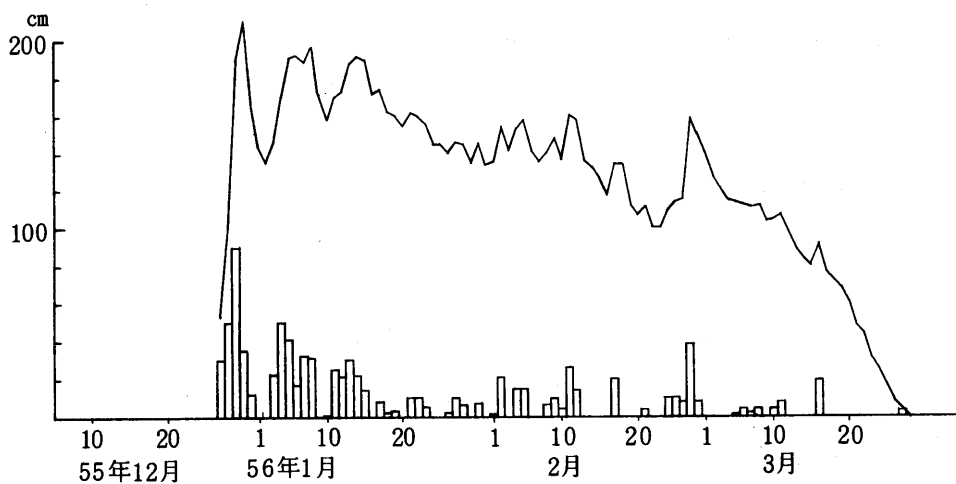


図 2. 4. 4 昭和55年～56年，神岡町における降雪の深さ・積雪の深さ
(岐阜県道路維持課の資料による)

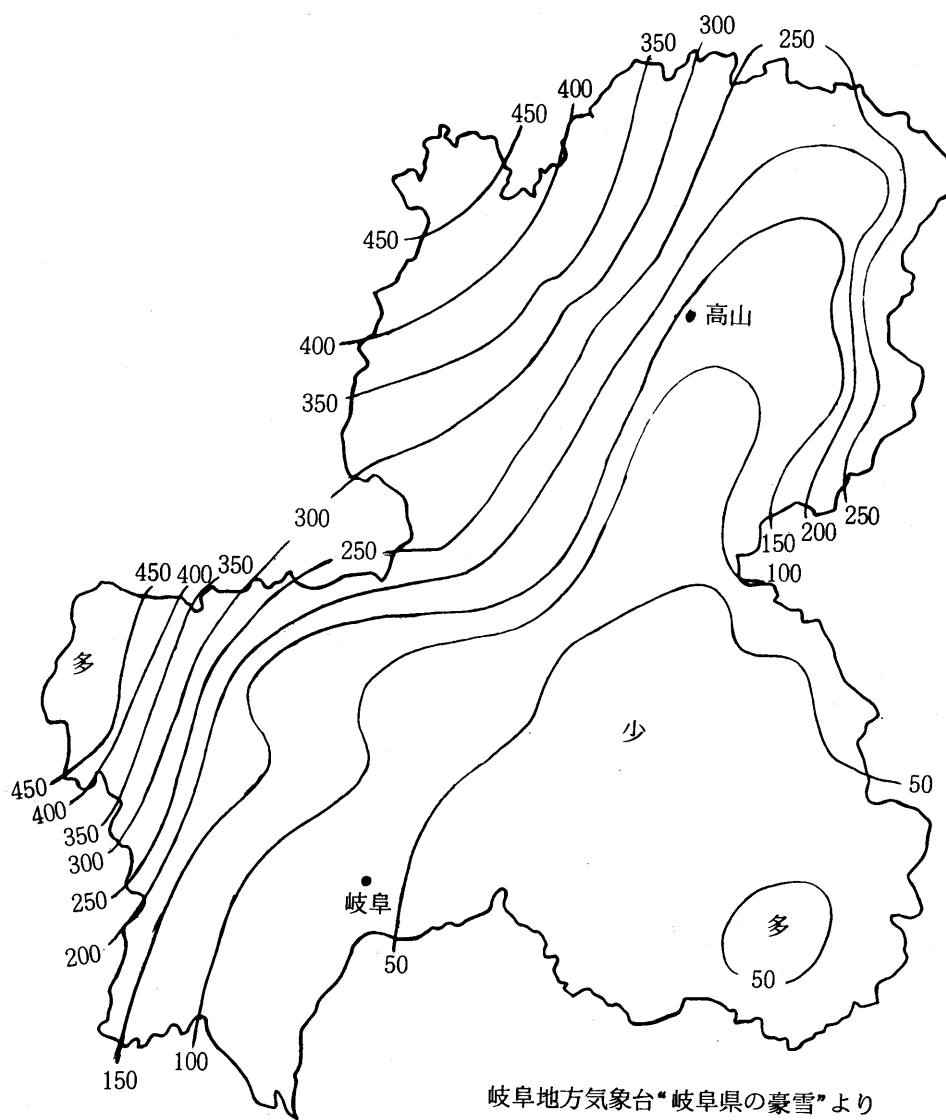
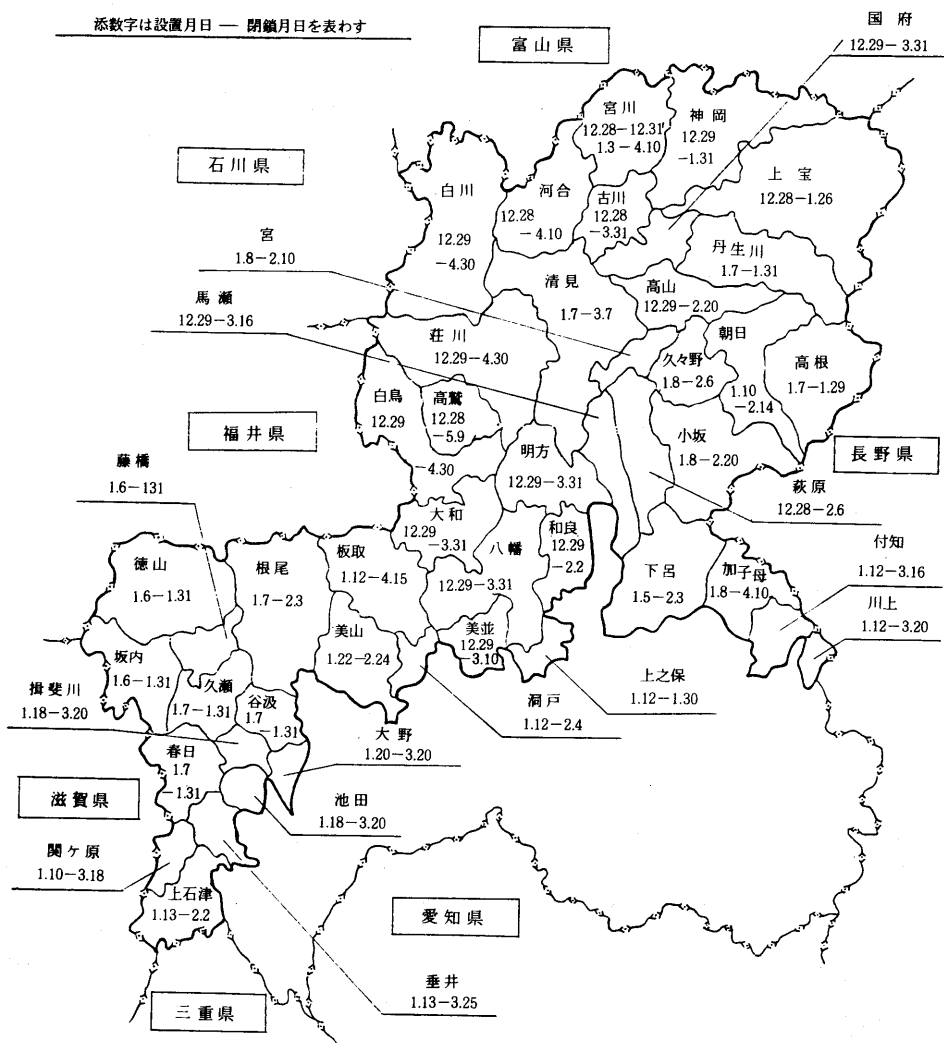


図2. 4. 6 昭和56年4月1日現在の最深積雪分布図 (単位cm)



(岐阜県 消防防災課資料による)

図 2.4.7 岐阜県豪雪対策本部設置市町村一覧図

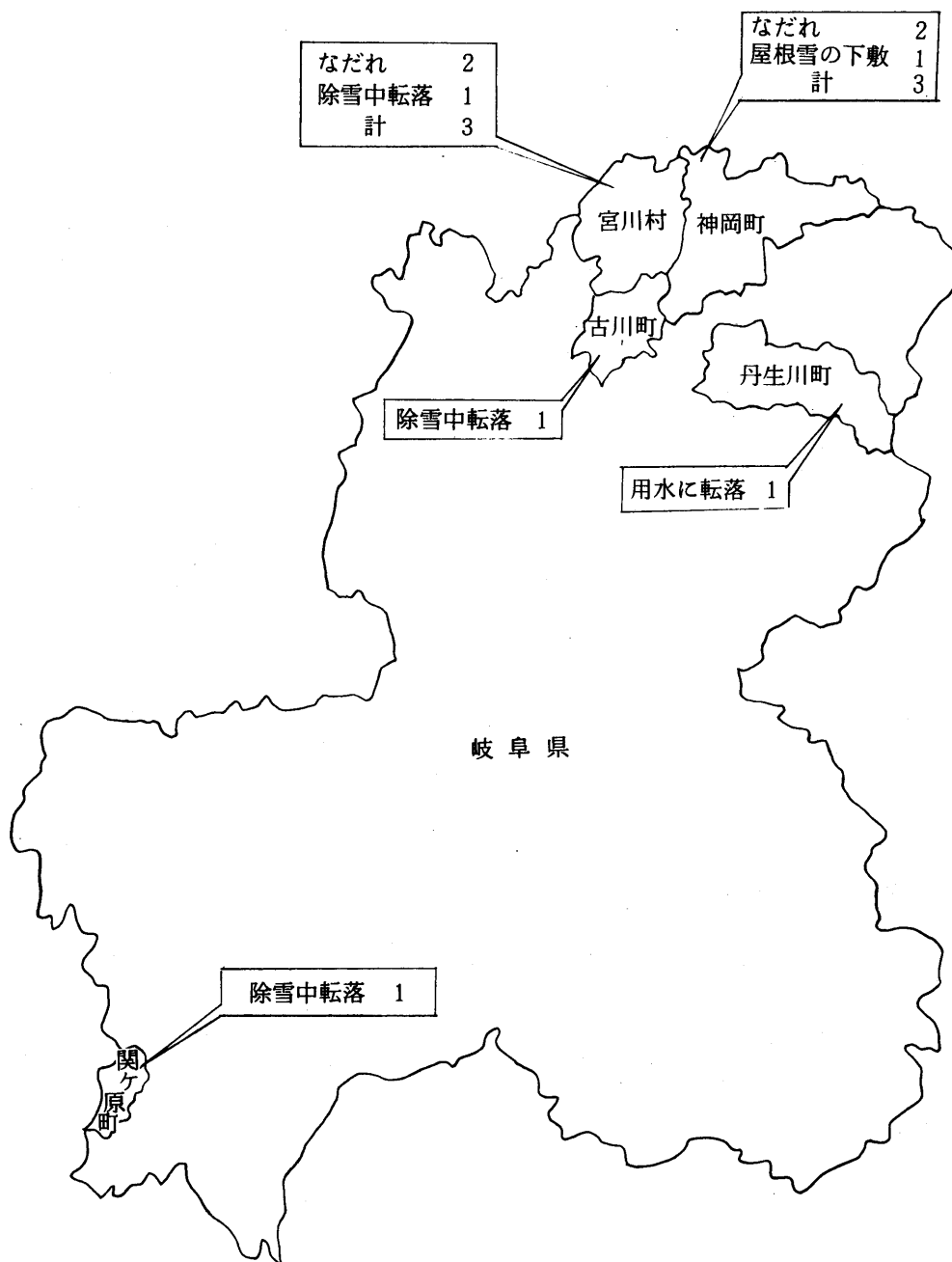


図 2. 4. 8 死者発生の町村位置図

(岐阜県 消防防災課資料による)

市町村	集落	戸数	人数	1/8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	摘要
徳山村	門入	39	134																					
	戸入	68	105																					
	塚	33	111																					
	栢原	72	228																					
久瀬村	森下	5	10																					
	久戸坂	8	21																					
坂内村	川上	67	187																					
藤橋村	杉原	48	128																					
根尾村	下大須	5	11																					
	黒津	3	6																					
	越波	3	4																					
美山町	仲越	7	14																					
	椿	1	2																					
大和村	上神路	15	40																					
	落部	18	20																					
馬瀬村	川上	4	15																					
清見村	江黒	17	67																					
	大谷	11	42																					
河合村	ニッ屋	4	12																					
	臼坂	1	3																					
	天生	2	8																					
	月ヶ瀬	8	19																					
宮川村	坂下	173	580																					
	坂上	56	238																					
神岡町	跡津川	8	28																					
	和佐府	8	46																					
	打保	7	27																					
	岩井谷	7	26																					
	阿曾保	3	12																					
	佐古	6	24																					
上宝村	・餅	4	7																					
	山吹	5	18																					

図 2. 4. 9 孤立集落の状況

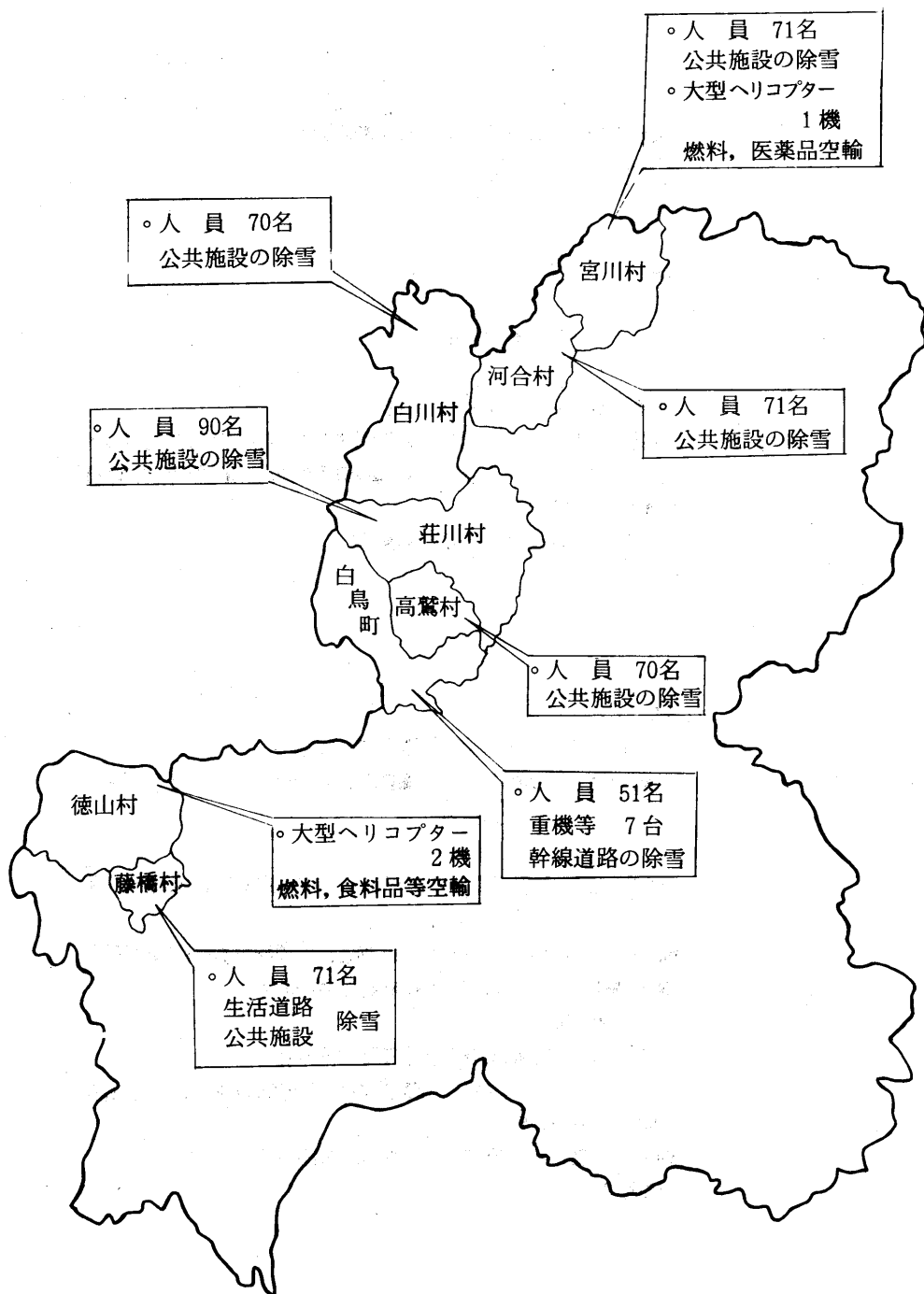
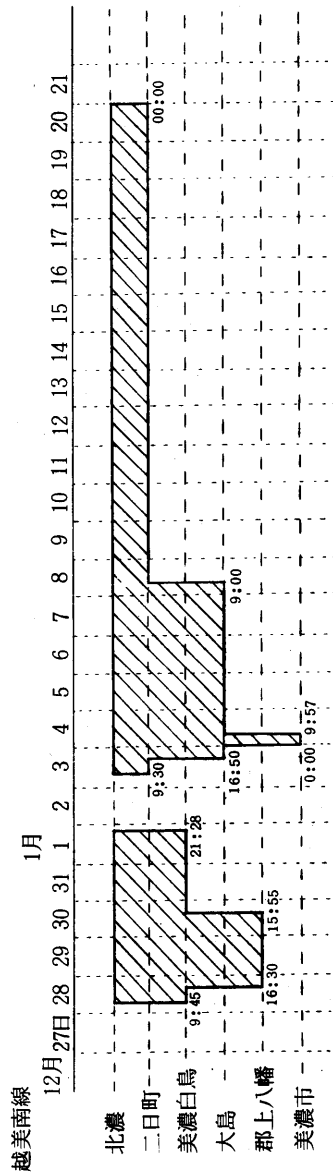
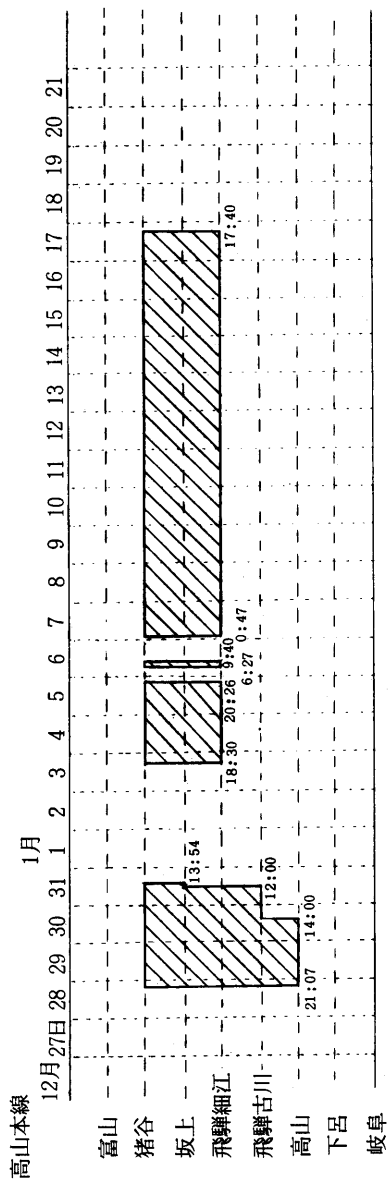


図2. 4. 10 56豪雪災害 自衛隊災害救助活動実施状況図




 運休区間を示す
 岐阜県 消防防災課資料による

図 2. 4. 11 国鉄の運行状況

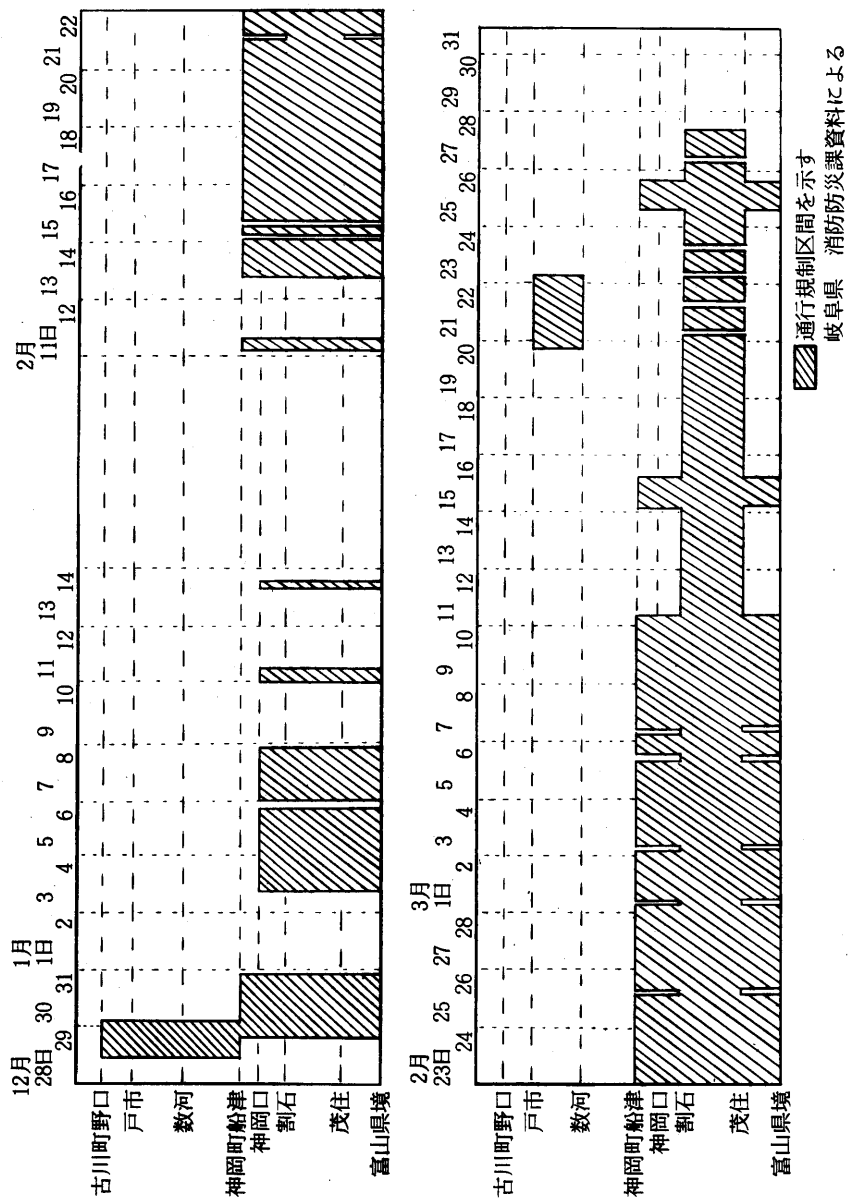
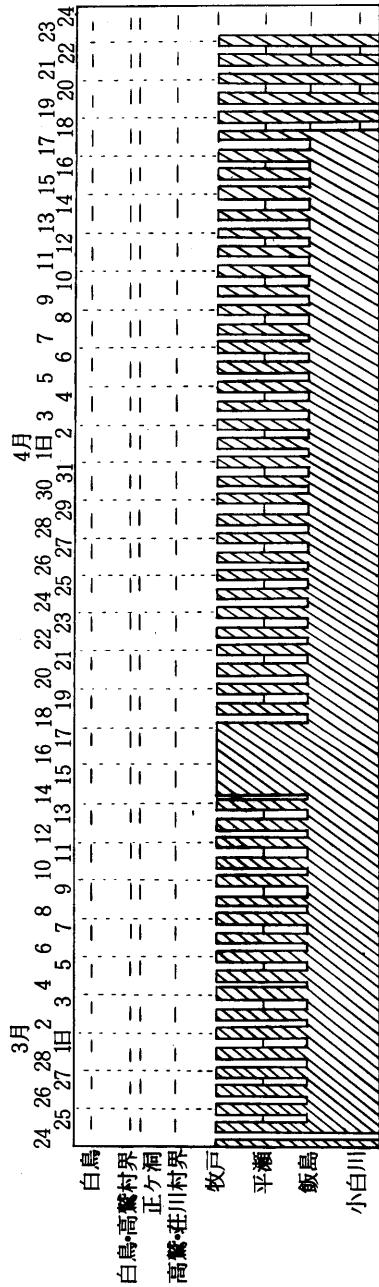
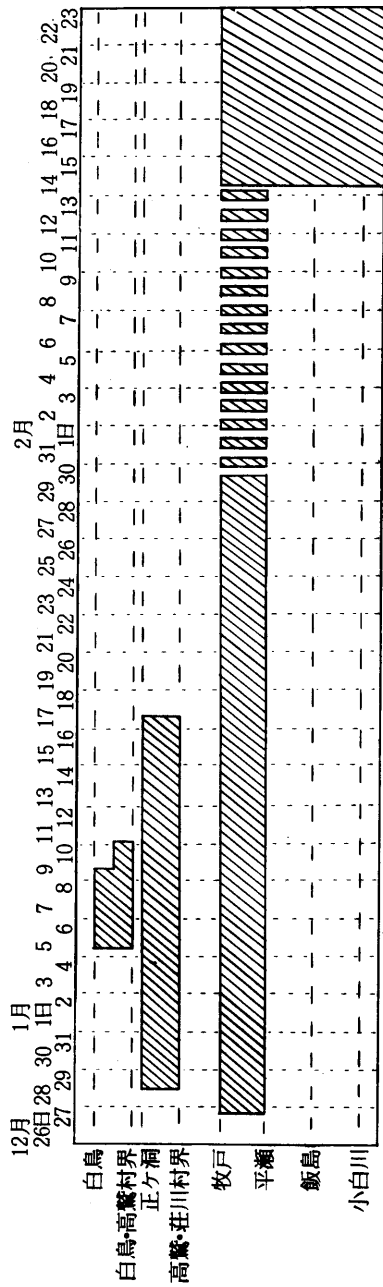


図 2. 4. 12 国道41号線の通行規制状況



通行規制区間を示す
岐阜県 消防防災課資料による

図2.. 4. 13 国道 156 号線の通行規制状況

2.5 滋 賀 県

滋賀県については現地調査をすることができなかったが、収集した資料により災害の状況を記す。

2.5.1 気 象 概 況

昭和55年12月末から56年1月末までの滋賀県の大雪は、概ね次の4区分となる。

- ① 12月27日から30日にかけて、西高東低の冬型の気圧配置が強くなり、輪島の500 mb 高度（5,500 m 附近）に -35°C ～ -41°C の寒気が流入し、滋賀県北部の山間部を中心に26日夜間から降雪が続き、29日から30日かけて県北部は全域大雪となった。

12月31日から1月1日にかけては、移動性の高気圧におおわれて、県北部の大雪は止んだ。

- ② 1月1日夜から3日にかけて低気圧が日本海を通過したあと、7日頃まで強い冬型の気圧配置が続いた。このため県北部は3日夜から大雪となった。このときの上空の寒気は①のときより弱かった。

- ③ 冬型の気圧配置は8日から10日にかけて弱まり、県北部の降雪は小康を保った。しかし11日から三陸沖の低気圧の発達で、強い冬型の気圧配置となった。このため県北部では全般に大雪となり、山間部では積雪が3 m をこえるところがでた。15日夜に気圧の谷が通過したあと西日本の上層の流れが西よりから北西に変わって、この大雪はひとまず終った。県北東部の最深積雪は大体この区間で出現している。

- ④ 20日から21日にかけて、西日本の上空を弱い気圧の谷が通過したあと、一時的に冬型の気圧配置が強まり、県北部の山間部で積雪が増加した。このあと降雪は弱まり、22日頃から北部山間部の積雪は減少しはじめた。これと対照的に、21日から22日にかけて、県の南東部に降雪があった。

県内各地の積雪の深さの一覧表を表 2.5.1 に、積雪の深さをグラフ化したものを図 2.5.1～2.5.5 に示し、参考として、38年豪雪時の木之元、マキノの降雪の深さ、積雪の深さを図 2.3.6, 7 に示す。

また、彦根地方気象台が発表した、注意報・警報等の気象情報を表 2.5.2 に示す。

表 2.5.1 に示した県内の積雪の深さで、余呉町中河内では1月23日に655 cm の積雪の深さを記録している。これは中河内小学校の観測値であるが、この集落は戸数30戸で、当日は隣家にも行けない程の積雪であったという。

2.5.2 豪雪対策本部の設置

滋賀県豪雪対策本部の設置は、昭和56年1月13日17時であり、同本部の解散は同年4月1日17時であった。

県内で豪雪対策本部を設置した市町は1市15町で、県内市町村総数50の32%になっている。市町豪雪対策本部設置状況は表 2.5.3 のとおりである。

2.5.3 政府の視察団

1月20日21日に原国土庁長官を団長とする政府調査団一行12名が県内の長浜市、余呉町、木之本町、高月町、湖北町、浅井町、伊吹町、山東町の被害状況を視察調査した。団員は国土庁、警察庁、科学技術庁、文部省、農林水産省林野庁、通商産業省、運輸省、建設省、自治省、消防庁の担当官で構成された。

2.5.4 人的被害

滋賀県内の豪雪による人的被害は、死者5人、重軽傷者90人である。死亡、負傷の原因別内訳および、被害の発生地名を表 2.5.4、5 に示す。

参考として、過去の大雪の今豪雪の被害の比較を表 2.5.6 に示す。

2.5.5 建築物の被害

滋賀県内の豪雪による建築物の被害を表 2.5.7 に示す。この表に示される被害と、表 2.5.9 に示される新潟県内の建築物の被害を比較すると、対象地域の広さ、積雪の深さ等を考慮すると、滋賀県内の建築物のり災の度合いが大きかったと推測される。

倒壊建物の大きなものとしては、浅井東小学校、湖北町速水小学校、長浜南郷里小学校の体育館、今津町勤労者体育センター、高月町の会社倉庫がある。これらはいずれも湖北地方に建てられていたもので、今豪雪で降積雪の多かった地域である。建物の形状は小学校の3体育館は鉄骨固定アーチ構造で、いわゆるカマボコ型屋根であった。スパン（間口間隔）は18～20mで、倒壊時の積雪深（屋根上）は浅井東小約360cm（1月15日倒壊）、速水小約160cm（1月17日倒壊）、南郷里小約120cm（1月18日倒壊）であった。3体育館の設計積雪深は75～100cmであったから、設計荷重を相当超えた積雪荷重があったことになる。これは屋根雪除雪をしようにも、交通混乱や、自宅の除雪などで、人夫やPTAに依存した人手が集められなかったためであったという。勤労者体育センターはRC一部鉄骨構造の変形寄棟でスパン30m、倒壊時積雪深70～100cm（1月21日倒壊）、会社倉庫は鉄骨構造の切妻型で、スパン18m、倒壊時積雪深230cmであった。

（屋根上の積雪深は、NIKKEI ARCHITECTURE 1981年5月25日号による）

2.5.6 公共施設の被害

建築物以外の公共施設の被害を表 2.5.8 に示す。

2.5.7 孤 立 集 落

豪雪のために連絡道路の通行が不可能となり孤立した集落は14に及び、636戸、2,246人が孤立した。最も孤立が多かったのは1月16日から1月20日までであった。集落孤立の状況を表2.5.9に示す。

2.5.8 消防団 自衛隊の出動

県内の消防職員の出動、消防団員の出動人員を表2.5.10、自衛隊の災害派遣状況を表2.5.11に示す。

2.5.9 主 な 被 害 額

豪雪による諸施設、農林水産、商工業関係の被害金額は表2.5.12に示す。
指定公共機関、指定地方公共機関の被害を表2.5.13に示す。

2.5.10 防 災 措 置

市町および各消防本部が実施した、防災措置および救援の概要を表2.5.14に示す。

謝 辞

この報文をまとめるに当って、次の機関およびそれに関係する方々から、資料を提供していただいたり、豪雪災害の実情を詳細に伺ったことを記して、謝意を表します。

気象庁彦根地方气象台、建設省近畿地方建設局滋賀国道工事事務所、滋賀県消防防災課、長浜市役所、浅井町役場、湖北町役場（順序不同）。

(滋賀県消防防災課の資料による)

		12月												11月												10月												9月												8月												7月												6月												5月												4月												3月												2月												1月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		30		40		50		60		70		80		90		100		110		120		130		140		150		160		170		180		190		200		210		220		230		240		250		260		270		280		290		300		310		320		330		340		350		360		370		380		390		400		410		420		430		440		450		460		470		480		490		500		510		520		530		540		550		560		570		580		590		600		610		620		630		640		650		660		670		680		690		700		710		720		730		740		750		760		770		780		790		800		810		820		830		840		850		860		870		880		890		900		910		920		930		940		950		960		970		980		990		1000		1010		1020		1030		1040		1050		1060		1070		1080		1090		1100		1110		1120		1130		1140		1150		1160		1170		1180		1190		1200		1210		1220		1230		1240		1250		1260		1270		1280		1290		1300		1310		1320		1330		1340		1350		1360		1370		1380		1390		1400		1410		1420		1430		1440		1450		1460		1470		1480		1490		1500		1510		1520		1530		1540		1550		1560		1570		1580		1590		1600		1610		1620		1630		1640		1650		1660		1670		1680		1690		1700		1710		1720		1730		1740		1750		1760		1770		1780		1790		1800		1810		1820		1830		1840		1850		1860		1870		1880		1890		1900		1910		1920		1930		1940		1950		1960		1970		1980		1990		2000		2010		2020		2030		2040		2050		2060		2070		2080		2090		2100		2110		2120		2130		2140		2150		2160		2170		2180		2190		2200		2210		2220		2230		2240		2250		2260		2270		2280		2290		2300		2310		2320		2330		2340		2350		2360		2370		2380		2390		2400		2410		2420		2430		2440		2450		2460		2470		2480		2490		2500		2510		2520		2530		2540		2550		2560		2570		2580		2590		2600		2610		2620		2630		2640		2650		2660		2670		2680		2690		2700		2710		2720		2730		2740		2750		2760		2770		2780		2790		2800		2810		2820		2830		2840		2850		2860		2870		2880		2890		2900		2910		2920		2930		2940		2950		2960		2970		2980		2990		3000		3010		3020		3030		3040		3050		3060		3070		3080		3090		3100		3110		3120		3130		3140		3150		3160		3170		3180		3190		3200		3210		3220		3230		3240		3250		3260		3270		3280		3290		3300		3310		3320		3330		3340		3350		3360		3370		3380		3390		3400		3410		3420		3430		3440		3450		3460		3470		3480		3490		3500		3510		3520		3530		3540		3550		3560		3570		3580		3590		3600		3610		3620		3630		3640		3650		3660		3670		3680		3690		3700		3710		3720		3730		3740		3750		3760		3770		3780		3790		3800		3810		3820		3830		3840		3850		3860		3870		3880		3890		3900		3910		3920		3930		3940		3950		3960		3970		3980		3990		4000		4010		4020		4030		4040		4050		4060		4070		4080		4090		4100		4110		4120		4130		4140		4150		4160		4170		4180		4190		4200		4210		4220		4230		4240		4250		4260		4270		4280		4290		4300		4310		4320		4330		4340		4350		4360		4370		4380		4390		4400		4410		4420		4430		4440		4450		4460		4470		4480		4490		4500		4510		4520		4530		4540		4550		4560		4570		4580		4590		4600		4610		4620		4630		4640		4650		4660		4670		4680		4690		4700		4710		4720		4730		4740		4750		4760		4770		4780		4790		4800		4810		4820		4830		4840		4850		4860		4870		4880		4890		4900		4910		4920		4930		4940		4950		4960		4970		4980		4990		5000		5010		5020		5030		5040		5050		5060		5070		5080		5090		5100		5110		5120		5130		5140		5150		5160		5170		5180		5190		5200		5210		5220		5230		5240		5250		5260		5270		5280		5290		5300		5310		5320		5330		5340		5350		5360		5370		5380		5390		5400		5410		5420		5430		5440		5450		5460		5470		5480		5490		5500		5510		5520		5530		5540		5550		5560		5570		5580		5590		5600		5610		5620		5630		5640		5650		5660		5670		5680		5690		5700		5710		5720		5730		5740		5750		5760		5770		5780		5790		5800		5810		5820		5830		5840		5850		5860		5870		5880		5890		5900		5910		5920		5930		5940		5950		5960		5970		5980		5990		6000		6010		6020		6030		6040		6050		6060		6070		6080		6090		6100		6110		6120		6130		6140		6150		6160		6170		6180		6190		6200		6210		6220		6230		6240		6250		6260		6270		6280		6290		6300		6310		6320		6330		6340		6350		6360		6370		6380		6390		6400		6410		6420		6430		6440		6450		6460		6470		6480		6490		6500		6510		6520		6530		6540		6550		6560		6570		6580		6590		6600		6610		6620		6630		6640		6650		6660		6670		6680		6690		6700		6710		6720		6730		6740		6750		6760		6770		6780		6790		6800		6810		6820		6830		6840		6850		6860		6870		6880		6890		6900		6910		6920		6930		6940		6950		6960		6970		6980		6990		7000		7010		7020		7030		7040		7050		7060		7070		7080		7090		7100		7110		7120		7130		7140		7150		7160		7170		7180		7190		7200		7210		7220		7230		7240		7250		7260		7270		7280		7290		7300		7310		7320		7330		7340		7350		7360		7370		7380		7390		7400		7410		7420		7430		7440		7450		7460		7470		7480		7490		7500		7510		7520		7530		7540		7550		7560		7570		7580		7590		7600		7610		7620		7630		7640		7650		7660		7670		7680		7690		7700		7710		7720		7730		7740		7750		7760		7770		7780		7790		7800		7810		7820		7830		7840		7850		7860		7870		7880		7890		7900		7910		7920		7930		7940		7950		7960		7970		7980		7990		8000		8010		8020		8030		8040		8050		8060		8070		8080		8090		8100		8110		8120		8130		8140		8150		8160		8170		8180		8190		8200		8210		8220		8230		8240		8250		8260		8270		8280		8290		8300		8310		8320		8330		8340		8350		8360		8370		8380		8390		8400		8410		8420		8430		8440		8450		8460		8470		8480		8490		8500		8510		8520		8530		8540		8550		8560		8570		8580		8590		8600		8610		8620		8630		8640		8650		8660		8670		8680		8690		8700		8710		8720		8730		8740		8750		8760		8770		8780		8790		8800		8810		8820		8830		8840		8850		8860		8870		8880		8890		8900		8910		8920		8930		8940		8950		8960		8970		8980		8990		9000		9010		9020		9030		9040		9050		9060		9070		9080		9090		9100		9110		9120		9130		9140		9150		9160		9170		9180		9190		9200		9210		9220		9230		9240		9250		9260		9270		9280		9290		9300		9310		9320		9330		9340		9350		9360		9370		9380		9390		9400		9410		9420		9430		9440		9450		9460		9470		9480		9490		9500		9510		9520		9530		9540		9550		9560		9570		9580		9590		9600		9610		9620		9630		9640		9650		9660		9670		9680		9690		9700		9710		9720		9730		9740		9750		9760		9770		9780		9790		9800		9810		9820		9830		9840		9850		9860		9870		9880		9890		9900		9910		9920		9930		9940		9950		9960		9970		9980		9990		10000		10010		10020		10030		10040		10050		10060		10070		10080		10090		10100		10110		10120		10130		10140		10150		10160		10170		10180		10190		10200		10210		10220		10230		10240		10250		10260		10270	

○印は当該地の極値

	2																																									
	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21		23	24	25	26	27	28	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
春 照	85	70	57		50	36	28	15	15					8	5	12	20	31	35		30	15	8	5	3	3		0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0				
伊 吉	193	177	168		155	145	142	140	138	128	125	144	170	190	185					162	152	142	137	135	133			125	124	119	115	109	97		92	80	78	75	67			
吹 甲	津 原	400	390	370	360	360	350	340	330	320	310	330	360	380	380				370	360	350	340	340	340			310	290	290	280	280	240	280	270	260	250	240					
上 平 寺	165	140	135		110	110	100	95	95	85	80	100	110	135	142				135	125	115	90		86			75	65	60	60	58	50	30	25	20	15	0					
長 岡	105	91	81		66	60	55	45	45	37	31	36	45	65	65				45	35	30	25	20		5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
山 岡	97	80	73		73	40	39	30	30	28	23	27	50	70	76				50	45	30	18	14	10		8	6	5	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0				
長 浜 市 平 方 町	40	30	25		10	0	0	0	0	0	0	0	13	20	20				10	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
虎 姫 町 五 村	70	63	57		40	29	26	20	21	13	6	11	38	45	41				25	21	12	6	2	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
高 山	170	155	150		135	120	120	100	100	90	80	100	125	133	130				120	105	100	90	90		90		75	73	70	70	67	60	60	50	47	40	38					
津 生 町	120	100	95		85	75	60	55	50	40	25	35	60	90	90				80	65	60	55	45	40		30	30	30	25	25	25	20	20	18	18	8						
内 保	85	80	70		60	55	55	55	55	40	35	50	58	70	70				50	45	45	40	35	35		20	15	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
湖 北 町 遠 水	85	80	77		66	55	55	45	44	39	34	45	65	75	67				53	45	40	35	30	29		20	16	13	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0				
高 日 町 麓 岸 寺	85	80	77		83	70	70	63	62	54	50	60	87	96	100				78	71	62	56	50	49		40	38	38	33	33	18	15	8	0	0	0	0	0				
木 之 本	110	102	96		190	180				160										185	170	170				160	150		150	120	110		85									
之 野	230	215	210		190	170	165	160	160	145	135	155	195	225	225				205	195	185	180	165	165		155	150	150	140	135	130	125	120	110	100	100						
金 居 原	235	230	210		190	170	165	160	160	145	135	155	195	225	225				205	195	185	180	165	165		155	150	150	140	135	130	125	120	110	100	100						
中 之 郷	142	140	128		120	105	100	98	98	92	88	110	140	150	150				118	110	100	98	90	90		90	80	75	75	68	60	58	50	43	38	30	22					
余 瀬	188	180	175		170	170		155	150	150									200	195	187	175	175		165	160	160	159	159	155	155	150	140	136	134	130						
中 河 内	415	400	395		375		375	363	363	356									379	377	365	357	355	360		350	350	355	350	345	320	320	290	265	255	248						
町 菅 並	184	165	158		145	147	143	140	140	132	130	160	190	225	230				210	200	180	165	155	160		143	140	138	130	125	123	113	108	100	90	80						
西 井 堀	115	110	100		95	90	89	82	81	79	74	98	127	140	130				120	100	90	90	85	80		72	70	69	67	59	54	43	35	28	22	15						
今 津	130	122	118		104	96	94	88	88	83	80	100	132	142	140				118	110	100	93	88	85		80	76	76	70	66	62	62	50	45	34	26						
浅 井 大	141	120	110		95	95	85	78	75	70	68	85	95	110	115				110	95	80	75	75	70		65		65	63	60	50	45	40	35	30	25						
津 今	50	43	30		25	20	20	15	12	0	0	0	20	55	67				40	30	20	15	10	8		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
津 坂	130	90	60		40	40	40	35	35	28	20	35	49	75	95				95	95	85	70	65	60		50	50	58	40	35	25	28	20	18	15	13						
町 保	80	70	65		50	50	50	40	35	15	10	35	45	75	85				75	60	55	40	30	30		50	20	30	20	15	10	10	10	5	0							
煙 口	300	290	275		250	250	240	234	230	220	220	260	290	300	320				300	275	260	250	245	245		230	223	230	220	218	200	192	185	180	170	160						
市 場	65	60	58		50	50	45	40	38	35	33	35	30	43	60				50	40	38	30	25	20		15	13	20	12	10	5	2	0	0	0	0	0					
朽 木	140	130	123		110	113	110	100	100	100	90	100	100	78	110	120				110	105	105	105	108	100		98	105	118	108	98	87	81	79	75	69	60					
安 曇 川 町 田 中	5	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10	30				0	0	0	0	0		0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

表 2. 5. 2 彦根地方気象台が発表した気象情報一覧

年 月 日	種 別	発表または解除時間	記 事
昭 5 5. 1 2. 2 8	強風注意報	1 1 時 0 0 分	
" 2 9	強風, 異常乾燥注意報	1 1 時 1 0 分	更 新
" 2 9	強風注意報	2 0 時 1 5 分	同 上
	大雪注意報 (北部)		
	異常乾燥注意報 (南部)		
" 3 0	大雪, なだれ注意報 (北部)	0 8 時 0 0 分	同 上
	異常乾燥注意報 (南部)		
" 3 0	なだれ注意報 (北部)	1 4 時 5 0 分	同 上
" 3 0	大雪, なだれ注意報 (北部)	2 1 時 4 0 分	同 上
" 3 1	なだれ注意報 (北部)	0 6 時 4 0 分	同 上
昭 5 6. 1. 1	強風注意報	2 0 時 5 0 分	同 上
" 2	なだれ注意報 (北部)	1 5 時 5 5 分	同 上
" 3	なだれ注意報 (北部)	1 0 時 0 5 分	同 上
" 3	風雪注意報 (北部)	1 1 時 4 5 分	同 上
	強風注意報 (南部)		
" 4	大雪, なだれ注意報 (北部)	0 9 時 0 0 分	同 上
	異常乾燥注意報 (南部)		
" 5	なだれ注意報 (北部)	0 6 時 4 0 分	同 上
	異常乾燥注意報 (南部)		
" 5	大雪, なだれ注意報 (北部)	1 4 時 2 0 分	同 上
	強風注意報		
" 6	大雪, なだれ注意報 (北部)	0 9 時 0 5 分	同 上
	異常乾燥注意報 (南部)		
" 7	大雪警報※ 1, 強風注意報	1 0 時 2 5 分	同 上
	なだれ注意報 (北部)		
" 7	大雪, なだれ注意報 (北部)	1 6 時 5 0 分	同 上
	強風注意報		
" 8	なだれ注意報 (北部)	0 5 時 3 5 分	同 上

年 月 日	種 別	発表または解除時間	記 事
昭 5 6. 1. 1 0	なだれ注意報（北部）	1 2 時 5 5 分	更 新
	風雪注意報		
" 1 1	大雪，なだれ注意報（北部）	0 7 時 0 0 分	同 上
	強風注意報		
" 1 1	大雪警報※ ² ，強風注意報	1 2 時 0 0 分	同 上
	なだれ注意報（北部）		
" 1 1	大雪情報第 1 号	1 6 時 4 5 分	
" 1 1	大雪，なだれ注意報（北部）	2 0 時 5 0 分	更 新
	強風注意報		
" 1 3	大雪，なだれ注意報（北部）	0 8 時 5 0 分	同 上
" 1 4	大雪警報※ ³ （北部）	0 0 時 2 5 分	同 上
	なだれ注意報（北部）		
	強風注意報		
" 1 4	大雪情報第 1 号	1 0 時 1 0 分	
" 1 4	大雪，なだれ注意報（北部）	1 3 時 1 0 分	更 新
" 1 4	大雪情報第 2 号	1 6 時 4 0 分	
" 1 4	なだれ注意報（北部）	2 1 時 4 0 分	更 新
" 1 5	なだれ注意報（北部）	1 9 時 3 0 分	同 上
	大雪，強風注意報		
" 1 6	なだれ注意報（北部）	1 7 時 3 0 分	同 上
	大雪，強風注意報		
" 1 7	なだれ注意報（北部）	1 4 時 2 0 分	同 上
" 2 1	なだれ注意報（北部）	2 1 時 1 5 分	同 上
	大雪，強風注意報		
" 2 2	なだれ注意報（北部）	1 1 時 2 0 分	同 上
" 2 4	なだれ注意報（北部）	1 1 時 3 0 分	同 上

（彦根地方気象台 災害時自然現象報告書 1981年第1号による）

表 2. 5. 3 市町豪雪対策本部設置状況

災 害 対 策 本 部 設 置 状 況		
市 町 名	設 置	閉 鎖
○長 浜 市 豪雪対策本部	1. 1 3	3. 2 3
○山 東 町 "	1. 1 3	2. 1 6
○伊 吹 町 "	1. 1 3	3. 3 1
○米 原 町 "	1. 1 6	2. 9
○近 江 町 雪害対策本部	1. 1 4	2. 6
○浅 井 町 豪雪対策本部	1. 1 3	3. 3 1
○虎 姫 町 "	1. 1 4	2. 2
○湖 北 町 "	1. 1 3	2. 2
○び わ 町 "	1. 1 4	2. 1 7
○高 月 町 "	1. 1 3	3. 3 1
○木之本町 "	1. 8	3. 3 1
○余 呉 町 "	1. 1 1	4. 2 0
○西浅井町 "	1. 1 1	3. 3 1
○マキノ町 "	1. 1 2	3. 7
○今 津 町 雪害対策本部	1. 1 3	3. 6
○新 旭 町 "	1. 2 2	2. 2 0
計 1 6 市町		

○印 基本法第23条適用

(滋賀県消防防災課の資料による)

表 2. 5. 4 死傷者内訳 (滋 賀 県)

原 因	死 者 数 (人)	負 傷 者 数 (人)
な だ れ		
屋根雪除雪中の転落	2	9 0
落下屋根雪の下敷	1	
道路雪中の交通事故		
用水等への転落	1	
除雪作業等過労		
そ の 他	1	
合 計	5	9 0

(滋賀県消防防災課調)

表 2. 5. 5 人的被害発生地名

市町村名	人 的 被 害 (人)		
	死 者	重 傷 者	軽 傷 者
永 源 寺 町			
多 賀 町			
長 浜 市		4	3
山 東 町		2	3
伊 吹 町		3	2
米 原 町		3	1
近 江 町		1	1
浅 井 町	1	9	7
虎 姫 町		1	2
湖 北 町	2		
び わ 町			2
高 月 町		3	14
木 之 本 町		6	8
余 呉 町	1	5	7
西 浅 井 町		2	
マ キ ノ 町			
今 津 町	1		
朽 木 村			
安 曇 川 町			
高 島 町			
新 旭 町		1	1
合 計	5	40	51

(滋賀県消防防災課の資料による)

表 2. 5. 6 56年豪雪と過去の大雪の被害の比較

災害名 項 目		昭和 9 年 1～2月の 豪 雪	昭和11年 1～2月の 豪 雪	昭和38年 1月の豪雪	昭和43年 1～2月の 豪 雪	昭和52年 2月の豪雪	昭和56年 豪 雪
人的被害	死 者	6	6		5	1	5
	重 傷 者		} 2		4	11	40
	軽 傷 者				3	25	51
住家被害	全 壊	3	38	3		3	14
	半 壊	2	38	8	1	5	65
	一部損壊			1,285		1,028	4,112
	床上浸水				4		
	床下浸水				13		558
	そ の 他	埋没 3	埋没 4				
各地の最深積雪量 cm	彦 根	55	85	44	20	44	35
	吉 槻		222	160	120		350
	木 之 本	170	190	101	79	130	200
	中 河 内	438	560	360			655
	中 ノ 郷			165	150		260
	柳 ケ 瀬					250	440
	大 津	12	41	6	2	—	3

(滋賀県消防防災課の資料による)

表 2. 5. 7 建物の被害（滋賀県）

市町村名	住家被害（棟）				り災者		非住家被害		公立 文施設
	全壊	半壊	一部 損壊	床下 浸水	世帯	人数	公 建	共 他	
永源寺町			1						
多賀町			39				2	1	
長浜市	1		433	9	1	6		52	12
山東町		5	220	4	5	19	14	99	3
伊吹町		2	305		2	3	5	45	9
米原町			147						7
近江町			101	98			5	22	2
浅井町	4	15	771	2	18	45	52	505	29
虎姫町		1	122		1	3	1	85	
湖北町			217				9	128	5
びわ町			76				2	16	1
高月町		21	450	410	21	52	1	291	1
木之本町	2	11	654	13	12	38	20	12	8
余呉町	7	10	357		17	36	29	305	6
西浅井町			87	22			6	46	3
マキノ町			65				2	83	
今津町			40				7	25	
朽木村									
安曇川町									
高島町			6				1	1	
新旭町			21					12	
県計	14	65	4,112	558	77	202	156	1,728	86

（滋賀県消防防災課の資料による）

表 2. 5. 8 公共施設の被害（滋賀県）

市 町 村 名	道路損壊	橋りょう	河 川	がけ崩れ	水道施設
永 源 寺 町					
多 賀 町					10
長 浜 市			3		19
山 東 町					
伊 吹 町	3				
米 原 町					
近 江 町					
浅 井 町			2		13
虎 姫 町			1		
湖 北 町			1	2	15
び わ 町					
高 月 町					
木 之 本 町	4	1	1		
余 呉 町			5	20	
西 浅 井 町			3		6
マ キ ノ 町				1	15
今 津 町					
朽 木 村					
安 曇 川 町					
高 島 町					
新 旭 町					
県 計	7	1	16	23	78

（滋賀県消防防災課の資料による）

表 2. 5. 9 集落孤立の状況

集 落 名	戸 数	人 数	期 間
余呉町 菅 並	6 3 戸	2 2 4 人	1 2 月 2 7 日 ～ 1 月 2 8 日
“ 小 原	1 戸	2 人	1 月 1 3 日 ～ 3 月 2 日
“ 田 戸	4 戸	7 人	1 2 月 2 7 日 ～ 3 月 3 日
“ 鷺 見	5 戸	1 0 人	1 2 月 2 6 日 ～ 3 月 2 3 日
“ 椿 坂	3 6 戸	1 4 5 人	1 月 1 3 日 ～ 1 月 2 0 日
“ 中河内	5 8 戸	1 9 0 人	1 2 月 2 9 日 ～ 3 月 1 8 日
伊吹町 甲津原	6 2 戸	2 0 2 人	1 月 1 6 日 ～ 1 月 2 0 日
“ 曲 谷	3 8 戸	1 2 0 人	1 月 1 6 日 ～ 1 月 2 0 日
“ 甲 賀	3 4 戸	1 2 1 人	1 月 1 6 日 ～ 1 月 2 0 日
木之本町 鋸 原	1 2 4 戸	4 4 9 人	1 月 1 5 日 ～ 1 月 2 1 日
“ 杉 野	1 2 2 戸	4 9 5 人	1 月 1 5 日 ～ 1 月 2 0 日
“ 杉 本	3 3 戸	1 0 8 人	1 月 1 5 日 ～ 1 月 2 0 日
“ 大 見	3 9 戸	1 1 7 人	1 月 1 6 日 ～ 1 月 2 4 日
“ 音 羽	1 7 戸	5 6 人	1 月 1 6 日 ～ 1 月 2 0 日
計 1 4 集落	6 3 6 戸	2, 2 4 6 人	

(滋賀県消防防災課の資料による)

表2. 5. 10 消防団等の出動（延人員）

市 町 村 名	消防職員出動	消防団員出動
永 源 寺 町		
多 賀 町		
長 浜 市		8 7 0
山 東 町		1 0 0
伊 吹 町		1,2 8 1
米 原 町		1,0 6 0
近 江 町		5 2 5
浅 井 町		6 8 0
虎 姫 町		1 6 0
湖 北 町		5 1 6
び わ 町		
高 月 町		4,2 3 6
木 之 本 町		1,8 9 2
余 呉 町		1,5 0 0
西 浅 井 町		8 1 3
マ キ ノ 町		
今 津 町		
朽 木 村		
安 曇 川 町		
高 島 町		
新 旭 町		
県 計	5 7 6	1 3,6 3 3

(滋賀県消防防災課の資料による)

表 2. 5. 11 自衛隊の派遣状況 (滋賀県)

(要請依頼者)	(要請日時)	(派遣理由)	(派遣場所)	(出動人員)	(装備・機材等)
多賀町長	1/14 11:05	緊急患者輸送	犬上郡多賀町保月	34	ヘリコプター4機, 車両2台
余呉町長	1/15 13:05	緊急患者輸送	伊香郡余呉町中河内	8	ヘリコプター1機, 車両1台
余呉町長	1/17 04:30	緊急物資輸送	伊香郡余呉町鷺見	8	ヘリコプター3機
木之本町長	1/17 13:05	緊急患者輸送	伊香郡木之本町杉野	12	ヘリコプター1機, 車両1台
木之本町長	1/18 11:00	緊急患者輸送	伊香郡木之本町鋸原	6	ヘリコプター1機, 車両1台
余呉町長	1/21 09:45	緊急物資輸送	伊香郡余呉町中河内	6	ヘリコプター2機, 車両1台
余呉町長	1/24 09:45	緊急患者輸送	伊香郡余呉町中河内	5	ヘリコプター1機
余呉町長	1/24 14:00	緊急医療器具 陸路輸送	伊香郡余呉町中河内	20	車両3台
余呉町長	1/24 20:20	緊急患者輸送	伊香郡余呉町中河内	48	車両6台
知事, 木之本町長	1/21 07:48	道路啓開	伊香郡余呉町, 木之本町	3,661	ドーザー等重機343台, 車両458台
高月町長	1/22 14:00	道路啓開	伊香郡高月町	106	除雪用重機2台, 車両12台
合計	要請回数 11回			3,914	ヘリコプター13機, 車両485台, 重機類345台

(滋賀県消防防災課の資料による)

表 2. 5. 12 滋賀県内の主な被害額一覧

(単位：千円)

市町村名	公立文教 施設	農林水産 業施設	公共土木 施設	その他の 公共施設	その 他の				被害総額	除雪費用 道路のみ掲上
					農産被害	林産被害	畜産被害	水産被害		
日野町						2,876			2,876	
水源寺町					1,230	161,429			162,659	2,215
彦根町						12,720			12,720	2,381
愛東町						18,242			18,242	
湖東町						11,747			11,747	
秦荘町						9,972			9,972	
多賀町		2,500		950	113,239				116,689	3,547
長浜市	85,150	1,937	20,000	38,975	25,776	4,200		2,500	185,728	36,400
山東町	16,400	3,600	3,750	9,500	10,562	39,215		25,670	112,447	14,600
伊吹町	3,970	39,700	2,000	1,000	66,760	126,154		956,790	1,198,374	8,100
米原町	20,740	900	1,800		9,930	27,095		1,800	62,265	9,700
近江町	2,800	570	500	1,500	9,750	10,799		4,500	30,419	4,060
浅井町	139,570	82,237	10,600	10,550	32,054	111,480		20,500	436,441	13,700
虎姫町		20,120		3,500	28,328			5,000	56,948	12,900
湖北町	121,028	23,700	800	5,200	67,002	4,990		25,000	247,720	10,300
びわ町	780	1,315	2,200	360	48,034				54,889	8,600
高月町	3,000	47,000	3,400	6,000	78,414	6,692		3,000	147,506	22,700
木之本町	138,942	36,190	19,100	99,410	63,200	123,880		7,000	492,722	19,200
余呉町	11,400	23,720	5,500	13,980	17,450	679,000		13,500	768,550	16,300
西浅井町	6,500	66,861	21,182	5,190	1,600	80,021	117		185,653	13,800
マキノ町	7,010	2,976	1,750	2,780	4,880	117,991	2,000	5,000	157,357	21,400
今津町	250	1,700	2,780	273,700	140,220	133,440	200		560,220	10,200
朽木村			3,700		246,600				250,300	9,800
安曇川町		93			2,918	4,521			7,532	40
高島町				500	14,975	13,524			28,999	2,692
新旭町		33,175	250					6,000	39,425	3,576
市町村計	557,540	388,294	99,312	473,095	623,083	2,059,827	2,317	18,500	5,358,400	246,311
県管理分	222,768		376,343	15,906					615,017	317,518
合計	780,308	388,294	475,655	489,001	623,083	2,059,827	2,317	18,500	5,973,417	563,829

(滋賀県消防防災課の資料による)

表2. 5. 13 指定公共機関・指定地方公共機関の被害

機 関 名	被 害 の 概 要	被 害 額 (千円)	備 考 (主な被害地など)
農林水産省大阪営林局 大津営林署 敦賀営林署	立木の折損等 308 m ² " 倒伏等 381 ha 林地崩壊 0.45 ha 林道路肩等 5ヶ所 建物1ヶ所	2682 24953 40500 50078 計 118213	余呉町, 木之本町, マキノ町, 今津町 高島町, 伊吹町, 多賀町, 土山町
建設省近畿地方建設局 滋賀国道工事事務所	防 護 柵 損壊 600 m	8,000	除雪費用等 256,500 千円
日本国有鉄道 新幹線総局	県内分として分類することは困難 ○運休本数 26本		除雪費用 47,520 千円 電車床下雪落し費用 32,598 千円
金沢鉄道管理局 名古屋 大阪	北陸本線, 米原以北 1月14日から1月16日まで 瀬西線近江今津以北 1月11日から1月21日まで 東海道本線, 米原以東 1月14日から1月15日朝まで 全面運行規制		金鉄局全体として, 除雪770百万円 施設修繕その他1,694百万円の被害
日本放送協会 大津放送局	テレビ共同受信施設の アンテナ破損 幹線同軸ケーブルの切断 支柱の倒壊など	約 4,500	
日本道路公団 名古屋管理局	閉鎖 { 名神 16回 62hr 15min 北陸 9回 75hr 20min 栗東管内 名神 11回 35hr 33min }		雪水対策費用として使用 彦根管内 517,000 千円 栗東管内 560,000 千円
日本電信電話公社 滋賀電気通信部	障害件数 1,700件 設備被害総額	87,900	彦根局, 長浜局, 今津局, 木之本局
関西電力株式会社 滋賀支店	供給支障14回線 (2,618戸の停電)		

表 2. 5. 14 市町および各消防本部が実施した防災措置

機 関 名	具 体 的 措 置 と 特 徴 的 な 被 害
永 源 寺 町	積雪は政所で90cm(1月24日), 君ヶ畑133cm(1月13日)となった。又, 山林部では最高160cm程度の積雪となった。生活道路除雪に町職員で編成する, 除雪待機作業班を22班組織し, 午前4時から出動, 除雪作業に当たる一方, 通学路等については, 地元建設業者と除雪に関する契約を締結し, 万全を期した。被害としては, 林山地に大きな被害を見た。
多 賀 町	住家被害(一部損壊39棟)は積雪の少ない平地で多く, 山間部では屋根の雪降しを十分行った事で比較的少なかった。町としては, 降雪の都度, 消火栓上の除雪等水利確保に努めた。
近 江 町	1月24日~2月6日の間, 雪積対策本部を設置, 各自治区に調査協力職員1名を派遣し, 区長と協力し, 被害発生状況調査, 被害防止の指導, 本部との連絡に努めさせた。 ○地域住民総出で, 生活道路, 通学道路, 防火施設の除雪, 及び母子家庭, 独居老人家屋の除雪を行った。 ○町内幹線道路については必要に応じ県道についても除雪を行った。 特記すべき災害としては, 除排雪を河川に行ったため, はん濫, 床下浸水した。
長 浜 市	1月13日~3月23日 豪雪対策本部の設置 国, 県に対する財政援助の要望を行う。 特記すべき災害 1月18日早朝, 南郷里小学校の体育館, 倒壊
浅 井 町	1月13日~3月31日の間, 豪雪対策本部を設置した。これは除雪班, 被害調査班, 流通対策班, 生活環境班, 消防救急班, 施設対策班, 教育対策班, 福祉対策班で構成し, それぞれの任務に町職員, 消防団員をつけ, 応急対策に当たった。 特記すべき災害 東小学校体育館, 倒壊
湖 北 町	1月13日~2月2日の間, 豪雪対策本部を設置, 応急対策に当たった。
高 月 町	1月13日~2月2日の間, 豪雪対策本部を設置, 町公共施設と独居老人宅等の除雪を行った。 特記すべき災害としては, 生活道路確保のため, 河川へ除排雪したため, 住家に床下浸水の被害を出した。

機 関 名	具 体 的 措 置 と 特 徴 的 な 被 害
余 呉 町	<p>1月11日～4月20日の間、豪雪対策本部を設置し、学校等教育保育施設の休校園を措置、幹線道路の確保、医療対策、通勤対策を推進することを計画する。</p> <p>○孤立地区への対応</p> <p>自衛隊派遣により早期に孤立解消ができた。又、区長に対して定時の通話を行い、住民の状況をは握した。人員 物資の輸送についても、急患輸送4回、物資空輸2回、徒歩搬送2回を行った。電話、電気の途絶がなかったのは、電々公社、関西電力の努力の賜ものであった。</p> <p>○医療対策</p> <p>急患の発生については、区長から本部に連絡する旨を指示し、自衛隊の出動2件、その他3件であった。又、医療薬品についても輸送を行った。</p> <p>○その他、公共建物、文教施設の除排雪、母子、生保、老人家庭への除排雪、火災等の防ぎょ等を行うと共に、雪崩に対して危険地付近に重機を配備するなどした。</p>
西 浅 井 町	<p>1月11日～3月31日の間、豪雪対策本部を設置、宿直員を5名として24時間体制で各集落からの被害報告に対応した。</p> <p>一人暮らしの老人については、名簿を作成し、除雪対策に当たり、文教施設についても、その設計事務所と連絡をとり、耐積雪許容量をは握し、被害を未然に防止した。</p> <p>特記すべき被害 山中牧場の畜舎全壊、肉用牛348頭を直前に緊急避難させた。</p>
マ キ ノ 町	<p>1月12日～3月7日の間、豪雪対策本部を設置、全町を挙げて、災害予防、応急対策を実施した。</p>
今 津 町	<p>1月13日～3月6日の間、雪害対策本部を設置、独居老人世帯の状況をは握し、公共施設、文教施設とあわせ、除雪を推進した。</p> <p>特記すべき災害としては、今津勤労者体育センターの崩壊があげられる。</p>
新 旭 町	<p>1月22日～2月20日の間、雪害対策本部を設置し、次の事項について災害対策を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各部落区長に対し、被害状況の調査報告依頼 ○町内主要建物、主要道路の除排雪作業 ○独居老人、身障者、母子家庭等の世帯に対する、雪害対策配慮

機 関 名	具 体 的 措 置 と 特 徴 的 な 被 害
長浜市消防本部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北郷里小学校体育館の除雪救援出動 ○ 消防水利確保については、5個班を編成して1月12日～15日、1月24日～2月2日の間で行った。 ○ 防火対象物権原者に消防設備、危険物施設に対する、雪害予防対策に万全を期すよう指導した。 ○ 都市ガス、LPガス業者に雪害によるガス管の損傷、ガスボンベの転倒による事故防止に協力を要請し、広報活動を実施した。
坂田郡消防本部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 管内道路状況のは握と、本部近隣の幹線道路の除雪と融雪剤の散布を行う。 ○ 消防団に対して水利確保と、消防車、ポンプの整備点検について指導した。 ○ 四輪駆動車を救急車の代車として対処した。 ○ その他、プロパンガスの事故防止と火災発生の防止策、消防水利確保の急告チラシの配布を行った。 ○ 本部待機者の増員を図り、災害発生に対処した。
伊香郡消防本部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各町豪雪対策本部の設置と合わせ、消防本部、署に雪害対策本部を設置各町と連絡を密にする。 ○ 職員の本部待機員の増員を行い、防災広報に力点をおく。特にプロパンガスボンベの雪害事故について、注意喚起を行った。 ○ 公共建物の除雪作業を行い、自衛隊出動用のヘリポートを訓練場に設置した。 ○ 消火栓等の消防水利の点検と消防車、ポンプ等の日常整備を各団に指示する。
東浅井郡消防本部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 雪で通行が困難なため、有線放送の利用と消防団関係への文書配布を行い、広報面に力を入れた。 ○ 1月7日から2月15日まで特別勤務体制をとり、職員は比較的、積雪量の少ない地域の者が、非番、公休を問わず本部待機、又、日勤者の当直勤務を実施した。 <p>特記すべきこととしては、屋根の雪降り作業中の人身事故等が多発する中で、幹線道路の降雪による交通渋滞、車両の走行不能、困難地区への出動で、救急出場1件あたりの所要時間は、通常の3～5倍になったことである。</p>

機 関 名	具 体 的 措 置 と 特 徴 的 被 害
湖西広域消防本部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各集落に対し、消火栓の周囲の除雪を呼びかけ、又、職員に各集落の消防水利の除雪を割り当てて実施させた。 ○ 救急患者収容手段として、雪上機を購入し、特別救助隊を編成した。 <p>特記すべきこととして、管内の北部と南部との積雪の差は非常に大きかったことである。</p>

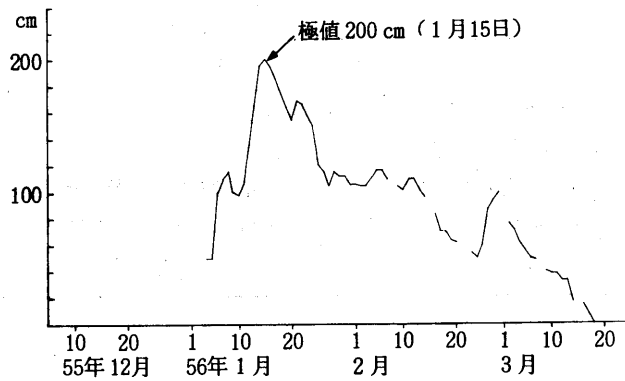


図 2. 5. 1 昭和55年～56年，木之本町・木之本における積雪の深さ

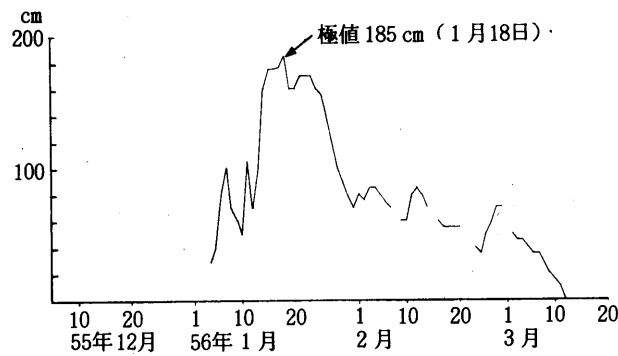


図 2. 5. 2 昭和55年～56年，湖北町速水における積雪の深さ

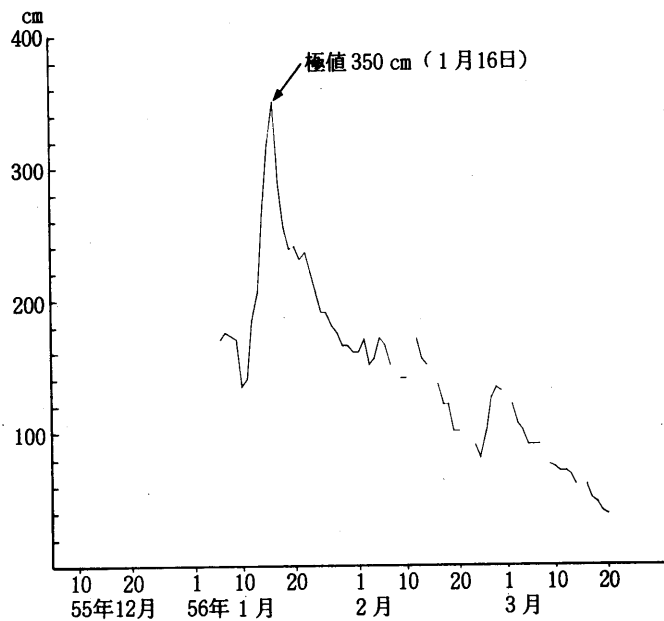


図 2. 5. 3 昭和55年～56年，浅井（浅井町高山）における積雪の深さ

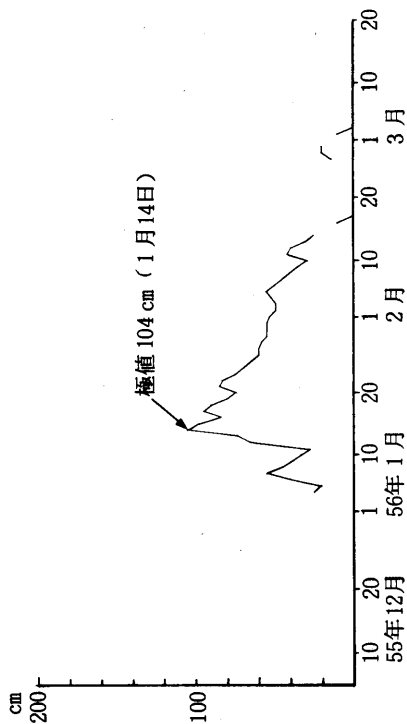


図 2. 5. 4 昭和55年～56年, 長浜 (長浜市平方町) における積雪の深さ

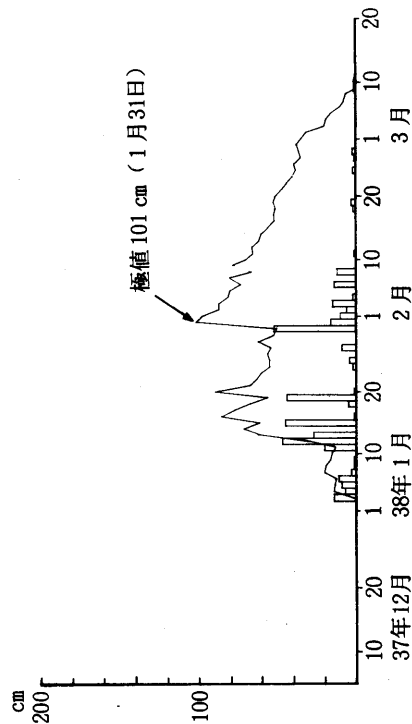


図 2. 5. 6 昭和37年～38年, 木之本における降雪の深さ・積雪の深さ

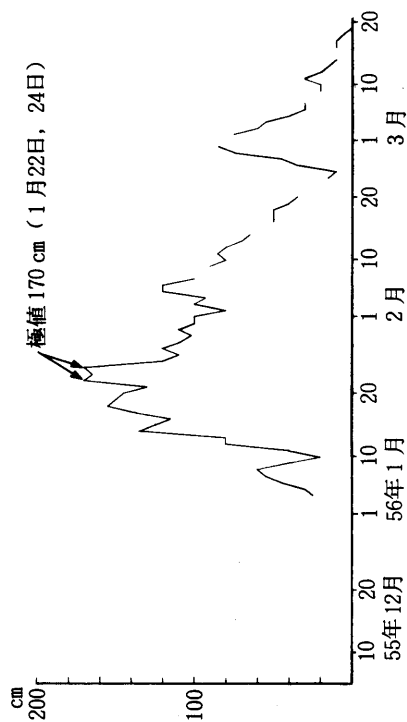


図 2. 5. 5 昭和55年～56年, マキノ (マキノ町蛭口) における積雪の深さ

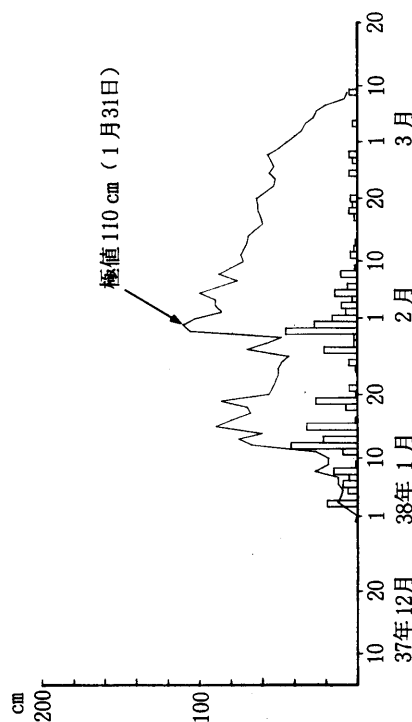


図 2. 5. 7 昭和37年～38年, マキノ 降雪の深さ・積雪の深さ